

取扱説明書

詳細版

Speed Wi-Fi NEXT W02



ごあいさつ

このたびは、Speed Wi-Fi NEXT W02(以下、「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

ご使用前に、『取扱説明書 詳細版』(本書)をお読みいただき、正しくお使いください。

本製品の取扱説明書として、同梱の『はじめてガイド』および『ご利用にあたっての注意事項』、HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.のホームページで提供の『取扱説明書 詳細版』(本書)をご用意しております。また、本書ではこれらを総称して『取扱説明書』と表記します。

- 『取扱説明書 詳細版』(本書)のPDFファイルは、本製品内にも保存されています。
本製品とパソコンなどを無線LAN(Wi-Fi®)または指定のmicroUSBケーブルで接続→Webブラウザを起動→アドレス入力欄に「<http://speedwifi-next.home>」と入力→ログイン(▶P.53)→「ヘルプ」→「取扱説明書を表示」
- 『取扱説明書』のPDFファイルは、HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.のホームページからダウンロードできます。
<http://consumer.huawei.com/jp/support/manuals/index.htm>

■ For Those Requiring an English Instruction Manual

英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of "Quick start guide" and "Notes on usage" from the HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD. website.

『はじめてガイド(英語版)』および『ご利用にあたっての注意事項(英語版)』をHUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.のホームページに掲載しています。

Download URL: <http://consumer.huawei.com/jp/support/manuals/index.htm>

memo

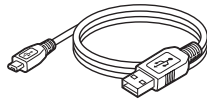
- ◎ 本書は、お客様がWindows/Macなどのパソコン、または各ゲーム機などの基本操作に習熟されていることを前提に記載しています。パソコンや各ゲーム機などの操作については、お使いのパソコンまたは各ゲーム機などの取扱説明書を参照してください。
- ◎ 本書に記載されているイラストおよび画面は、実際の製品とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合があります。あらかじめご了承ください。
- ◎ 本書では、本体カラー「WHITE」の表示を例に説明しています。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



Speed Wi-Fi NEXT W02本体



microUSBケーブル(HWD14PQA)

- 保証書(本体)
- 無線LAN初期設定シール
- はじめてガイド
- ご利用にあたっての注意事項

memo

- ◎ 保証書を含め同梱品は大切に保管してください。
- ◎ 同梱のmicroUSBケーブルで充電する際は、パソコンを使って充電を行ってください。
- ◎ ACアダプタは同梱されていません。指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。詳しくは、『周辺機器のご紹介』(▶P.96)を参照してください。
- ◎ 本製品の電池は本体に内蔵されており、お客様ご自身による取り付け/取り外しはできません。
- ◎ 本書内で説明しているクレードル(別売)の操作や取り扱いについては、クレードル(別売)に同梱されている『取扱説明書』や『安全上のご注意』などもご参照ください。

本製品をご利用いただくにあたって

- 本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意(必ずお守りください)」(▶P.3)をお読みのうえ、正しくご使用ください。
 - 故障とお考えになる前に、本書の「故障とお考えになる前に」(▶P.96)で症状をご確認ください。
 - 通信中は、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。
 - サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
 - 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんが、ご注意ください(ただし、WiMAX 2+方式およびLTE方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております)。
 - 本製品は国内でのご利用を前提としています。国外に持ち出しでの使用はできません。
(This Product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)
 - 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
 - 「本製品の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている端末のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
 - 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
 - 本製品の使用または使用不能から生ずる随時的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
 - 「取扱説明書」の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
 - 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
 - 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、設定内容などが変化または消失することがありますが、これらにより生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
 - 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
 - 本製品は、WiMAX 2+ネットワーク環境でご使用になれますが、本製品の品質などに関してUQコミュニケーションズ株式会社が何ら保証するものではありません。
 - 本製品に登録された内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
 - 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
 - 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収を行っております。
- ※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
- 発売元: KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
輸入元: 華為技術日本(株)
製造元: HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.

■ お知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 周りの人への配慮も大切

- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使しましょう。
- 本製品の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まるとの操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

工場出荷時設定について

■ 無線LAN初期設定シールについて

無線LAN(Wi-Fi[®])を利用して、本製品とパソコンやゲーム機などの無線LAN(Wi-Fi[®])に対応した機器(以下、無線LAN(Wi-Fi[®])端末と表記します)を接続するには、ネットワーク名(SSID)と暗号化キー(パスワード)の入力が必要となります。*

お買い上げ時の本製品に設定されているネットワーク名(SSID)と暗号化キー(パスワード)は、同梱されている無線LAN初期設定シールに記載されています(工場出荷時設定)。お買い上げ時、および初期化後の本製品と無線LAN(Wi-Fi[®])端末を接続する場合に必要となりますので、大切に保管してください。

※WPS(Wi-Fi Protected Setup)機能を利用して、本製品と無線LAN(Wi-Fi[®])端末を接続する場合は、ネットワーク名(SSID)と暗号化キー(パスワード)の入力は不要です。詳しくは、「WPS対応の無線LAN(Wi-Fi[®])端末を接続する」(▶P.43)を参照してください。

■ 工場出荷時設定

本製品はマルチSSID機能に対応し、2つのネットワーク名(SSID)があります。暗号化方式によって使用する「SSID」「WPA Key」「WEP Key」が異なります。

● ネットワーク名(SSID1) : 暗号化方式がWPA2/WPAで接続するときに使用します。

Speed Wi-Fi NEXT設定ツールに無線LAN(Wi-Fi[®])で接続するときに使用します。

● 事前共有キー(WPA Key) : 暗号化方式がWPA2/WPAで接続するときに使用する暗号化キー(パスワード)です。

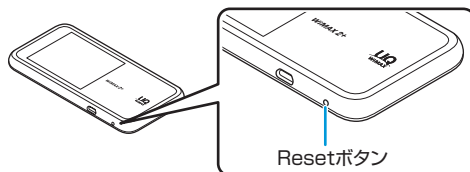
● ネットワーク名(SSID2) : 暗号化方式がWEPで接続するときに使用します。

● WEPキー(WEP Key) : 暗号化方式がWEPで接続するときに使用する暗号化キー(パスワード)です。

※通信の安全性を高めるためには、暗号化方式をWEPよりもWPA2/WPAで設定することをおすすめします。ただし、一部のゲーム機などではWPA2/WPAで接続できない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、「セキュリティ設定」(▶P.61)を参照してください。

■ 本製品を工場出荷状態に戻すには(リセット)

本製品の電源を入れた状態で、Resetボタンを先の細いもので約5秒以上押し、工場出荷時設定にリセットされます。



・ Speed Wi-Fi NEXT設定ツールの「オールリセット」(▶P.74)でも工場出荷時設定に戻ります。

memo

◎ 本製品をリセットするとご購入後に設定した内容はすべて削除されます。十分ご注意ください。うえ本機能をご利用ください。また万一の場合に備え、あらかじめ設定内容をパソコンに保存することも可能です。詳しくは、「バックアップ&リストア」(▶P.74)を参照してください。

お取り扱いにはご注意ください

本製品は精密機器です。無理な力が加わると故障や破損の原因となりますので、下記の点に特にご注意ください。外圧など取り扱い上の過失による、液晶画面や内部基板などの破損が原因の故障修理は保証期間内でも有償となります。

■ スポンやスカートのポケットに入れたまま座らないでください。



■ カバンの中に入れる場合は、重いものの下にならないようご注意ください。



■ 落下させるなど、強い衝撃を与えないでください。



■ 雨の日は濡れながら使用したり、水没させたりしないようご注意ください。



データ通信中の充電について

データ通信をご利用中の場合、指定のACアダプタ(別売)からの充電が長時間完了しないことがあります。




その他

- ・必ず専用の周辺機器をご使用ください。発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。
- ・電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器などの中に入れてください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。
- ・指定の充電用機器をコンセントに差し込む場合、電源プラグに金属製のアクセサリなどを接触させないでください。火災・感電・傷害・故障の原因となります。
- ・コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
- ・水やペットの尿など液体がかからない場所で使用してください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には、直ちに指定の充電用機器の電源プラグやmicroUSBケーブルを抜いてください。
- ・本製品のディスプレイ(タッチパネル)に傷がついたり、破損してしまった場合は破損部に触れないでください。破損部でケガをすることがあります。
- ・通信中や充電中など、ご利用状況によっては本製品本体・内蔵電池・指定の充電用機器やmicroUSBケーブルが温かくなることがありますが、異常ではありません。ただし、長時間肌に触れたままにすると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- ・本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が「取扱説明書」をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明







	この表示は「取り扱いを誤った場合に人が死亡または重傷 ^(※1) を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
	この表示は「取り扱いを誤った場合に人が死亡または重傷 ^(※1) を負うことが想定される内容」を示しています。
	この表示は「取り扱いを誤った場合に人が軽傷 ^(※2) を負うことが想定される内容や物的損害 ^(※3) の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。







※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明









	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。		水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。		必ず実行していただくこと(強制)を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただく(強制)内容を示しています。





■ **本体・充電用機器・au Micro IC Card (LTE) ・周辺機器 共通**


危険 必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

-  必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。
-  高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
-  電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れてください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
-  火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。
-  お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反となります。
-  本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、ご契約されたWIMAX事業者までお問い合わせください。



警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。






-  ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。ガスに引火するおそれがあります。
-  金属製のアクセサリなどをご使用になる場合は、充電の際に接続端子やコンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。
-  落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。
-  屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
-  接続端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入らないようにしてください。発熱・火災・故障・感電・やけどの原因となります。
-  本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。
-  本製品が濡れている状態で充電を行うと、感電や回路のショート、腐食が発生し、発熱による火災・故障・やけどの原因となります。
-  水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしてしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかった場合には直ちに指定の充電用機器の電源プラグ、外部機器を抜いてください。水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。

-  自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。交通事故や転倒・転落事故の原因となります。
-  所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。
-  乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。
-  使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。

-  充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、発熱・発火・破損・故障の原因となります。



注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

-  直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・変形・故障の原因となる場合があります。
-  ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置いたり充電をしないでください。落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。故障・傷害の原因となります。



-  本製品を長時間使用したり、外部電源と接続した状態では熱くなる場合があります。本製品や指定の充電用機器に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。また、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・傷害・故障の原因となる場合があります。
-  本製品を充電する際は、コンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。たこ定配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
-  腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。
-  使用中に煙が出たり、異臭や異音が発生、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器をコンセントから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、ご契約されたWIMAX事業者までご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、ご契約されたWIMAX事業者までご連絡ください。
-  本製品にカバーやケースを装着した状態でWO2クレードル(HWD33PUU) (別売)での充電を行わないでください。正しく充電ができなかったり、発熱・発火・障害の原因となります。

■ **本体について**



危険 必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

-  本体にくぎをさしたり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりしないでください。発火や破損の原因となります。
-  ペットが本体に噛みつかないようご注意ください。内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火・火災・傷害などの原因となります。




警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

-  航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。
-  病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では本製品の電源を切ってください。電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

-  自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。
-  皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。本製品で使用している各部品の材質は以下の通りです。

使用箇所	使用材質<表面処理>
ディスプレイ(タッチパネル)部	ガラス
外装ケース	PC樹脂<塗装>
電源ボタン	PC樹脂<塗装>、TPU樹脂
Micro IC Cardスロットカバー	外側: PC樹脂<塗装> 内側: TPU樹脂

-  外部接続端子やMicro IC Cardスロットに液体、金属体、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。
-  通常はMicro IC Cardスロットカバーを閉めた状態で使用してください。カバーを開めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。
-  砂浜などの上に直に置かないでください。外部接続端子などから本製品本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

■ **内蔵電池について**




(本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です)

内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

Li-ion 00

危険 必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

-  液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗った後直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

! 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。電池は内蔵型のため、ご契約されたWiMAX事業者などでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。

■ 充電用機器について

! **警告** 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

- !** 指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電・傷害などの原因となります。
・ ACアダプタ(別売) : AC100~240V
- !** 指定の充電用機器の電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電・発熱・発火・火災・傷害の原因となります。指定の充電用機器が傷んでいるときや、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
- !** 指定の充電用機器のケーブルを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災・傷害の原因となります。
- !** 雷が鳴り出したら指定の充電用機器に触れないようにしてください。落雷による感電などの原因となります。
- !** お手入れをするときは、指定の充電用機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。
- !** 電源プラグに付いたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。
- !** 長時間使用しない場合は、指定の充電用機器の電源プラグをコンセントから抜いておいてください。火災・故障の原因となります。
- !** 水やペットの尿など液体がかからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障・傷害の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに指定の充電用機器の電源プラグを抜いてください。
- !** ご使用にならないときは、指定の充電用機器の電源プラグをコンセントに接続したままにしないでください。また、指定の充電用機器の電源コードをアダプタ本体に巻きつけしないでください。感電・発熱・火災・故障・傷害の原因となります。
- !** 充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電・発熱・火災・故障・傷害の原因となります。

! **注意** 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

- !** 風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手で指定の充電用機器を抜き差ししないでください。感電・故障・傷害の原因となります。
- !** 指定の充電用機器の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。
- !** 皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。microUSBケーブル(HWD14PQA)で使用している各部品の材質は以下の通りです。

使用箇所	使用材質<表面処理>
USBケーブル	PVC樹脂
USBプラグ(シールド部)	鉄<ニッケルメッキ>、PBT樹脂
USBプラグ(樹脂部)	PVC樹脂
microUSBプラグ(シールド部)	ステンレス<ニッケルメッキ>、LCP樹脂
microUSBプラグ(樹脂部)	PVC樹脂

■ au Micro IC Card (LTE)について

! **注意** 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

- !** au Micro IC Card (LTE)の取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。
- !** カードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかける、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。
- !** カードは、直射日光が当たったり高温となる場所やほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。
- !** au Micro IC Card (LTE)は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

! **警告** 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

- !** 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりこれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。
 1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。
 2. 身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、事前に本製品の電源を切ってください。
 3. 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
 4. 医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。


取り扱い上のお願い

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体・充電用機器・au Micro IC Card (LTE)・周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になつたりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。また、外部機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくとも保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください)。
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなる場合がありますが異常ではありません。

■ 本体について

- 強く押す、たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先のとがったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - ・ 手袋をしたままでの操作
 - ・ 爪の先での操作
 - ・ 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - ・ 保護シートやシールなどを貼っての操作
 - ・ ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - ・ 濡れた指または汗で湿った指での操作
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明など、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定などを受けており、その証として、「」が本製品本体内で確認できるようになっております。ホーム画面で「設定」→「情報」→「認証情報」本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部品に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といえます)。このような条件下でのご使用は湿度による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 外部接続端子に外部機器を接続するときは、外部接続端子に対して外部機器のコネクタがまっすぐになるように抜き差ししてください。
- 外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。

■ タッチパネルについて

- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運び際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 内蔵電池について

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ常温でご使用ください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをオススメします。

■ au Micro IC Card (LTE)について

- au Micro IC Card (LTE)の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になる本製品への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどに、au Micro IC Card (LTE)を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れには乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
- au Micro IC Card (LTE)にシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたICカードを挿入しないでください。故障の原因になります。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品でインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気、故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

PINコードについて

■ PINコード

- 第三者によるau Micro IC Card (LTE)の無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力可否を設定する場合にも入力が必要となります。
- PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。
 - ※ お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力可否は無効(入力不要)に設定されていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力可否は有効(入力必要)に変更できます。入力が必要な設定で使用する場合は、必ずお客様独自の番号に変更のうえご使用ください。
 - ※ PINコードは本製品のリセットを行ってもリセットされません。

■ PINロック解除コード

- PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。
 - ※ PINロック解除コードは、au Micro IC Card (LTE)が取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
 - ※ PINロック解除コードを入力した場合は、「PINコード管理」で新しくPINコードを設定してください。
 - ※ PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、ご契約されたWiMAX事業者までお問い合わせください。

付属ソフトウェアに関するご注意

本製品に付属のソフトウェアのご使用にあたり、下記の事項にご注意ください。

- お客様には、本ソフトウェアの使用権のみが譲渡されます。著作権が移転するものではありませんので、第三者への譲渡・販売などはできません。
- 本ソフトウェアのコピーは、保管(バックアップ)の目的のみ許可されます。他人への譲渡・販売などの目的でコピーをすることはできません。
- 本ソフトウェアのご使用にあたり、生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する損害の請求については、当社はその一切の責任を負いません。

Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能について

- Bluetooth®機能は日本国内でご使用ください。本製品のBluetooth®機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- 無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内でご使用ください。本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- 無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能/無線LAN(Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

※ 本製品では、Bluetooth®機能でデータ通信を行うことはできません。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、ご契約されたWiMAX事業者までご連絡ください。

- 本製品はすべてのBluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- 無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

2.4FH1/DS4/OF4

- Bluetooth®機能
本製品は2.4GHz帯を使用します。FH1は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
- 無線LAN(Wi-Fi®)機能
本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。

本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

W52(5.2GHz帯/36, 40, 44, 48ch)

W56(5.6GHz帯/100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)

IEEE802.11b/g/n
IEEE802.11a/n/ac
W52 W53 W56

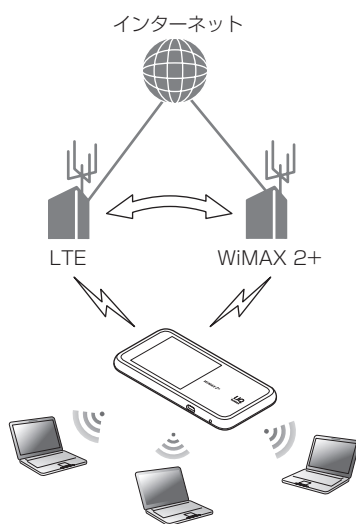
パケット通信料についてのご注意

- ・本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、自動的にパケット通信が行われる場合があります。
- ・本製品で各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。

ご利用の前に

本製品はWiMAX 2+方式およびLTE方式を利用してデータ通信を行うことができます。ご利用になる際は、以下の通信モードを選択いただけます。

- ・ハイスピード:WiMAX 2+ネットワークに接続します。
 - ・ハイスピードプラスエリア:WiMAX 2+またはLTEネットワークに接続します。
- 各通信モードの選択、設定方法については、「WAN設定」の「基本設定」(▶P.55)を参照してください。



- ・本製品はUSB 2.0またはUSB 3.0(パソコンメーカー独自仕様のUSBポートを除く)に対応しており、USBポートを備えたパソコンでご使用になれます。ただし、USB 3.0対応のパソコンと接続した場合でも、転送速度は変わりません。

目次

ごあいさつ	ii
同梱品一覧	ii
本製品をご利用いただくにあたって	1
マナーも携帯する	1
工場出荷時設定について	2
本製品を工場出荷状態に戻すには(リセット)	2
お取り扱いにはご注意ください	2
データ通信中の充電について	2
その他	3
安全上のご注意(必ずお守りください)	3
取り扱い上のお願い	6
PINコードについて	7
付属ソフトウェアに関するご注意	7
Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能について	7
2.4GHz帯ご使用上の注意	7
5GHz帯ご使用上の注意	8
パケット通信料についてのご注意	8
ご利用の前に	8
目次	10

ご利用の準備	13
本製品の使いかた	14
動作環境	15
各部の名称と機能	16
本体のボタン操作について	16
au Micro IC Card (LTE)について	17
au Micro IC Card (LTE)を取り付ける/取り外す	17
充電する	18
指定のACアダプタ(別売)を使って充電する	18
パソコンを使って充電する	19
W02クレードル(HWD33PUU)(別売)と指定のACアダプタ(別売)を使って充電する	19
電源を入れる/切る/再起動する	20
電源を入れる	20
電源を切る	20
画面をロックする/画面ロックを解除する	20

基本操作	21
基本操作	22
タッチパネルの使いかた	22
ディスプレイの表示について	22
アニメーション/テキスト表示について	23
基本的な操作を覚える	24
数字の入力	25

無線LAN接続(Wi-Fi®)/USB接続	27
無線LAN(Wi-Fi®)で接続する	28
無線LAN(Wi-Fi®)機能について	28
5GHz帯の使用について	28
かんたん設定で接続する	29
Windowsパソコンを接続する	29
Macを接続する	33
スマートフォンを接続する	34
QRコード表示機能を利用して接続する	34
Wi-Fi設定から接続する	34
iPhone/iPod touch/iPad/iPad miniを接続する	35
ニンテンドー3DS LL/3DS/DSi LL/DSi/DS Lite/DSを接続する	36
Wii Uを接続する	37
PlayStation®Vitaを接続する	37
PSP®(PlayStation®Portable)を接続する	38
PlayStation®3を接続する	40
PlayStation®4を接続する	42
WPS対応の無線LAN(Wi-Fi®)端末を接続する	43
USB接続する	44
USB接続モードについて	44
WindowsパソコンにUSB接続する	44
Windowsパソコンに取り付ける	44
Speed Wi-Fi NEXT setting toolをインストールする	44
Windowsパソコンから取り外す	45
MacにUSB接続する	45
Macに取り付ける	45
Speed Wi-Fi NEXT setting toolをインストールする	45
Macから取り外す	45
Speed Wi-Fi NEXT setting toolをアンインストールする	46
Windowsパソコンからアンインストールする	46
Macからアンインストールする	46

インターネット接続	47
インターネット接続するには	48
インターネットに接続する	48
インターネットへの接続	48
通信モードを切り替える	48
W02クレードル(HWD33PUU)(別売)にLANケーブルを接続して通信する	49
「ルータモード」で使用する(WiMAX 2+/LTE回線を使用する場合)	49
「APモード」で使用する(ブロードバンド回線に接続する場合)	50

機能設定	51
Speed Wi-Fi NEXT設定ツールについて	52
Speed Wi-Fi NEXT設定ツールを起動する	52
Speed Wi-Fi NEXT設定ツールのトップページ	52
Speed Wi-Fi NEXT設定ツールにログインする	53
Speed Wi-Fi NEXT設定ツールの設定画面	53
インターネットや無線LAN(Wi-Fi®)の情報を確認する(接続)	54
接続ステータス	54
情報	54
各種機能の詳細設定をする(設定)	54
WAN設定	55
基本設定	55
接続設定	55
プロファイル設定	56
PINコード管理	57
通信量カウンター	59
LAN設定	60
基本設定	60
セキュリティ設定	61
WPS設定	62
USB通信	63
MACアドレスフィルタ	63
セキュリティに関する機能の設定をする(ファイアウォール設定)	64
ファイアウォールスイッチ	64
DHCP設定	64
LAN IPフィルタ	65
ポートマッピング	67
特定アプリケーション	68
DMZ設定	69
UPnP設定	70
SIP ALG設定	70
パフォーマンス設定	70
クイック起動	71
リモート起動	71
システム設定	72
端末画面ロック設定	72
ディスプレイ設定	72
本体時計設定	73
クレードル設定	73
ブリッジ機能規制	73
バックアップ&リストア	74
オールリセット	74
再起動	74
パスワード変更	75
オンラインアップデート	75
スマートフォン用Speed Wi-Fi NEXT設定ツールについて	77
スマートフォン用Speed Wi-Fi NEXT設定ツールを起動する	77
スマートフォン用Speed Wi-Fi NEXT設定ツールのホーム画面	77
基本情報を確認する	78
初期設定を行う	79
オンラインアップデート	82
本製品のタッチメニューについて	83
タッチメニューを操作する	83
設定項目一覧	83
通信設定	84
通信モード設定	84
Wi-Fi設定	85
WPS	85
ブリッジモード	86
プロファイル選択	86
システム設定	87
パフォーマンス設定	87
クイック起動	87
リモート起動	88
USB通信	88
画面ロック設定	88
PINコード管理	89
ディスプレイ設定	89
クレードル設定	90
時計	90
言語	90
ホーム画面設定	91

ステータス.....	91
通信量カウンター.....	91
Wi-Fi接続情報.....	92
アップデート.....	92
情報.....	93
ヘルプ.....	94
付録／索引.....	95
付録.....	96
周辺機器のご紹介.....	96
故障とお考えになる前に.....	96
アフターサービスについて.....	98
Speed Wi-Fi NEXT設定ツール メニュー項目／設定項目一覧.....	99
主な仕様.....	101
データ通信端末の比吸収率(SAR)について.....	102
輸出管理規制.....	103
用語集.....	103
知的財産権について.....	105
商標について.....	105
個人情報保護方針.....	105
索引.....	106

ご利用の準備

本製品の使いかた	14
動作環境	15
各部の名称と機能	16
au Micro IC Card (LTE)について	17
充電する	18
電源を入れる／切る／再起動する	20

本製品の使いかた

本製品は、無線LAN(Wi-Fi[®])機能によりパソコンやゲーム機などの複数の無線LAN(Wi-Fi[®])端末と接続したり、指定のmicroUSBケーブルでパソコンなどと接続したりできます。さらに、接続した端末から本製品を経由してWiMAX 2+方式やLTE方式を使ったインターネット接続によるデータ通信(ベストエフォート方式[※])ができます。

※：接続環境などによって、通信速度が最大値に達しないことがあります。

■無線LAN(Wi-Fi[®])で接続する

本製品とパソコンやゲーム機などの無線LAN(Wi-Fi[®])端末を接続し、データ通信を行います。

本製品は無線LAN(Wi-Fi[®])端末を同時に10台まで接続することができます。

- ・「無線LAN(Wi-Fi[®])で接続する」(▶P.28)
- ・「Speed Wi-Fi NEXT設定ツールについて」(▶P.52)

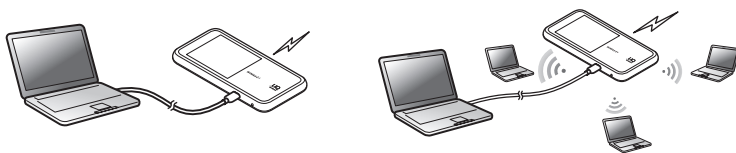


■microUSBケーブルで接続する

本製品とパソコンを指定のmicroUSBケーブルで接続し、データ通信を行います。

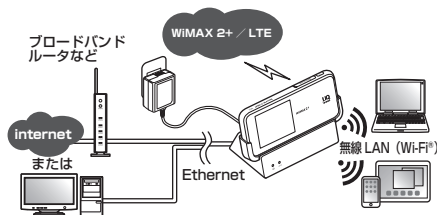
- ・「Windows/パソコンにUSB接続する」(▶P.44)
- ・「MacにUSB接続する」(▶P.45)

※本製品をUSB接続で使用するには、パソコンにSpeed Wi-Fi NEXT setting toolのインストールが必要です。インストールは本製品のUSB接続モードを「通信+充電」に設定してパソコンに接続したときに実行できます(▶P.44)。



■クレードル(別売)にLANケーブルを接続して通信する

W02クレードル(HWD33PUU)(別売)にLANケーブル(市販品)を接続すると、充電しながらLAN接続やインターネット接続をすることができます。



- ・「W02クレードル(HWD33PUU)(別売)と指定のACアダプタ(別売)を使って充電する」(▶P.19)
- ・「W02クレードル(HWD33PUU)(別売)にLANケーブルを接続して通信する」(▶P.49)

※クレードル(別売)に同梱されている「取扱説明書」や「安全上のご注意」などもご参照ください。

※電源につながないとLANケーブルでの通信はできません。

memo

- ◎電波受信状況やアクセス集中、コンテンツの容量などによっては、正常な通信が行えない場合があります。また、接続機器やゲームなどによっては通信や通信対戦プレイなどが正常に動作しない場合があります。
- ◎ネットワークへの接続は、その時点で快適に使えるネットワークを自動的に判別して接続します。
- ◎USB接続と無線LAN(Wi-Fi[®])接続は別にカウントされるため、合わせて最大11台まで接続できます。
- ◎本製品は、電源を入れると自動的にインターネットに接続されます。

動作環境

本製品との無線LAN(Wi-Fi[®])接続/USB接続が可能な動作環境は下記の通りです(2016年3月現在)。

対応機器

パソコン、iPhone、iPod touch、iPad、iPad mini、スマートフォン、ゲーム機など、IEEE802.11a/b/g/n/acの無線LAN(Wi-Fi[®])規格に対応する機器

USBポートを備えたWindows/Macなどのパソコン

対応OS(パソコン)

Windows Vista(32ビット/64ビット)

Windows 7(32ビット/64ビット)

Windows 8(32ビット/64ビット)

Windows 8.1(32ビット/64ビット)

Windows 10(32ビット/64ビット)

Mac OS X 10.5(32ビット/64ビット)

Mac OS X 10.6(32ビット/64ビット)

Mac OS X 10.7(32ビット/64ビット)

Mac OS X 10.8(64ビット)

Mac OS X 10.9(64ビット)

Mac OS X 10.10(64ビット)

Mac OS X 10.11(64ビット)

上記OSの日本語版/英語版に対応しております。

※Windows RTではUSB接続に対応していません。

メモリ

Windows Vista：推奨1GB以上(512MB以上必要)

Windows 7：1GB以上必要(32ビット) 2GB以上必要(64ビット)

Windows 8 / 8.1：2GB以上必要

Windows 10：1GB以上必要(32ビット) 2GB以上必要(64ビット)

Mac OS X：推奨512MB以上(256MB以上必要)

ハードディスク

推奨100MB以上(50MB以上の空き容量が必要)

Windows 8 / 8.1：2GB以上の空き容量が必要

Windows 10：16GB以上の空き容量が必要(32ビット) 20GB以上の空き容量が必要(64ビット)

画面解像度

推奨1024×768以上

USBポート

USB 2.0またはUSB 3.0(パソコンメーカー独自仕様のUSBポートを除く)

対応ブラウザ(Speed Wi-Fi NEXT設定ツール対応)

Microsoft Internet Explorer 8.0 ~ 11.0

Microsoft Edge

Safari 6.0 ~ 9.0

Firefox 24.0 ~ 41

Chrome 10 ~ 46

Opera 11 ~ 32

iOS 5.1 ~ 9.1標準ブラウザ(スマートフォン用Speed Wi-Fi NEXT設定ツールに対応)

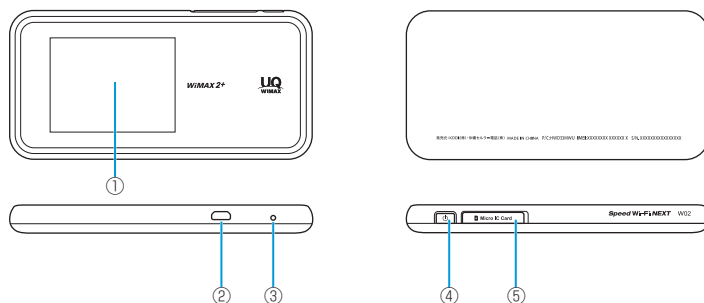
Android 4.0、4.1、4.2、4.3、4.4、5.0、5.1標準ブラウザ/Chrome(スマートフォン用Speed Wi-Fi NEXT設定ツールに対応)

上記の環境以外では、動作しない場合があります。また、上記に該当する場合でも、パソコン本体、接続されている周辺機器、使用するアプリケーションなど、お客様がご利用の環境によっては、正常に動作しない場合があります。また、プロキシの設定、インターネットオプションのセキュリティ設定など、Webブラウザの設定によっては正常に動作しない場合があります。

memo

◎パソコンに対するサポートやOSのバージョンアップなどのサービスに関するお問い合わせは、各パソコンの取扱説明書などをお読みのうえ、各メーカーの定める手順に従ってください。

各部の名称と機能



① ディスプレイ(タッチパネル)

本製品の状態が表示されます。また、指で直接触れて操作することができます(▶P.22)。

② 外部接続端子(microUSB)

③ Resetボタン

設定内容を工場出荷時の状態に戻します(▶P.2)。

④ 電源ボタン

本体の電源の入/切や再起動、ディスプレイの消灯/点灯などの操作ができます。電源を入れると自動的にインターネットに接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi®)機能がオンになります。

⑤ Micro IC Cardスロット

au Micro IC Card (LTE)を取り付けます(▶P.17)。

本体のボタン操作について

本体のボタンで次の操作ができます。

■ 電源ボタン

操作	機能	説明
約3秒以上押す	電源のオン	電源オフ時に押すと電源が入ります。
約1秒以上押す	電源のオフ/再起動	電源オン時に押すと「電源を切る」/「再起動」を選択できます。
押す(約1秒以内)	ディスプレイの消灯/点灯 Wi-Fi自動停止機能*からの復帰	電源がオンの状態で、ディスプレイ点灯時に押すと消灯します。消灯時に押すとディスプレイが点灯し、ロック解除画面が表示されます。 また、Wi-Fi自動停止機能*の設定により無線LAN(Wi-Fi®)が停止された状態で押すと、無線LAN(Wi-Fi®)を再開します。
約10秒以上押す	強制電源オフ	本製品の操作ができなくなってしまったときなど、強制的に電源を切ることができます。

※：「Wi-Fi自動停止時間(分)」(▶P.60)で設定した時間データ通信が行われないうきに、無線LAN(Wi-Fi®)機能を停止して内蔵電池の消費を抑えます。

■ Resetボタン

操作	機能	説明
約5秒以上押す	設定内容を工場出荷時の状態に戻す	本製品の電源を入れた状態で、Resetボタンを先の細いもので押します。 Speed Wi-Fi NEXT設定ツールを使用してリセットすることもできます。詳しくは、「オールリセット」(▶P.74)を参照してください。

au Micro IC Card (LTE)について

au Micro IC Card (LTE)にはお客様の電話番号などが記録されています。


- 本製品はau Micro IC Card (LTE)にのみ対応しております。au Micro IC Card (LTE)以外のICカードはご利用できません。

au Micro IC Card (LTE)



IC(金属)部分

memo

- ◎ au Micro IC Card (LTE)を取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
 - au Micro IC Card (LTE)のIC(金属)部分には触れないでください。
 - 正しい挿入方向をご確認ください。
 - 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- ◎ au Micro IC Card (LTE)を正しく取り付けしていない場合やau Micro IC Card (LTE)に異常がある場合は画面左上に  が表示されます。
- ◎ 取り外したau Micro IC Card (LTE)はなくさないようにご注意ください。
- ◎ au Micro IC Card (LTE)には、お客様の情報として電話番号が記録されていますが、本製品で音声電話の発着信などは行えません。
- ◎ 変換アダプタを取り付けたICカードを挿入しないでください。

au Micro IC Card (LTE)を取り付ける／取り外す

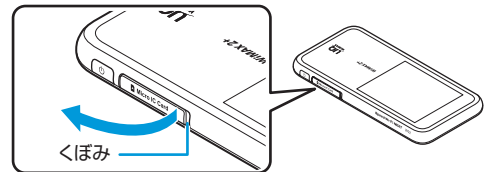
au Micro IC Card (LTE)の取り付け／取り外しは、本製品の電源を切ってから行います。電源を切らずに取り付けを行っても、au Micro IC Card (LTE)が本製品に認識されませんのでご注意ください。

microUSBケーブルが接続されているときは取り外してください。

■ au Micro IC Card (LTE)を取り付ける

1 Micro IC Cardスロットカバーを開く

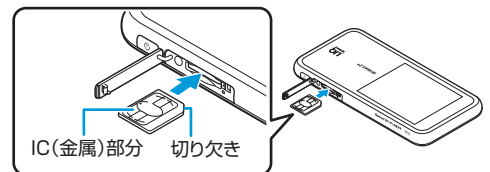
カバーの横のくぼみに指(爪)をかけ、図に示す矢印の方向に引きます。



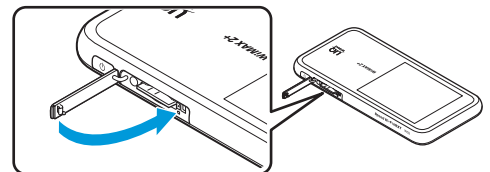
2 au Micro IC Card (LTE)をスロットに差し込む

IC(金属)面を上にして、図に示す切り欠き部分で方向を確認してから差し込んでください。

- カチッと音がするまで押し込みます。



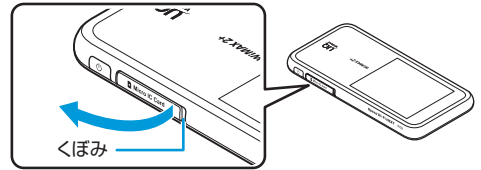
3 Micro IC Cardスロットカバーを閉じる



■ au Micro IC Card (LTE)を取り外す

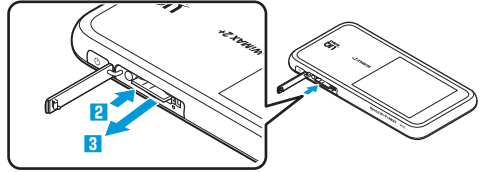
1 Micro IC Cardスロットカバーを開く

カバーの横のくぼみに指(爪)をかけ、図に示す矢印の方向に引きます。



2 au Micro IC Card (LTE)をカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む

カチッと音がしたら、au Micro IC Card (LTE)に指を添えながら手前に戻してください。au Micro IC Card (LTE)が少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。

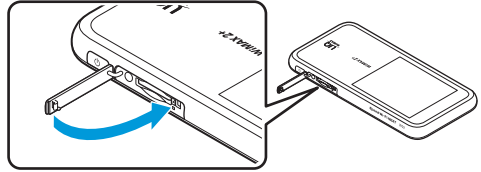


3 au Micro IC Card (LTE)をゆっくり引き抜く

まっすぐにゆっくり引き抜いてください。

・ロックされている状態から無理に引き抜かないように注意してください。

4 Micro IC Cardスロットカバーを閉じる



充電する

お買い上げ時は、内蔵電池が十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

・電池残量はディスプレイ上部の電池残量表示で確認できます。詳しくは、「ディスプレイの表示について」(▶P.22)を参照してください。

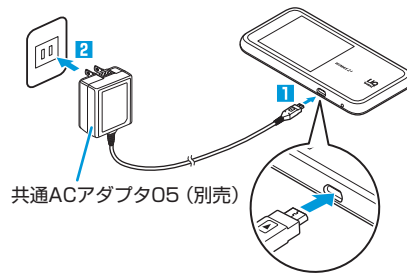
指定のACアダプタ(別売)を使って充電する

共通ACアダプタ05(別売)を接続して充電する方法を説明します。

1 本製品の外部接続端子に共通ACアダプタ05(別売)のmicroUSBプラグを接続する

コネクタ先端の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。奥までしっかり差し込んでください。

2 共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む



3 充電が終わったら、本製品から共通ACアダプタ05(別売)のmicroUSBプラグをまっすぐ引き抜く

4 共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをコンセントから抜く

パソコンを使って充電する

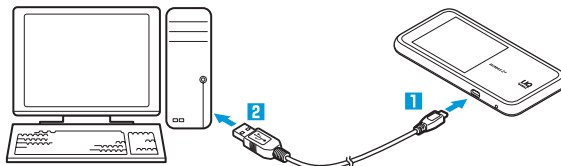
1 本製品の外部接続端子に指定のmicroUSBケーブルを接続する

コネクタ先端の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。奥までしっかり差し込んでください。

2 指定のmicroUSBケーブルのもう一方のコネクタをパソコンのUSBポートに接続する

コネクタ先端の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。

・お買い上げ時は、本製品をパソコンに接続したときの動作（USB接続モード）が「通信+充電」に設定されています。本製品をパソコンに接続すると、パソコンにSpeed Wi-Fi NEXT setting toolがインストールされ、USB接続での通信ができるようになります（▶P.44）。



3 充電が終わったら、本製品から指定のmicroUSBケーブルをまっすぐに引き抜く

・本製品の電源を入れている場合は、パソコンから取り外す操作が必要です。詳しくは、「Windows/パソコンから取り外す」（▶P.45）、「Macから取り外す」（▶P.45）を参照してください。

memo

◎ 指定のACアダプタ（別売）を使用して充電する場合より、充電時間が長くなる場合があります。

W02クレードル(HWD33PUU)（別売）と指定のACアダプタ（別売）を使って充電する

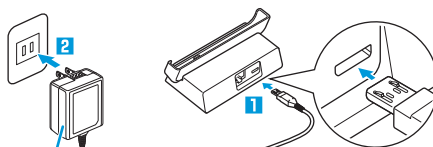
共通ACアダプタ05（別売）を接続して充電する方法を説明します。

1 クレードル（別売）の電源用microUSB接続端子に共通ACアダプタ05（別売）のmicroUSBプラグを接続する

コネクタ先端の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。奥までしっかり差し込んでください。

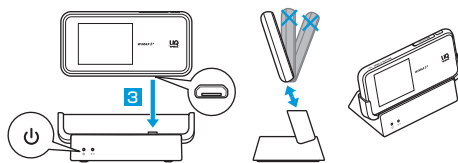
2 共通ACアダプタ05（別売）の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む

クレードル（別売）の電源ランプが点灯します。



共通ACアダプタ05（別売）

3 クレードル（別売）の充電用microUSBコネクタに本製品を接続する



memo

◎ 本製品の外部接続端子を下にして充電用microUSBコネクタに対しまっすぐに接続してください。取り外す際も、充電用microUSBコネクタに対しまっすぐに取り外してください。誤った向きで抜き差しすると、破損の原因になります。

◎ 電源を切っている間でも、指定のACアダプタ（別売）やパソコン、クレードル（別売）に接続すると充電中を示すアニメーションがディスプレイに表示されます。ディスプレイが消灯しているときも、電源ボタンを押すとディスプレイが点灯して電池アイコンが表示され、充電完了かどうかを確認できます。

電源を入れる／切る／再起動する

電源を入れる

1 電源ボタンを約3秒以上押す

電源が入り、ロック解除画面(▶P.20)が表示されます。

- 電源が入るとインターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi®)機能がオンになり📶が表示されます。
- 初めて電源を入れたときは「本製品へようこそ！」画面が表示され、「次へ」を選択すると「かんたん設定」画面が表示されます。かんたん設定機能を使って、無線LAN(Wi-Fi®)端末を接続させることができます(▶P.29)。



電源を切る

1 電源ボタンを約1秒以上押す→「電源を切る」をタップする

■再起動するには

電源ボタンを約1秒以上押す→「再起動」をタップすると、本製品が再起動します。

■強制的に電源を切るには

電源ボタンを約10秒以上押すと、強制的に電源が切れます。本製品が動作しなくなったときなどに、電源を入れ直すことができます。

画面をロックする／画面ロックを解除する

電源がオンの状態で電源ボタンを押す(約1秒以内)か、操作を行わずに一定の時間が経過したときは画面が消灯します。画面を再度点灯させるとロック解除画面が表示され、ロックを解除しないとタッチ操作ができなくなります。

■画面ロックを解除するには

1 画面が消灯している状態で、電源ボタンを押す(約1秒以内)

ロック解除画面が表示されます。

2 画面を上下にスライドする

画面ロックが解除され、ホーム画面が表示されます。



◎画面が消灯するまでの時間や、画面がロックされるまでの時間は変更できます。また、画面ロックを解除するときに、パスワードを入力しないと解除できないように設定できます。詳しくは「ディスプレイ設定」(▶P.72、89)、「端末画面ロック設定」(▶P.72)または「画面ロック設定」(▶P.88)を参照してください。

基本操作	22
タッチパネルの使いかた	22
ディスプレイの表示について	22
基本的な操作を覚える	24
数字の入力	25

基本操作

タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先がとがったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けしないでください。
- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に載せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼った操作
 - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - 濡れた指または汗で湿った指での操作

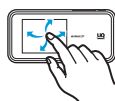
■ タップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。



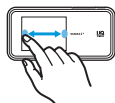
■ フリック(スワイプ)

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。



■ ドラッグ

スライダを操作するときなど、画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。



■ スライド

画面に表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。



ディスプレイの表示について

ホーム画面には以下の情報が表示されます。



① 電池残量

- [電池アイコン] (十分) ⇒ [電池アイコン] 要充電
- [充電中アイコン] ⇒ [充電中アイコン] ⇒ [充電中アイコン] ⇒ [充電中アイコン] (アニメーション表示)：充電中

② 受信レベル

- [強信号アイコン] (強) ⇔ [弱信号アイコン] (弱)：WiMAX 2+方式、LTE方式
- [ICカードアイコン]：au Micro IC Card (LTE)未挿入、または無効なICカードを挿入
- [圏外アイコン]：ネットワーク圏外
- [APモードアイコン]：APモードでクレードル(別売)接続中
- [回線接続中アイコン]：回線接続中

③ 通信モード

- HS：ハイスピードモード
WiMAX 2+のネットワークに接続
- HS+A：ハイスピードプラスエリアモード*
WiMAX 2+とLTEネットワークに接続

※：ハイスピードプラスエリアモードへ切り換えてご利用の場合、所定の追加料金が別途かかります。詳細はご契約されたWiMAX事業者へご確認ください。

④ 無線LAN(Wi-Fi®)端末接続台数

無線LAN(Wi-Fi®)接続されている機器の台数が表示されます。

- [無線LANアイコン]：接続なし
- [無線LANアイコン]：1台
- [無線LANアイコン]：2台(以降、右下の数字が変化)

⑤ ソフトウェア更新通知

- ・📶：最新のソフトウェア更新あり

⑥ 周波数帯表示

- ・[5G]：5GHz帯使用中
- ・消灯：2.4GHz帯使用中

⑦ ブリッジモード状態

- ・[B]：ブリッジモードがオン
- ・消灯：ブリッジモードがオフ

⑧ 屋内利用アイコン

このアイコンが点灯しているときは、屋内でご利用ください。

- ・🏠：無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯のW52チャンネルで接続中
- ・消灯：無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯のW56チャンネルまたは無線LAN(Wi-Fi®)2.4GHz帯で接続中
- ・[DFS] (点滅)：DFSチェック(▶P.28)中

⑨ データ通信状態

- ・↑↓：受信
- ・↑↓：送信中

⑩ タッチメニューアイコン

タップすると本製品の各種機能を設定できます(▶P.83)。

⑪ 現在までのデータ通信量/通信量カウンターで設定した最大データ通信量*

- ・1m：1ヶ月間の通信量カウンターを表示
- ・3d：本日までの3日間の通信量カウンターを表示


※：1ヶ月表示では、通信量カウンターの通知設定をオンにし、データ通信量が設定した値を超えた場合、バーの色が変わります。3日間表示では、前日までの3日間のデータ通信量が設定した値を超えた場合、バーの色が変わります。

memo

- ◎無線LAN(Wi-Fi®)の自動停止時間の変更について詳しくは、「Wi-Fi自動停止時間」(▶P.60)を参照してください。Wi-Fi自動停止時間の設定により停止された無線LAN(Wi-Fi®)を再開するには、電源ボタンを押します。
- ◎ディスプレイの消灯時間の変更について詳しくは、「ディスプレイ設定」(▶P.89)を参照してください。再度ディスプレイを点灯させるには、電源ボタンを押します。

アニメーション/テキスト表示について

本製品では、通信状態や異常の情報をアニメーションまたはテキストによってお知らせします。

ディスプレイ表示	説明
 (アニメーション表示)	充電中です(電源オフ時)。
PIN未入力*	au Micro IC Card (LTE)のPINコードが有効になっています。
PINロック*	au Micro IC Card (LTE)がPINロック状態です。PINロック解除コード(PUK)を入力してください。
UIMロック*	au Micro IC Card (LTE)以外のICカードが取り付けられています。
温度が高くなっています。電源を切ります…	本製品の温度が過度に高くなったため、電源を切ります。
温度が低すぎます。電源を切ります…	本製品の温度が過度に低くなったため、電源を切ります。
電池残量が少なくなっています。充電してください。	電池残量が少なくなっていますので、充電してください。
au Micro IC Cardを挿入し再起動してください*	au Micro IC Card(LTE)が未挿入です。



※：電源オン時のロック解除画面に表示されます。

基本的な操作を覚える

本製品でよく使う操作を説明します。


■ 項目やアイコンを選択する

表示された項目やアイコンを選択するには、画面を直接タップします。



画面の上部に  が表示されている場合は、タップすると選択/入力内容が確定します。 が表示されている場合は、タップすると選択/入力内容を取り消して1つ前の階層に戻ります。

■ 画面を切り替える



画面の上部に  が表示されている場合は、タップすると1つ前の階層に戻ります。

 をタップするとホーム画面に戻ります。

■ 設定のオン/オフを切り替える

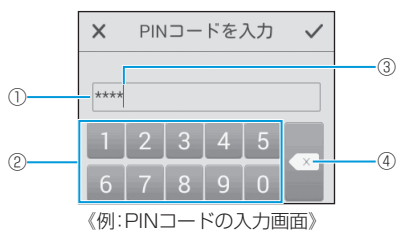
設定項目の横に  (オン) /  (オフ: グレー) スイッチが表示されている場合は、スイッチをタップすることで設定のオン/オフを切り替えることができます。

スライドスイッチが表示されている場合は、スイッチをスライドすることで設定のオン/オフを切り替えることができます。

-  : 設定オンの状態
-  (グレー) : 設定オフの状態

数字の入力

PINコードなどの数字を入力するときは、数字キーボードが表示されます。



① **入力欄**

入力した数字が表示されます。

② **キー表示**

キーをタップすると、各キーに割り当てられた数字が入力されます。

③ **カーソル**

入力位置に表示されます。

④ **消去**

入力した数字を消去します。

無線LAN(Wi-Fi®)接続／USB接続

無線LAN(Wi-Fi®)で接続する	28
無線LAN(Wi-Fi®)機能について	28
かんたん設定で接続する	29
Windowsパソコンを接続する	29
Macを接続する	33
スマートフォンを接続する	34
iPhone/iPod touch/iPad/iPad miniを接続する.....	35
ニンテンドー3DS LL/3DS/DSi LL/DSi/DS Lite/ DSを接続する	36
Wii Uを接続する	37
PlayStation®Vitaを接続する	37
PSP®(PlayStation®Portable)を接続する	38
PlayStation®3を接続する	40
PlayStation®4を接続する	42
WPS対応の無線LAN(Wi-Fi®)端末を接続する.....	43
USB接続する	44
USB接続モードについて	44
WindowsパソコンにUSB接続する	44
MacにUSB接続する	45
Speed Wi-Fi NEXT setting toolをアンインストールする.....	46

無線LAN(Wi-Fi®)で接続する

無線LAN(Wi-Fi®)機能について

本製品はIEEE802.11a/b/g/n/acの無線LAN(Wi-Fi®)規格に準拠しており、本製品と無線LAN(Wi-Fi®)端末(パソコンやゲーム機など)を無線LAN(Wi-Fi®)で接続して、データ通信ができます。
また、本製品はWPS(Wi-Fi Protected Setup)機能に対応しており、お使いの無線LAN(Wi-Fi®)端末がWPS機能に対応している場合は、少ない操作で無線LAN(Wi-Fi®)接続ができます。
WPS機能に対応していない無線LAN(Wi-Fi®)端末でも、本製品に設定されたSSIDと暗号化キー(パスワード)を入力するだけで簡単に接続することができます。
本製品のネットワーク名(SSID)と暗号化キー(パスワード)は、同梱の無線LAN初期設定シール、または「SSID情報」(▶P.93)で確認できます。なお、本製品の工場出荷時状態におけるネットワーク名(SSID)は、「W02で始まる英数字記号」で表示されます。お客様が変更されない限り、他の表示のネットワークは近隣から送信されてくる無線LAN(Wi-Fi®)ネットワークですので接続しないよう注意してください。
ここでは、本製品とWindows/パソコン、Mac、スマートフォン、iPhone/iPod touch/iPad/iPad mini、ニンテンドー3DS/DSシリーズ、Wii U、PlayStation®Vita、PSP®(PlayStation®Portable)、PlayStation®3、PlayStation®4、WPS対応機器を初めて無線LAN(Wi-Fi®)接続する場合の操作について説明しています。

memo

- 無線LAN(Wi-Fi®)接続のための設定は、本製品と各無線LAN(Wi-Fi®)端末を初めて接続するときに行います。設定済みの無線LAN(Wi-Fi®)端末は、2回目以降、自動的に接続が再開されます(無線LAN(Wi-Fi®)端末側で「自動的に接続する」や「設定を保存する」などが設定されている場合)。
- 無線LAN(Wi-Fi®)端末は無線LAN(Wi-Fi®)接続の設定を行うと、周辺に設定済みの接続可能なWi-Fiネットワークがあると、自動的にWi-Fiネットワークに接続されます。周辺に設定済みの接続可能なWi-Fiネットワークが複数ある場合は、最後に設定したWi-Fiネットワークに接続されます。
- 必要に応じて、無線LAN(Wi-Fi®)機能の詳細設定を変更することもできます。詳しくは、「各種機能の詳細設定をする(設定)」(▶P.54)を参照してください。
- セキュリティを確保するため、お買い上げ時に設定されているネットワーク名(SSID)および暗号化キー(パスワード)を変更してお使いいただくことをおすすめします。変更のしかたは「セキュリティ設定」(▶P.61)を参照してください。
- 本製品は無線LAN(Wi-Fi®)端末を同時に10台まで接続することができます。
- 本製品は、電源を入れると自動的にインターネットに接続されます。
- 本製品の「SSID1」「SSID2」のSSIDステルス機能が有効になっていると、無線LAN(Wi-Fi®)端末で本製品を検出できません。SSIDステルス機能については、「セキュリティ設定」(▶P.61)を参照してください。

SSID2(WEP)について

一部のゲーム機などで、無線LAN(Wi-Fi®)のセキュリティ設定が「SSID1(WPA2/WPA)」に対応していない場合は、「SSID2(WEP)」で無線LAN(Wi-Fi®)接続する必要があります。
Speed Wi-Fi NEXT W02では、お買い上げ時の状態で「SSID2(WEP)」はご利用になれません。無線LAN(Wi-Fi®)のセキュリティ設定でSSID2モジュールをオンにしてください。
詳しくは、「SSID2(WEP)を設定する場合」(▶P.62)を参照してください。

5GHz帯の使用について

DFS機能

本製品は無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯での電波干渉を避けるため、法令(電波法)により、DFS機能を搭載しています。本製品が利用する無線LAN(Wi-Fi®)5GHzの周波数帯は、気象レーダーなどでも利用されているため、本製品を利用する場所によっては気象レーダーなどとの電波干渉が起きる可能性があります。
そこで、本製品が無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯を利用中に気象レーダーなどの電波を検知したときは、DFS機能が作動し、電波干渉を起こさない無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯の別のチャンネルに自動的に切り替えます。
周囲に同じ無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯を使っている無線LAN(Wi-Fi®)端末などが多数あると、干渉を避けられないこともあります。その場合、通信速度が極端に遅くなることがあります。

DFSチェックについて

無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯を利用して、屋外で本製品を使用する場合、周囲に電波干渉を起こす気象レーダーなどがいないかを最低でも1分間確認し、電波干渉を起こさないチャンネルを使ってネットワークに接続します。この動作を本書では「DFSチェック」と呼びます。
本製品を無線LAN(Wi-Fi®)2.4GHz帯から無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯に切り替えたときや、無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯の設定で本製品の電源を入れたとき、Wi-Fi自動停止機能などで無線LAN(Wi-Fi®)機能が停止された状態から再開するときなどに、DFSチェックが作動します。
DFSチェック中は、無線LAN(Wi-Fi®)機能が一時的に停止され、無線LAN(Wi-Fi®)機能が再開するまでに1分間程度の時間がかかります。その間はネットワークに接続することができません。
本製品に接続している無線LAN(Wi-Fi®)端末との接続も切断されますので、必要に応じて無線LAN(Wi-Fi®)端末側で再接続の操作を行ってください。
5GHzから2.4GHzに切り替えるときは、DFSチェックは作動せず、ネットワーク接続は切断されません。
※: DFSチェックの結果によっては、さらに時間がかかることがあります。

memo

- ご利用の無線LAN(Wi-Fi®)端末が無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯に対応しているかご確認ください。本製品では、無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯と2.4GHz帯で同時に接続することはできません。ご利用の無線LAN(Wi-Fi®)端末に5GHz帯に対応していないものがある場合は、本製品の設定を2.4GHz帯にしてご利用ください。
- 周波数を「5GHz」に設定した場合は本製品のディスプレイに確認メッセージが表示されますので、メッセージを確認して「OK」をタップしてください。
本製品の状態によって、その後の動作は以下のように異なります。
 - ①内蔵電池による動作中:
屋外とみなし、W56を使用するためDFSチェックを実行します。
 - ②指定のACアダプタ(別売)やパソコンから充電時:
本製品のディスプレイに約20秒間、使用場所の確認メッセージが表示され、メッセージ下部に以下のボタンが表示されます。
 - ・「屋内」: W52を使用します。DFSチェックは実行されません。
 - ・「屋外」(または操作しないで約20秒経過した場合): W56を使用するためDFSチェックを実行します。
 - ③クレードル(別売)接続して充電時:
屋内とみなし、W52を使用します。DFSチェックは実行されません。DFSチェック実行中は、本製品のディスプレイにDFSチェック実行中のメッセージが表示され、メッセージ下部に以下のボタンが表示されます。
 - ・「続行」: メッセージを閉じてそのままDFSチェックを続行します。
 - ・「2.4GHzに変更する」: DFSチェックを中止して無線LAN(Wi-Fi®)2.4GHz帯で接続します。必要に応じてどちらかを選択してください。「続行」を選択するか、選択せずに約1分間経過するとDFSチェックが終了し、無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯が利用可能になります。
※: DFSチェックの結果によっては、さらに時間がかかることがあります。
上記①②③の状態が変更になった場合は、使用中のチャンネルに応じて以下のように動作します。
 - ・W56使用時: そのままW56を継続して使用(特別な操作は必要ありません)。
 - ・W52使用時: 上記①②③の状態に応じてメッセージを表示します。また、W56使用時に気象レーダーなどと干渉した場合は、再度DFSチェックが実行されます。
○5GHzに切り替える方法については、「LAN設定」(▶P.60)または「Wi-Fi設定」(▶P.85)を参照してください。

かんたん設定で接続する

かんたん設定機能を使うと、本製品のディスプレイに表示される手順に従って、無線LAN(Wi-Fi®)端末を接続させることができます。かんたん設定には、以下の2通りの方法があります。

- ・ 手動設定: 本製品のディスプレイに表示されたSSIDとパスワードを、接続する無線LAN(Wi-Fi®)端末で選択・入力します。
 - ・ ワンタッチ設定(WPS) : WPS対応の無線LAN(Wi-Fi®)端末を、かんたんに接続することができます(▶P.43)。
- ここでは、手動設定で接続する場合について説明します。手動設定では、本製品の「SSID1 (WPA2/WPA)」を使用して接続します。

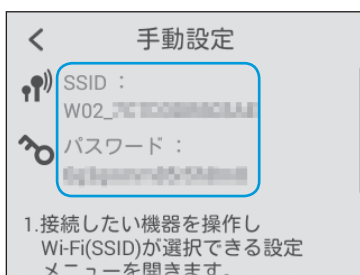
1 本製品のホーム画面で「かんたん設定」をタップする

- ・ 初めて電源を入れたときは「本製品へようこそ！」画面が表示されます。



2 「次へ」→「手動設定」の順にタップする

- ・ 「手動設定」画面が表示され、本製品のSSIDと暗号化キー(パスワード)が表示されます。



3 無線LAN(Wi-Fi®)端末の無線LAN(Wi-Fi®)機能をオンにする

- ・ 以降の無線LAN(Wi-Fi®)端末の詳細な操作や補足事項については、本書の各記載または無線LAN(Wi-Fi®)端末の取扱説明書などを参照してください。

4 表示されたネットワーク一覧などから、本製品のSSIDを選択する

5 暗号化キー(パスワード)を入力する

- ・ 無線LAN(Wi-Fi®)端末のディスプレイなどで、本製品との接続が完了したことを確認してください。

6 本製品の「手動設定」画面で「次へ」→「OK」の順にタップする

- ・ ホーム画面に戻ります。

Windowsパソコンを接続する



◎ 本製品のネットワーク名(SSID)と暗号化キー(パスワード)の確認方法は、同梱の無線LAN初期設定シールのほか、ホーム画面で「情報」→「SSID情報」の順にタップしても確認できます。

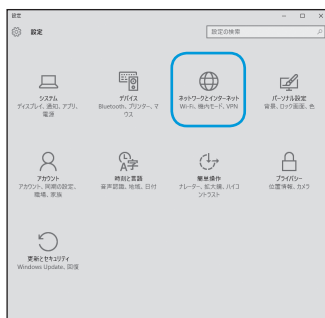
■ Windows 10の場合

画面表示や手順は、Windows 10で本製品の「SSID1 (WPA2/WPA)」を使用して接続する場合を例にして説明しています。

1 本製品の電源ボタンを約3秒以上押して電源を入れる

- ・ インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi®)機能がオンになりが表示されます。

2 「スタート」メニューから「設定」を選択し、「ネットワークとインターネット」を選択する



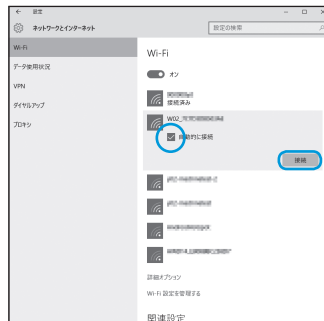
3 Wi-Fiを「オフ」から「オン」にする

アクセスポイントの検索を開始します。

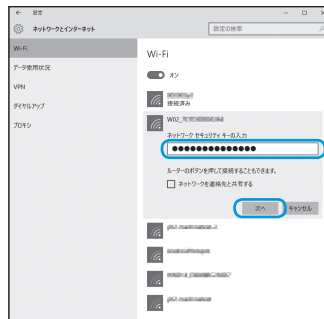


4 本製品の「SSID1」が表示されている項目を選択し、「接続」を選択する

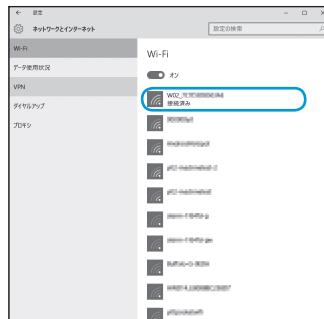
- ・「自動的に接続」にチェックが付いていることを確認してください。
- ・本製品の「SSID1」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択します。



5 事前共有キー(WPA Key)を「ネットワークセキュリティキーの入力」に正しく入力し、「次へ」を選択する



- ・「接続済み」が表示されていることを確認してください。



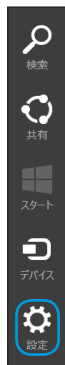
Windows 8/8.1の場合

画面表示や手順は、Windows 8/8.1で本製品の「SSID1 (WPA2/WPA)」を使用して接続する場合を例にして説明しています。

1 本製品の電源ボタンを約3秒以上押して電源を入れる

インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN (Wi-Fi®) 機能がオンになりが表示されます。

2 デスクトップ画面の右端からスワイプ(マウスの場合は画面右上をポイント)し、「設定」を選択する



3 Wi-Fiアイコンを選択する

「利用不可」と表示されている場合は、パソコンの無線LAN(Wi-Fi[®])機能がオフになっています。以下の操作を行ってオンにしてください。

- Windows 8.1の場合は、Wi-Fiアイコンを選択→Wi-Fiをオンにしてください。
- Windows 8の場合は、「PC設定の変更」→「ワイヤレス」の順に選択→ワイヤレスデバイスをオンにしてください。

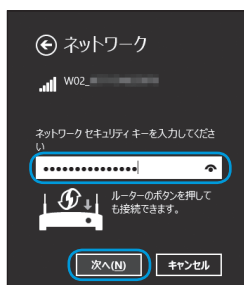


4 本製品の「SSID1」が表示されている項目を選択し、「接続」を選択する

- 「自動的に接続する」にチェックが付いていることを確認してください。
- 本製品の「SSID1」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択します。



5 事前共有キー(WPA Key)を「セキュリティキー」の入力欄に正しく入力し、「次へ」を選択する




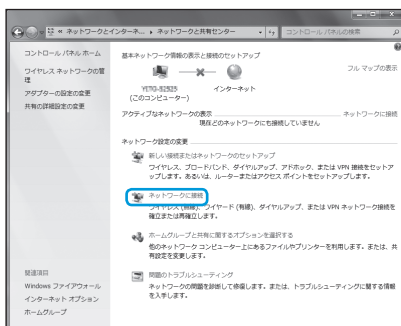
- ・ネットワークのデバイスへの接続を行うかどうか確認のメッセージが表示されるので、必要に応じて項目を選択してください。
- ・「接続済み」が表示されていることを確認してください。



■ Windows 7の場合

画面表示や手順は、Windows 7で本製品の「SSID1 (WPA2/WPA)」を使用して接続する場合を例にして説明しています。

- 1 本製品の電源ボタンを約3秒以上押して電源を入れる**
インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN (Wi-Fi®) 機能がオンになりが表示されます。
- 2 パソコンの無線LAN (Wi-Fi®) 機能をオンにする**
- 3 「スタート」メニューから「コントロールパネル」を選択し、「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」の順に選択する**
- 4 「ネットワークに接続」を選択する**

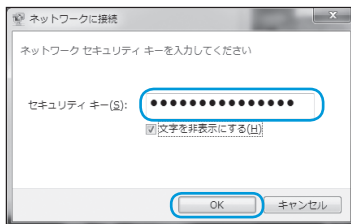



5 本製品の「SSID1」が表示されている項目を選択し、「接続」を選択する

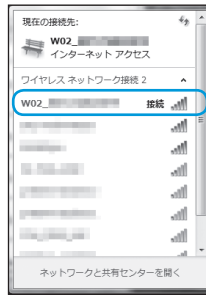
- ・「自動的に接続する」にチェックが付いていることを確認してください。
- ・本製品の「SSID1」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択します。



6 事前共有キー (WPA Key) を「セキュリティ キー」に正しく入力し、「OK」を選択する




- ・手順**3**～**4**、またはタスクトレイの  アイコンを選択して接続状態の画面を開き、「接続」が表示されていることを確認します。



Macを接続する

画面表示や手順はMac OS X 10.11で、本製品の「SSID1 (WPA2/WPA)」を使用して接続する場合を例にして説明しています。

- 1 本製品の電源ボタンを約3秒以上押して電源を入れる**
インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi[®])機能がオンになり  が表示されます。
- 2 アップルメニューから「システム環境設定...」を選択し、「ネットワーク」を選択する**
- 3 「Wi-Fi」を選択し、「Wi-Fiを入にする」を選択して無線LAN(Wi-Fi[®])機能をオンにする**



memo

◎「新しいネットワークに接続する前に確認」にチェックが付いていると、Wi-Fiを入にしたとき、「使ったことのあるネットワークが見つかりません。」というメッセージが表示されることがあります。その場合は、キャンセルを選択して「ネットワーク」の画面に戻ってください。

- 4 「ネットワーク名」のプルダウンリストから本製品の「SSID1」が表示されている項目を選択する**
・本製品の「SSID1」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択します。



- 5 事前共有キー(WPA Key)を「パスワード」に正しく入力し、「このネットワークを記憶」にチェックを付け、「接続」を選択する**
・「ネットワーク名」が本製品の「SSID1」になっていることを確認してください。



スマートフォンを接続する

手順は一般的なAndroid OS搭載端末で、本製品の「SSID1」(WPA2/WPA)を使用して接続する場合を例にして説明しています。その他のセキュリティ設定の場合は、一部の操作が異なります。詳しくは、スマートフォンの取扱説明書を参照してください。

QRコード表示機能を利用して接続する

Android OS搭載端末に「Huawei HiLink」アプリをインストールすることで、本製品に表示したQRコードをアプリでスキャンして、自動的に本製品と接続することができます。

■「Huawei HiLink」アプリをインストールする

本製品のQRコード表示機能を使ってAndroid OS搭載機器を接続するには、Android OS搭載機器にあらかじめ「Huawei HiLink」アプリをインストールしておく必要があります。

1 本製品のホーム画面で「情報」→「QRコードの表示」の順にタップする

接続用のQRコードが表示されます。

2 画面を上をスライドして、「Android用QRコード」をタップする

「Huawei HiLink」アプリダウンロード用のQRコードが表示されます。

3 Android OS搭載端末のQRコード読み取りアプリで、本製品のディスプレイに表示されている「Huawei HiLink」アプリダウンロード用のQRコードを読み取る

・QRコード読み取りアプリの指示に従って、読み取ったURLに接続してください。

4 「インストール」をタップする

・「Huawei HiLink」アプリがダウンロードされることをご確認ください。



- ◎「Huawei HiLink」アプリはGoogle Play™からダウンロードしてください。
- ◎Google Play™で「Huawei HiLink」アプリを検索してダウンロードすることもできます。

QRコードをスキャンしてスマートフォンと接続する

1 本製品のホーム画面で「情報」→「QRコードの表示」の順にタップする

接続用のQRコードが表示されます。

2 Android OS搭載端末のアプリ一覧から「Huawei HiLink」をタップする

デバイスの選択画面が表示されます。
・初回起動時は「Huawei HiLink」アプリ使用の案内が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
・あらかじめ、Android OS搭載端末の無線LAN(Wi-Fi®)機能をオンにしてください。

3 「3G/4G無線ルーター」→「後で」の順にタップする

Huawei HiLinkのホーム画面が表示されます。

4 画面下部のメニューを左にスライド／フリックし、「QRコードのスキャン」をタップする

QRコードのスキャン画面が表示されます。

5 本製品のディスプレイに表示されている接続用のQRコードを読み取る

Android OS搭載端末の画面にWi-Fiの電波アイコンが表示されたら設定完了です。



- ◎「Huawei HiLink」以外のアプリで本製品のQRコードを読み取っても、自動で接続することはできません。必ず「Huawei HiLink」アプリをお使いください。
- ◎QRコードを読み取っても自動で本製品と接続できないときは、「Wi-Fi設定から接続する」(▶P.34)を参照して接続してください。
- ◎「Huawei HiLink」アプリについてご不明な点は、本アプリのディベロッパーまたは以下のホームページよりお問い合わせください。
<http://consumer.huawei.com/jp/support/index.htm>

Wi-Fi設定から接続する

「Huawei HiLink」アプリを利用しない場合は、パスワードを入力する必要があります。

1 本製品の電源ボタンを約3秒以上押して電源を入れる

インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi®)機能がオンになりが表示されます。

2 スマートフォンのメニューから「設定」を選択する

3 設定画面で「Wi-Fi」を選択する

4 Wi-Fiを「OFF」から「ON」にする

アクセスポイントの検索を開始します。

5 検索結果から本製品の「SSID1」が表示されている項目を選択する

・本製品の「SSID1」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択します。

6 事前共有キー(WPA Key)を「パスワード」に正しく入力し、「接続」を選択する

接続に成功すると、スマートフォンに表示されている本製品の「SSID1」の項目に「接続されました」など接続完了を示すメッセージが表示されます。

iPhone/iPod touch/iPad/iPad miniを接続する

画面表示や手順はiPhoneで、本製品の「SSID1 (WPA2/WPA)」を使用して接続する場合を例にして説明しています。

1 本製品の電源ボタンを約3秒以上押して電源を入れる

インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN (Wi-Fi®) 機能がオンになりが表示されます。

2 iPhoneのホーム画面から「設定」を選択する

3 設定画面で「Wi-Fi」を選択する



4 Wi-Fiを「オフ」から「オン」にする



アクセスポイントの検索を開始します。

5 検索結果から本製品の「SSID1」が表示されている項目を選択する

・本製品の「SSID1」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択します。



6 事前共有キー (WPA Key) を「パスワード」に正しく入力し、画面右下の「Join」を選択する



画面左上のステータスバーにWi-Fiアイコンが表示され、「SSID1」にチェックアイコンが表示されます。



ニンテンドー3DS LL／3DS／DSi LL／DSi／DS Lite／DSを接続する

画面表示や手順はニンテンドー3DS LL／3DSで、本製品の「SSID1 (WPA2/WPA)」を使用して接続する場合を例にして説明しています。

memo

- ◎ニンテンドーDS Lite／DSをお使いの場合は、SSID1 (WPA2/WPA) を使用して接続できません。SSID2 (WEP) を使用して接続してください。
- ◎ニンテンドーDS Lite／DSで本製品に接続して、インターネット上のホームページ閲覧を行うには、ニンテンドーDSブラウザが必要になります。
- ◎「ニンテンドーDS」および「Wii」のインターネット通信サービス「ニンテンドーWi-Fiコネクション」は終了しております。詳しくは、任天堂のホームページなどでご確認ください。

1 本製品の電源ボタンを約3秒以上押して電源を入れる

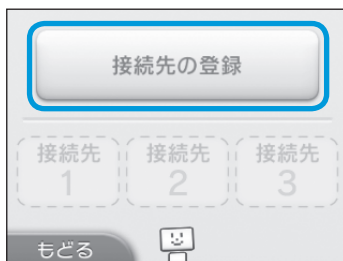
インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN (Wi-Fi®) 機能がオンになりが表示されます。

2 ニンテンドー3DS LL／3DSのメニュー画面から「本体設定」を選択し、「はじめる」を選択する

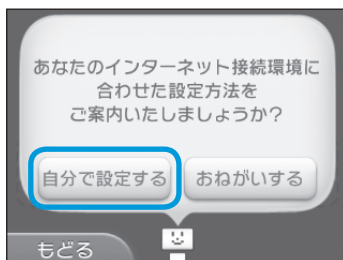


3 「インターネット設定」を選択し、「インターネット接続設定」を選択する

4 「接続先の登録」を選択する



5 「自分で設定する」を選択する



6 「アクセスポイントを検索」を選択する



アクセスポイントの検索を開始します。

7 検索結果から本製品の「SSID1」が表示されている項目を選択する

・本製品の「SSID1」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択します。

8 事前共有キー(WPA Key)を正しく入力し、「決定」を選択する

9 「OK」を選択する

設定が保存されます。

10 「OK」を選択する

接続テストが始まります。「接続テストに成功しました!」が表示されたら設定完了です。

※本書に記載されているニンテンドー3DS LL/3DS/DSi LL/DSi/DS Lite/DSの接続方法は、当社が独自に検証・制作したものです。本内容について任天堂(株)へのお問い合わせはご遠慮ください。

memo

- ◎ ニンテンドーDSi LL/DSi/DS Lite/DSの場合、手順2～5は次のようになります。
 - ・ニンテンドーDSi LL/DSiの場合は、メニュー画面から「本体設定」→「インターネット」→「接続設定」→「未設定」と表示されている接続先の1つを選択します。
 - ・ニンテンドーDS Lite/DSの場合は、ニンテンドーDSブラウザを起動し、「Wi-Fiコネクション設定」→「Wi-Fi接続先設定」→「未設定」と表示されている接続先の1つを選択します。
- ◎ ニンテンドーDSi LL/DSiの場合は、手順3で事前共有キー(WPA Key)入力後は「OK」→「OK」を選択します。
- ◎ ニンテンドーDS Lite/DSの場合は、手順7で本製品の「SSID2」(▶P.62)が表示されている項目を選択し、手順8でWEPキー(WEP Key)入力後「OK」を選択します。
- ◎ 操作方法については、ニンテンドー3DS LL/3DS/DSi LL/DSi/DS Lite/DSの取扱説明書を参照してください。

Wii Uを接続する

手順は、本製品の「SSID1(WPA2/WPA)」を使用して接続する場合を例にして説明しています。その他のセキュリティ設定の場合は、一部の操作が異なります。詳しくは、Wii Uの取扱説明書を参照してください。

1 本製品の電源ボタンを約3秒以上押して電源を入れる

インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi[®])機能がオンになりが表示されます。

2 Wii Uメニュー画面から「Wii U本体設定」を選択する

3 「インターネット」を選択する

4 「インターネットに接続する」を選択する

アクセスポイントの検索を開始します。

5 検索結果から本製品の「SSID1」が表示されている項目を選択する

・本製品の「SSID1」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択します。

6 事前共有キー(WPA Key)を正しく入力し、「OK」を選択する

接続テストが始まります。

7 「OK」を選択する

設定が保存されます。

- ・通常使う接続先に設定するかどうかの確認画面が表示された場合は、必要に応じて設定します。
- ・Wii U本体の更新をするかどうかの確認画面が表示される場合があります。本体更新は必要に応じて行ってください。本体更新の内容や操作については、任天堂(株)のウェブサイトをご確認ください。

※本書に記載されているWii Uの接続方法は、当社が独自に検証・制作したものです。本内容について任天堂(株)へのお問い合わせはご遠慮ください。

PlayStation®Vitaを接続する

画面表示や手順は、本製品の「SSID1(WPA2/WPA)」を使用して接続する場合を例にして説明しています。その他のセキュリティ設定の場合は、一部の操作および画面が異なります。詳しくは、PlayStation®Vitaの取扱説明書を参照してください。

1 本製品の電源ボタンを約3秒以上押して電源を入れる

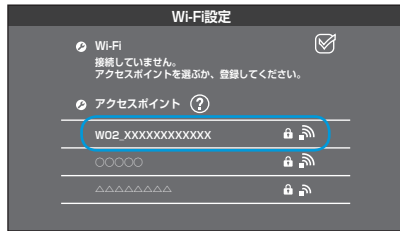
インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi[®])機能がオンになりが表示されます。

2 PS Vitaのホーム画面から「設定」→「はじめる」→「ネットワーク」→「Wi-Fi設定」の順に選択する

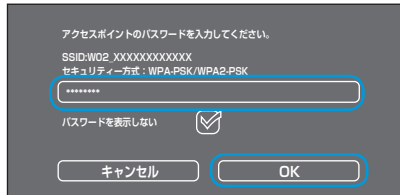
3 「Wi-Fi」にチェックを付ける

4 「アクセスポイント」の一覧画面から本製品の「SSID1」が表示されている項目を選択する

・本製品の「SSID1」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択します。



5 事前共有キー (WPA Key) を正しく入力し、「OK」を選択する



6 「Wi-Fi設定」画面に戻ったら、本製品の「SSID1」がWi-Fiで接続されていることを確認する

PSP® (PlayStation® Portable) を接続する

画面表示や手順は、PSP-2000/PSP-3000シリーズ、PSP-N1000 (PSP®go) で本製品の「SSID1 (WPA2/WPA)」を使用して接続する場合を例にして説明しています。PSP-1000*シリーズを使用した場合や、その他のセキュリティ設定の場合は、一部の操作および画面が異なります。

詳しくは、PSP® (PlayStation® Portable) の取扱説明書などを参照してください。
PSP®は、WPA2-PSKの暗号化方式に対応していません。「WPA-PSK」で設定を行ってください。

※: PSP-1000シリーズのシステムソフトウェアver1.52以前では、一部手順が異なります。

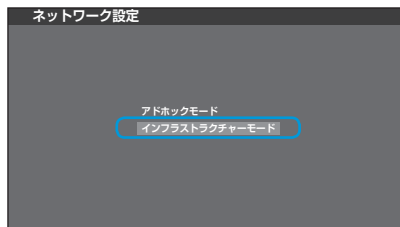
1 本製品の電源ボタンを約3秒以上押して電源を入れる

インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN (Wi-Fi®) 機能がオンになりが表示されます。

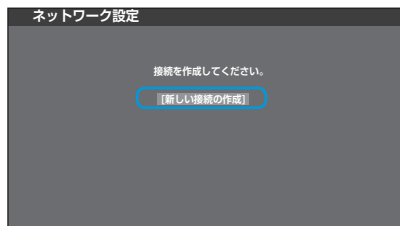
2 PSP®のワイヤレスLANスイッチをオンにする

3 PSP®のホームメニュー画面から「設定」→「ネットワーク設定」の順に選択し、○ボタンを押す

4 「インフラストラクチャーモード」を選択し、○ボタンを押す

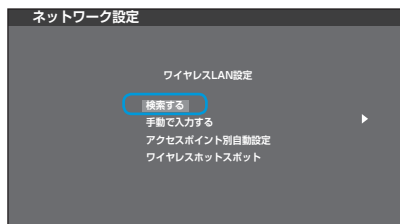


5 「[新しい接続の作成]」を選択し、○ボタンを押す



・PSP-1000シリーズの場合は、この後、接続名を入力して方向キー「▷」を押します。

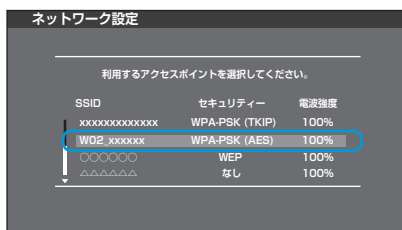
6 「検索する」を選択し、方向キー「▷」を押す



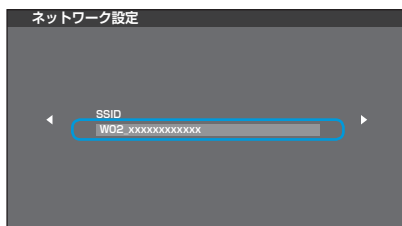
アクセスポイントの検索を開始します。

7 検索結果から本製品の「SSID1」が表示されている項目を選択し、○ボタンを押す

・本製品の「SSID1」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択し、○ボタンを押します。

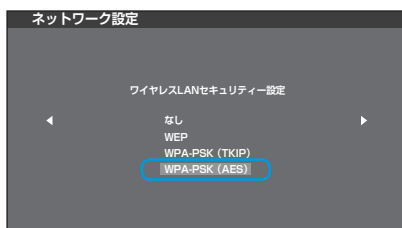


8 表示された「SSID1」を確認し、方向キー「▷」を押す

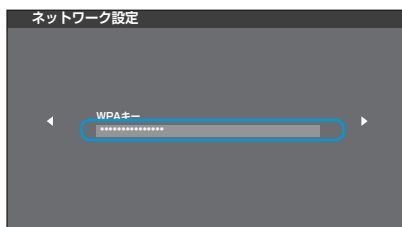


9 「WPA-PSK(AES)」を選択し、方向キー「▷」を押す

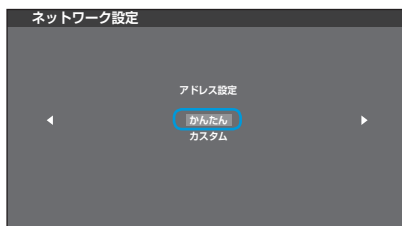
・「WPA-PSK(TKIP)」を選択することもできますが、「WPA-PSK(AES)」の方がより安全とされています。



10 ○ボタンを押して事前共有キー(WPA Key)を正しく入力し、方向キー「▷」を押す

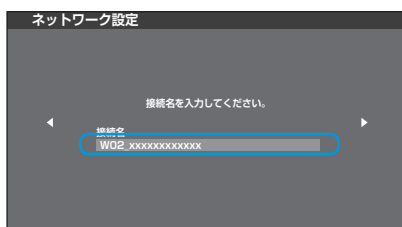


11 「かんたん」を選択し、方向キー「▷」を押す



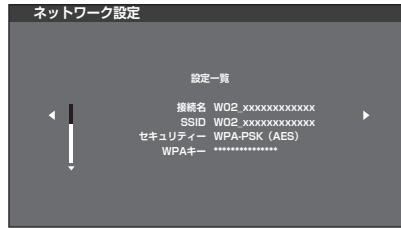
12 接続名を確認し、方向キー「▷」を押す

・PSP-1000シリーズの場合、この画面は表示されません。次の手順へお進みください。



◎接続名は変更することができます。○ボタンを押して入力画面を表示させ、任意の接続名を入力して設定してください。

13 設定一覧の内容を確認し、方向キー「▷」を押す



14 ○ボタンを押す

設定が保存されます。

15 保存が完了したら、○ボタンを押す

接続テストが始まります。テストの結果が表示されたら設定完了です。

PlayStation®3を接続する

画面表示や手順は、本製品の「SSID1 (WPA2/WPA)」を使用して接続する場合を例にして説明しています。その他のセキュリティ設定の場合は、一部の操作および画面が異なります。詳しくは、PS3®の取扱説明書などを参照してください。

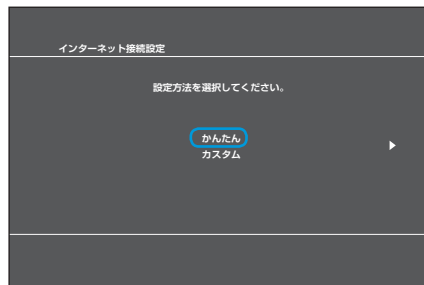
1 本製品の電源ボタンを約3秒以上押して電源を入れる

インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN (Wi-Fi®) 機能がオンになりが表示されます。

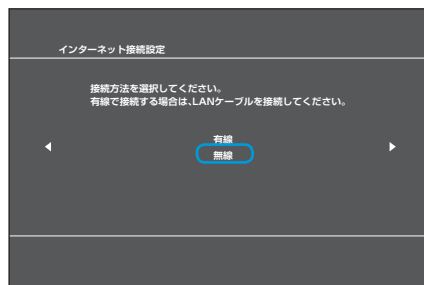
2 PS3®のホームメニュー画面から「設定」→「ネットワーク設定」→「インターネット接続設定」の順に選択し、○ボタンを押す

3 「OK」を選択し、○ボタンを押す

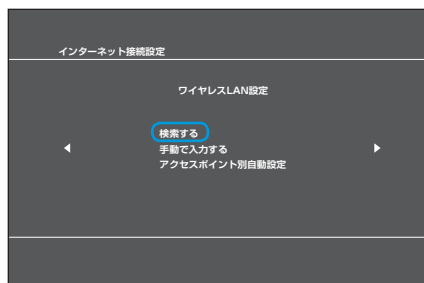
4 「かんたん」を選択し、方向キー「▷」を押す



5 「無線」を選択し、方向キー「▷」を押す



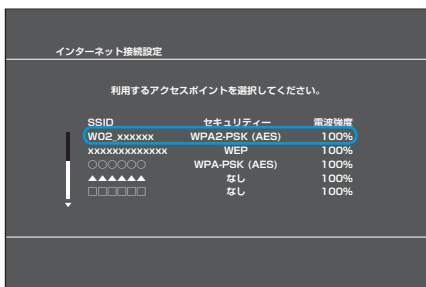
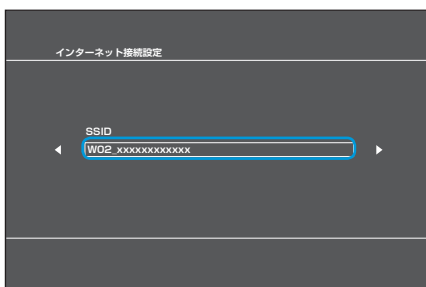
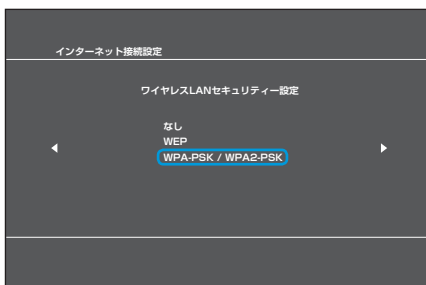
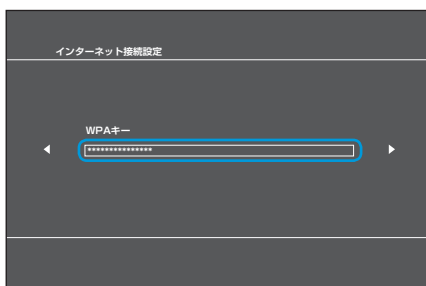
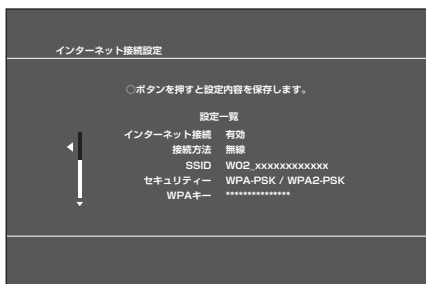
6 「検索する」を選択し、方向キー「▷」を押す



アクセスポイントの検索を開始します。

7 検索結果から本製品の「SSID1」が表示されている項目を選択し、○ボタンを押す

・本製品の「SSID1」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択し、○ボタンを押します。

**8 表示された「SSID1」を確認し、方向キー「▷」を押す****9 「WPA-PSK / WPA2-PSK」を選択し、方向キー「▷」を押す****10 ○ボタンを押して事前共有キー (WPA Key) を正しく入力し、方向キー「▷」を押す****11 設定一覧の内容を確認し、○ボタンを押す**

設定が保存されます。

12 保存が完了したら、○ボタンを押す

接続テストが始まります。テストの結果が表示されたら設定完了です。

PlayStation®4を接続する

画面表示や手順は、本製品の「SSID1 (WPA2/WPA)」を使用して接続する場合を例にして説明しています。その他のセキュリティ設定の場合は、一部の操作および画面が異なります。詳しくは、PS4®の取扱説明書などを参照してください。

1 本製品の電源ボタンを約3秒以上押して電源を入れる

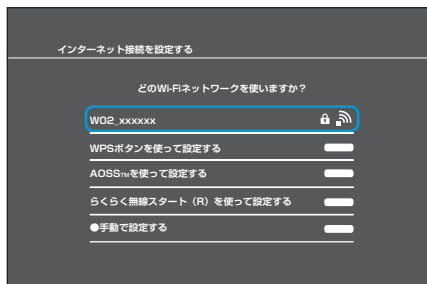
インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN (Wi-Fi®) 機能がオンになりが表示されます。

2 PS4®のホーム画面で方向キー「△」を押し、「設定」→「ネットワーク」→「インターネット接続を設定する」→「Wi-Fiを使う」→「かんたん」の順に選択し、○ボタンを押す

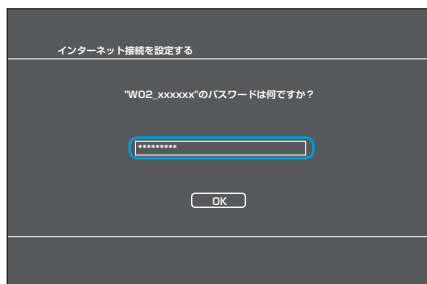
アクセスポイントの検索を開始します。

3 検索結果から本製品の「SSID1」が表示されている項目を選択し、○ボタンを押す

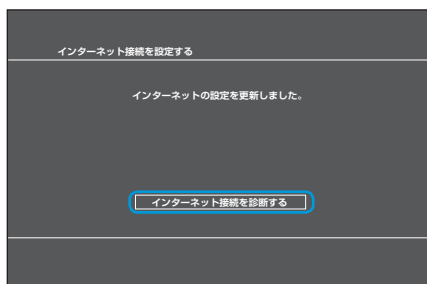
・本製品の「SSID1」の設定を変更している場合には、設定している名称の項目を選択し、○ボタンを押します。



4 事前共有キー (WPA Key) を正しく入力し、○ボタンを押す



5 「インターネット接続を診断する」を選択し、○ボタンを押す



接続テストが始まります。テストの結果が表示されたら設定完了です。

WPS対応の無線LAN(Wi-Fi[®])端末を接続する

memo

- ◎ WPS機能の接続設定は機器によって異なりますので、お使いの無線LAN(Wi-Fi[®])端末に添付されている取扱説明書などを参照してください。
- ◎ 本製品の「SSID1」のSSIDステルス機能が有効になっているとWPS機能は使用できません。SSIDステルス機能については、「セキュリティ設定」(▶P.61)を参照してください。
- ◎ 本製品のWPS機能は約2分間有効です。WPS機能をオンしてから約2分以内に、無線LAN(Wi-Fi[®])端末でWPS接続を完了してください。
- ◎ 本製品と無線LAN(Wi-Fi[®])端末をWPS接続する場合に接続するSSIDは、無線LAN(Wi-Fi[®])端末の暗号化方式によって決定されます。無線LAN(Wi-Fi[®])端末の暗号化方式がWEPのみに対応の場合は「SSID2」(▶P.62)に自動的に接続され、WEPとWPA2/WPAIに対応の場合は「SSID1」に優先して接続されます。
- ◎ WPS機能を実行して「SSID2」に接続機器を追加すると、「SSID2」のネットワーク名やWEPキー(WEP Key)が自動で変更されることがあります。WPS機能を実行する前に手動で接続していた機器の接続が切断された場合は、「セキュリティ設定」(▶P.61)で変更されたネットワーク名とWEPキー(WEP Key)を確認し、手動で再設定を行ってください。

1 本製品の電源ボタンを約3秒以上押して電源を入れる

インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi[®])機能がオンになりが表示されます。

2 無線LAN(Wi-Fi[®])端末の無線LAN(Wi-Fi[®])機能をオンにし、必要に応じてWPS設定の準備操作を行う

3 ホーム画面で「かんたん設定」→「次へ」→「ワンタッチ設定(WPS)」→「WPS」の順にタップする

WPS機能がオンになります。

- ・ ホーム画面で「設定」→「通信設定」→「WPS」→「WPSボタン」→「WPS」の順にタップしても操作できます。

4 無線LAN(Wi-Fi[®])端末でWPS機能の接続操作を行う

設定に成功すると、本製品のディスプレイにしばらくの間「Wi-Fi接続が完了しました。」または「成功」と表示されます。また、ホーム画面の無線LAN(Wi-Fi[®])端末接続台数表示の台数が1つ増えます。

- ・ お使いの無線LAN(Wi-Fi[®])端末によって操作は異なります。

memo

- ◎ お使いのWPS対応の無線LAN(Wi-Fi[®])端末にWPS用のPINコードが指定されている場合には、指定されたPINコードをあらかじめ本製品の設定項目「WPS PIN入力」に設定しておく必要があります。「WPS設定」(▶P.62)または「WPS」(▶P.85)を参照してください。また、「WPS PIN入力」を設定すると、本製品のWPS機能がオンになります。約2分以内に、無線LAN(Wi-Fi[®])端末でWPS機能の接続操作を行ってください。

USB接続する

USB接続モードについて

指定のmicroUSBケーブルを使用して本製品とパソコンをUSB接続できます。本製品には次の2つの接続モードがあります。

- ・通信+充電:USB接続したパソコンから充電を行いながら、データ通信ができます。
- ・充電のみ:USB接続したパソコンから充電のみを行います。

お買い上げ時のUSB接続モードは「通信+充電」に設定されています。USB接続でデータ通信を行うには、USB接続モードを「通信+充電」に設定したままご利用ください(▶P.63、88)。

WindowsパソコンにUSB接続する

本製品をパソコンとUSB接続して使用する場合は、本製品の電源が入っていることを確認してから接続してください。

Windowsパソコンに取り付ける

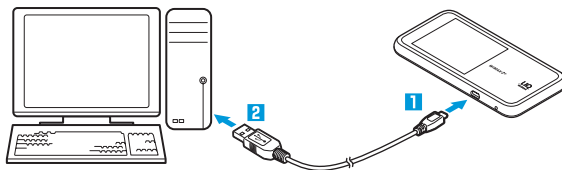
1 本製品の外部接続端子に指定のmicroUSBケーブルを接続する

- ・コネクタ先端の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。奥までしっかり差し込んでください。

2 指定のmicroUSBケーブルのもう一方のコネクタをパソコンのUSBポートに接続する

パソコンがデータ通信端末(本製品)を認識します(ご使用のパソコンによっては、時間がかかる場合があります)。

- ・コネクタ先端の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。



memo

◎本製品をパソコンに取り付けた状態で、パソコンでスタンバイ(サスペンド/レジューム)、または休止(ハイパーネーション)を行うと、正常に動作しない場合があります。必ず本製品を取り外してから、スタンバイ(サスペンド/レジューム)、または休止(ハイパーネーション)を行ってください。また、本製品を取り付けた状態で再起動したり電源を入れたりすると、正常に動作しない場合があります。この場合、パソコンを起動する前に本製品を取り外してください。

Speed Wi-Fi NEXT setting toolをインストールする

USB接続したパソコンから充電を行いながらデータ通信するためには、パソコンにSpeed Wi-Fi NEXT setting toolをインストールする必要があります。画面表示や手順はWindows 10を例としています。

memo

- ◎USB接続モードが「充電のみ」の場合は、パソコンとUSB接続しても、Speed Wi-Fi NEXT setting toolはインストールできません。
- ◎インストール中に本製品を取り外さないでください。インストールが正常に行われず、システムがダウンするなどの異常を起こすおそれがあります。
- ◎管理者権限(Administrator)でログインしてください。

1 パソコンの電源を入れ、OSを起動する

2 本製品をパソコンに接続する

パソコンがデータ通信端末(本製品)を認識します(ご使用のパソコンによっては、時間がかかる場合があります)。

CDドライブへの操作を確認するメッセージが表示されます。

- ・Windows 7、Windows Vistaの場合は「自動再生」画面が表示されます。
- ・Windows 10、Windows 8/8.1、Windows 7、Windows Vistaで「自動再生」の設定を変更したときは、メッセージまたは「AutoRun.exeの実行」は表示されない場合があります。
- ・自動再生されない場合、Windows 10では「スタート」メニュー→「エクスプローラー」→「CDドライブ(X:)」Speed Wi-Fi Next]→「AutoRun.exe」の順に選択してください。Windows 8/8.1では「デスクトップモード」→タスクバー上の「エクスプローラー」アイコン→「コンピュータ(PC)」→「CDドライブ(X:)」Speed Wi-Fi Next]→「AutoRun.exe」の順に選択してください。Windows 7、Windows Vistaでは「コンピュータ」→「CDドライブ(X:)」Speed Wi-Fi Next]→「AutoRun.exe」の順に選択してください。

3 CDドライブへの操作を確認するメッセージを選択し、「AutoRun.exeの実行」を選択する



4 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、「はい」を選択する

- ・ Windows Vistaをお使いの場合は「続行」を選択します。
- ・ インストールが開始されます。デスクトップに「Speed Wi-Fi Next setting tool」のショートカットアイコンが表示されたら、インストール完了です。

Windowsパソコンから取り外す

1 データの送受信が終了していることを確認し、本製品を取り外す

MacにUSB接続する

本製品をMacとUSB接続して使用する場合は、本製品の電源が入っていることを確認してから接続してください。

Macに取り付ける

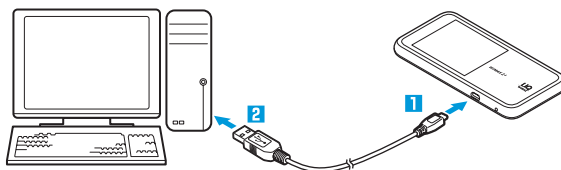
1 本製品の外部接続端子に指定のmicroUSBケーブルを接続する

- ・ コネクタ先端の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。奥までしっかり差し込んでください。

2 指定のmicroUSBケーブルのもう一方のコネクタをMacのUSBポートに接続する

Macがデータ通信端末(本製品)を認識します(ご使用のMacによっては、時間がかかる場合があります)。

- ・ コネクタ先端の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。



memo

- ◎ 本製品をMacに取り付けた状態で、Macでスリープを行うと、正常に動作しない場合があります。必ず本製品を取り外してから、スリープを行ってください。また、本製品を取り付けた状態で再起動したり電源を入れたりすると、正常に動作しない場合があります。この場合、Macを起動する前に本製品を取り外してください。

Speed Wi-Fi NEXT setting toolをインストールする

USB接続したMacから充電を行いながらデータ通信するためには、MacにSpeed Wi-Fi NEXT setting toolをインストールする必要があります。

画面表示や手順はMac OS X 10.11を例としています。

memo


- ◎ USB接続モードが「充電のみ」の場合は、MacとUSB接続しても、Speed Wi-Fi NEXT setting toolはインストールできません。
- ◎ インストール中に本製品を取り外さないでください。インストールが正常に行われず、システムがダウンするなどの異常を起こすおそれがあります。
- ◎ 管理者権限 (Administrator) でログインしてください。

1 Macの電源を入れ、OSを起動する

2 本製品をMacに接続する

Macがデータ通信端末(本製品)を認識します(ご使用のMacによっては、時間がかかる場合があります)。

デスクトップに「Speed Wi-Fi Next」アイコンと「Speed Wi-Fi Next」画面が表示されます。

- ・ 「Speed Wi-Fi Next」画面が表示されない場合は、 を選択してFinderの画面を表示させ、「デバイス」から「Speed Wi-Fi Next」を選択してください。

3 「Speed Wi-Fi Next」を選択する



インストールが完了すると、Dockに「Speed Wi-Fi Next setting tool」が登録されます。

Macから取り外す

1 データの送受信が終了していることを確認し、本製品を取り外す

Speed Wi-Fi NEXT setting toolをアンインストールする

パソコンに本製品を接続してお使いにならない場合は、アンインストールすることもできます。

Windowsパソコンからアンインストールする

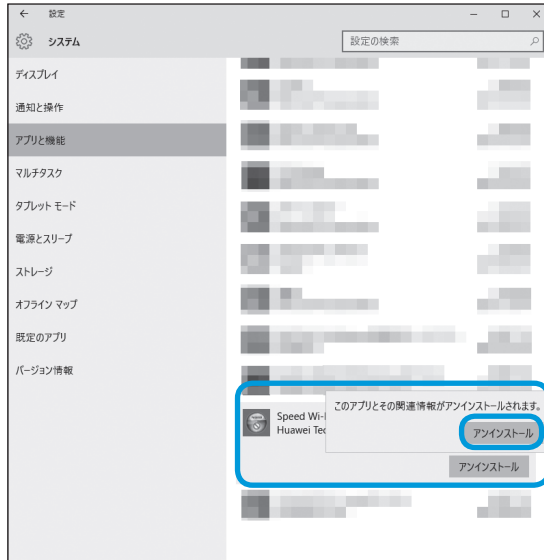
画面表示や手順はWindows 10を例としています。

1 「スタート」メニューから「設定」→「システム」→「アプリと機能」の順に選択する

- Windows 8/8.1の場合は、デスクトップ画面の右端からスワイプ(マウスの場合は画面右上をポイント)し、「設定」→「コントロールパネル」→「プログラム」→「プログラムと機能」の順に選択します。
- Windows 7の場合は、「スタート」メニューから「コントロールパネル」→「プログラム」→「プログラムと機能」の順に選択します。

2 「Speed Wi-Fi Next setting tool」を選択し、「アンインストール」→「アンインストール」の順に選択する

- Windows 8/8.1、Windows 7、Windows Vistaの場合は、「Speed Wi-Fi Next setting tool」を選択し、「アンインストールと変更」を選択します。
- 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、「はい」(Windows Vistaの場合は「続行」)を選択します。



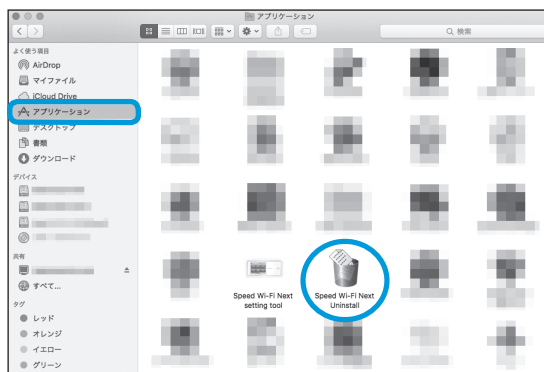
アンインストールが完了すると、デスクトップ画面から「Speed Wi-Fi Next setting tool」のショートカットアイコンが消えます。

Macからアンインストールする

画面表示や手順はMac OS X 10.11を例としています。

1 アプリケーションの画面を表示する

2 「Speed Wi-Fi Next Uninstall」アイコンを選択する



3 アンインストールの確認画面で「OK」を選択する

アンインストールが完了すると、Dockから「Speed Wi-Fi Next setting tool」のアイコンが消えます。

インターネット接続

インターネット接続するには.....	48
インターネットに接続する	48
通信モードを切り替える	48
W02クレードル(HWD33PUU) (別売)に LANケーブルを接続して通信する	49

インターネット接続するには

インターネットに接続してデータ通信を行うには、サービスに対応するインターネットサービスプロバイダ(ISP)との契約が必要です。ご加入のISPから別途設定の指定がある場合は「プロファイル設定」(▶P.56)で対応ISPのプロファイル設定を追加し、「接続設定」(▶P.55)でプロファイルを変更してください。

- 料金については、ご契約されたWiMAX事業者ホームページを参照してください。
- 対応ISPについては、ご契約されたWiMAX事業者ホームページをご確認ください。対応ISPのサービス内容や、設定方法はISPによって異なりますので、各対応ISPにご確認ください。

インターネットに接続する

本製品は、無線LAN(Wi-Fi®)接続またはUSB接続した端末からWiMAX 2+方式、LTE方式を使ってインターネット接続してデータ通信が行えます。



◎本製品の通信は、すべてベストエフォート方式です。接続環境などによって、通信速度が最大値に達しないことがあります。

インターネットへの接続

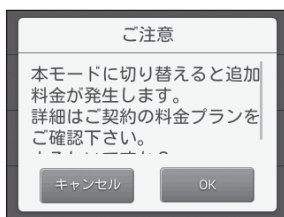
本製品でインターネット接続する場合は、本製品の電源が入っていることを確認してください。本製品は、電源を入れると自動的にインターネットに接続されます。

通信モードを切り替える

インターネット接続中に受信レベルが不安定になったり圏外になったときなど、通信モードを切り替えると安定した受信レベルでの通信ができる場合があります。

1 ホーム画面で「設定」→「通信設定」→「通信モード設定」→「ハイスピード」/「ハイスピードプラスエリア」→ ✓ の順にタップする

- 「ハイスピード」に設定するとWiMAX 2+ネットワーク、「ハイスピードプラスエリア」に設定するとWiMAX 2+またはLTEネットワークに接続します。
- お買い上げ時の通信モードは「ハイスピード」に設定されています。
- 「ハイスピードプラスエリア」を選択した場合は、「ご注意」画面が表示されます。内容を確認して「OK」をタップし、✓ をタップしてください。「ハイスピードプラスエリア」へ切り替えてご利用の場合、所定の追加料金が別途かかります。詳細はご契約されたWiMAX事業者へご確認ください。



W02クレードル(HWD33PUU) (別売)にLANケーブルを接続して通信する

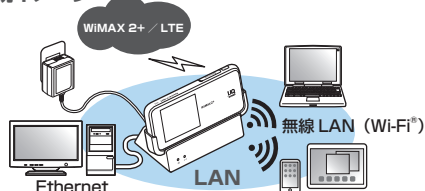
クレードル(別売)にLANケーブル(市販品)を接続すると、充電しながらLAN接続やインターネット接続をすることができます。共通ACアダプタ05(別売)を接続して充電する方法を説明します。

「ルーターモード」で使用する(WiMAX 2+ / LTE回線を使用する場合)

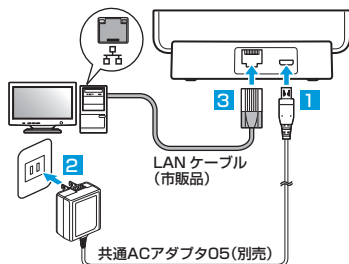
「ルーターモード」では、クレードル(別売)とLANケーブル(市販品)で接続されているパソコンから、本製品のWiMAX 2+ / LTE回線を使用してネットワークに接続することができます。


- 無線LAN(Wi-Fi®)端末を本製品と無線LAN(Wi-Fi®)で接続する場合は、あらかじめ本製品で無線LAN(Wi-Fi®)接続の設定を行ってください。

接続イメージ



- 1 クレードル(別売)の電源用microUSB接続端子に共通ACアダプタ05(別売)のmicroUSBプラグを接続する**
コネクタ先端の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。奥までしっかり差し込んでください。
- 2 共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む**
クレードル(別売)の電源ランプが点灯します。
- 3 LANケーブル(市販品)でパソコンとクレードル(別売)を接続する**
クレードル(別売)のEthernetランプが点滅/点灯します。



- 4 本製品の電源ボタンを約3秒以上押して電源を入れる**
インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi®)機能がオンになりが表示されます。
- 5 ホーム画面で「設定」→「システム設定」→「クレードル設定」→モード設定の「ルーターモード」の順にタップする**
- 6 クレードル(別売)の充電用microUSBコネクタに本製品を接続する**



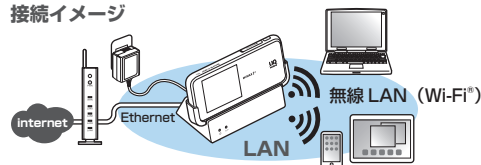
memo

- ◎ 本製品の外部接続端子を下にして充電用microUSBコネクタに対しまっすぐに接続してください。取り外す際も、充電用microUSBコネクタに対しまっすぐに取り外してください。誤った向きで抜き差しすると、破損の原因になります。
- ◎ データ通信中は、クレードル(別売)のEthernetランプが点滅します。
- ◎ クレードル(別売)に、パソコンへの給電機能はありません。
- ◎ クレードル(別売)を電源につながらないとLANケーブルでの通信はできません。

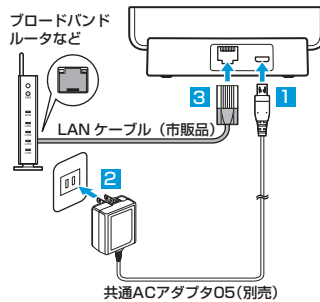
「APモード」で使用する(ブロードバンド回線に接続する場合)


「APモード」では、ブロードバンドルータなどとクレードル(別売)をLANケーブル(市販品)で接続して、本製品と無線LAN(Wi-Fi®)で接続している機器からインターネットに接続することができます。

- あらかじめ本製品で無線LAN(Wi-Fi®)接続の設定、および接続先のパソコンや通信機器でインターネット接続の設定を行ってください。




- 1 クレードル(別売)の電源用microUSB接続端子に共通ACアダプタ05(別売)のmicroUSBプラグを接続する**
プラグの形状を確認し、まっすぐに差し込みます。奥までしっかり差し込んでください。
- 2 共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む**
クレードル(別売)の電源ランプが点灯します。
- 3 LANケーブル(市販品)でブロードバンドルータなどとクレードル(別売)を接続する**
クレードル(別売)のEthernetランプが点滅/点灯します。



- 4 本製品の電源ボタンを約3秒以上押して電源を入れる**
インターネットに自動的に接続されます。また、無線LAN(Wi-Fi®)機能がオンになりが表示されます。
- 5 ホーム画面で「設定」→「システム設定」→「クレードル設定」→モード設定の「APモード」の順にタップする**
- 6 クレードル(別売)の充電用microUSBコネクタに本製品を接続する**



memo

- ◎ 本製品の外部接続端子を下にして充電用microUSBコネクタに対しまっすぐに接続してください。取り外す際も、充電用microUSBコネクタに対しまっすぐに取り外してください。誤った向きで抜き差しすると、破損の原因になります。
- ◎ APモードでクレードル(別売)接続中は画面左上にが表示されます。
- ◎ データ通信中は、クレードル(別売)のEthernetランプが点滅します。
- ◎ クレードル(別売)に、ブロードバンドルータなどへの給電機能はありません。
- ◎ クレードル(別売)を電源につながないとLANケーブルでの通信はできません。

Speed Wi-Fi NEXT設定ツールについて.....	52
インターネットや無線LAN(Wi-Fi [®])の情報を確認する(接続).....	54
各種機能の詳細設定をする(設定).....	54
WAN設定.....	55
LAN設定.....	60
セキュリティに関する機能の設定をする(ファイアウォール設定).....	64
パフォーマンス設定.....	70
クイック起動.....	71
リモート起動.....	71
システム設定.....	72
オンラインアップデート.....	75
スマートフォン用Speed Wi-Fi NEXT設定ツールについて.....	77
基本情報を確認する.....	78
初期設定を行う.....	79
オンラインアップデート.....	82
本製品のタッチメニューについて.....	83
タッチメニューを操作する.....	83
設定項目一覧.....	83
通信設定.....	84
プロファイル選択.....	86
システム設定.....	87
ステータス.....	91
アップデート.....	92
情報.....	93
ヘルプ.....	94

Speed Wi-Fi NEXT設定ツールについて

本製品に無線LAN(Wi-Fi®)または指定のmicroUSBケーブルで接続したパソコンなどのWebブラウザから、Speed Wi-Fi NEXT設定ツールを使用して本製品の各種機能を設定することができます。手順は無線LAN(Wi-Fi®)で接続した場合を例にして説明しています。

- 無線LAN(Wi-Fi®)で接続してSpeed Wi-Fi NEXT設定ツールを使用する場合は、「SSID1」を使用して接続してください。「SSID2」を使用して接続するとSpeed Wi-Fi NEXT設定ツールを使用できません。

memo

- 無線LAN(Wi-Fi®)でSpeed Wi-Fi NEXT設定ツールに接続して「DHCP設定」や「LAN設定」の設定内容を変更すると、無線LAN(Wi-Fi®)の接続が切れることがあります。再接続するには無線LAN(Wi-Fi®)端末の設定変更が必要になりますのでご注意ください。
- Speed Wi-Fi NEXT設定ツールを同時に複数の端末でログインして表示/設定することはできません。ログイン中に他の端末がログインした場合は、先にログインしていた端末は自動的にログアウトされます。
- Speed Wi-Fi NEXT設定ツールは、以下のWebブラウザに対応しています。
 - Microsoft Internet Explorer 8.0~11.0
 - Microsoft Edge
 - Safari 6.0~9.0
 - Firefox 24.0~41
 - Chrome 10~46
 - Opera 11~32

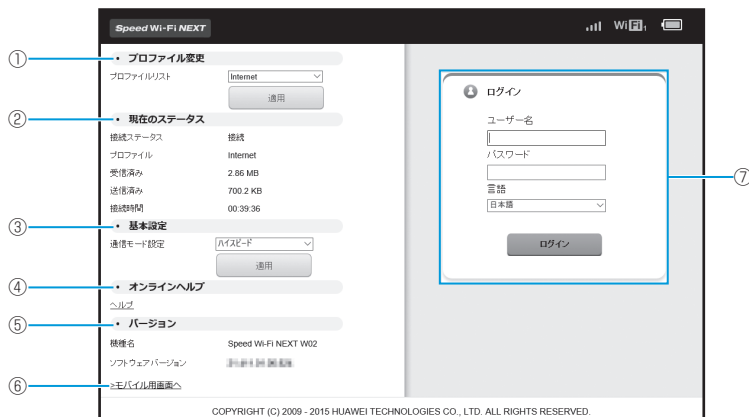
Speed Wi-Fi NEXT設定ツールを起動する

- 本製品の電源ボタンを約3秒以上押して電源を入れる
- 無線LAN(Wi-Fi®)端末を起動し、本製品と無線LAN(Wi-Fi®)で接続する
- Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://speedwifi-next.home」と入力する
ログイン画面が表示されます。

memo

- デスクトップ上(Macの場合はDock)にある「Speed Wi-Fi Next setting tool」のアイコンをダブルクリックして、Speed Wi-Fi NEXT設定ツールを起動することもできます。「Speed Wi-Fi Next setting tool」は、本製品を指定のmicroUSBケーブルでパソコンに接続したときにインストールします(▶P.44)。

Speed Wi-Fi NEXT設定ツールのトップページ

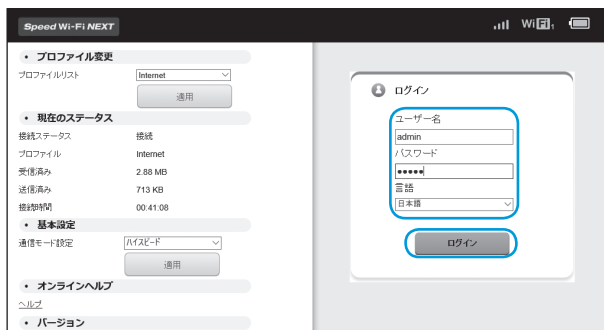


- プロフィール変更**
プロフィールリストからプロファイルを選択します。本製品にはインターネットに接続するためのプロファイルとして「Internet」など7件があらかじめ用意されています。ご自分で加入されたインターネットサービスプロバイダの指定に応じて、新しいプロファイルを作成することもできます(▶P.56)。
- 現在のステータス**
本製品の現在の通信状態(ステータス)が表示されます。
- 基本設定**
通信モード設定のリストからネットワークへの接続方法を選択します。
- オンラインヘルプ**
オンラインヘルプを表示します。
- バージョン**
本製品の機種名とソフトウェアバージョンが表示されます。本製品に内蔵されたソフトウェアは、インターネットを通じて最新のバージョンにアップデートできます(「オンラインアップデート」)(▶P.75))。
- モバイル用画面へ**
スマートフォン用Speed Wi-Fi NEXT設定ツール(▶P.77)を表示します。
- ログイン**
ユーザー名とパスワードを入力してSpeed Wi-Fi NEXT設定ツールにログインします(▶P.53)。

Speed Wi-Fi NEXT設定ツールにログインする


1 ユーザー名「admin」とパスワードを入力して、「ログイン」を選択する

- ログインする際は、本製品がロック解除画面の表示中、または画面消灯中に操作してください。
- お買い上げ時のSpeed Wi-Fi NEXT設定ツールのログインパスワードは、本体の背面下部に記載されているIMEIの下5桁が設定されています。
- 必要に応じて言語欄のリストから画面表示に使用する言語を選択してください。



ログインに成功すると、Speed Wi-Fi NEXT設定ツールの設定画面が表示されます。

memo

- ◎ 約1分以内にパスワードの入力を3回連続して間違えると、Speed Wi-Fi NEXT設定ツールが一時的にロックされます。約3分経過して、自動的にロックが解除されてから再度ログインしてください。
- ◎ セキュリティ保護のため、お買い上げ時のパスワードは変更することをおすすめします。変更方法については、「パスワード変更」(▶P.75)を参照してください。
- ◎ Speed Wi-Fi NEXT設定ツールを約5分間操作しない場合、自動的にログアウトし、トップページに戻ります。入力中の項目は削除されますので、ご注意ください。
- ◎ お使いのWebブラウザによっては、パスワード入力欄が空欄の状態ですべてパスワードを入力すると、が表示され、選択すると入力したパスワードを確認できます。
- ◎ ログイン中に本製品を操作すると、Speed Wi-Fi NEXT設定ツールから自動的にログアウトされます。また、本体操作中はログインできません。

Speed Wi-Fi NEXT設定ツールの設定画面



- ① **メニューナビ**
メニュー項目を選択して切り替えます。
- ② **サブメニュー**
サブメニュー項目を選択して切り替えます。
- ③ **アップデート検出表示**
「オンラインアップデート」の「自動検出」(▶P.75、92)をオンに設定して、最新ソフトウェアを検出した場合に表示されます。
- ④ **DFSチェック中表示**
DFSチェック(▶P.28)中に表示されます。
- ⑤ **受信レベル表示**
接続されているネットワークの受信レベルが表示されます。
- ⑥ **LAN接続状態表示**
無線LAN(Wi-Fi®)接続中は接続端末数が表示されます。
- ⑦ **電池残量表示**
- ⑧ **ログアウト**
Speed Wi-Fi NEXT設定ツールからログアウトします。
- ⑨ **ヘルプ**
「取扱説明書 詳細版」(本書)や、ソフトウェアアップデート情報のページを表示します。
- ⑩ **設定ページ**
各機能の設定/情報画面が表示されます。

インターネットや無線LAN(Wi-Fi[®])の情報を確認する(接続)

1 メニューナビから「接続」を選択する

サブメニューが表示されます。

2 確認したい項目を選択する

接続ステータス

インターネット(接続ステータス)についての情報が表示されます。



memo

- ◎表示される受信済み/送信済みデータ量は目安であり、実際の送受信データ量とは異なることがあります。
- ◎無線LAN(Wi-Fi[®])接続の受信データ/送信データ量および接続時間は、データ通信が切断されたり、本製品を再起動したときにリセットされます。

情報

本製品の端末情報が表示されます。



「詳細」を選択すると、Wi-Fiチャンネル、Wi-Fiデータレート(Mbps)、プライバシーセパレータの設定状況とWi-Fi接続情報が表示されます。

memo

- ◎電話番号が表示されますが、本製品で音声電話の発着信などは行えません。

各種機能の詳細設定をする(設定)

1 メニューナビから「設定」を選択する

サブメニューが表示されます。

2 設定する機能を選択する

- ・WAN設定
WANに関する詳細機能を設定します(▶P.55)。
- ・LAN設定
無線LAN(Wi-Fi[®])機能に関する詳細機能を設定します(▶P.60)。
- ・ファイアウォール設定
ファイアウォール機能に関する詳細設定を行います(▶P.64)。
- ・パフォーマンス設定
パフォーマンスに関する設定を行います(▶P.70)。
- ・クイック起動
クイック起動のオン/オフを設定します(▶P.71)。
- ・リモート起動
リモート起動のオン/オフを設定します(▶P.71)。
- ・システム設定
システムに関する詳細機能を設定します(▶P.72)。
- ・オンラインアップデート
最新のソフトウェアを手動でアップデートします(▶P.75)。

WAN設定

インターネットへの接続方法や利用する通信方式を設定します。

1 サブメニューから「WAN設定」を選択する

2 設定する項目を選択する

基本設定

WANの基本的な機能を設定できます。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
通信モード設定 ^{※1}	ネットワークへの通信方法を設定します。	ハイスピード、ハイスピードプラスエリア ^{※2}	ハイスピード
ハイスピードプラスエリアモード規制 ^{※3}	ハイスピードプラスエリアモードへの切り替えを規制するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ

※1：「ハイスピード」に設定するとWiMAX 2+ネットワーク、「ハイスピードプラスエリア」に設定するとWiMAX 2+またはLTEネットワークに接続します。

※2：「ハイスピードプラスエリア」を選択して「適用」を選択すると、確認画面が表示されます。「OK」を選択して、「続行」を選択してください。「ハイスピードプラスエリア」へ切り替えてご利用の場合、所定の追加料金が別途かかります。詳細はご契約されたWiMAX事業者へご確認ください。

※3：オンにすると、本製品のタッチ操作またはSpeed Wi-Fi NEXT設定ツールから、通信モード設定を「ハイスピードプラスエリア」に切り替えることができなくなります。

2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

接続設定

インターネットに接続するための設定や通信の設定ができます。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロファイルリスト	プロファイルを選択します。	お買い上げ時に登録されているプロファイルを含む最大10件	Internet
MTU(Bytes)	最大転送ユニットサイズを指定します。	1400～1500	1420

2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

プロフィール設定

プロフィール(インターネットサービスプロバイダなどの接続設定)を新規作成、編集、削除できます。
あらかじめ設定されている7件のプロフィール以外に、最大3件までプロフィールを追加することができます。



■ プロフィールを新規作成する場合

1 「新規」を選択する

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロフィールリスト ^{*1}	編集/削除するプロフィールを選択します。	お買い上げ時に登録されているプロフィールを含む最大10件 ^{*2}	Internet
プロフィール名	新規に設定する場合、任意のプロフィール名を入力します。	最大32文字までの半角英数字と半角記号 ^{*3} (「.」「_」「:」「&」「¥」「\」「%」「+」「>」「<」「?」「 」は除く)	(なし)
APN(接続先情報)	アクセスポイント名(APN)を設定します。	最大32文字までの半角英数字と半角記号 ^{*3} (「.」「_」「:」「&」「¥」「\」「%」「+」「>」「<」「?」「 」は除く)	(なし)
ユーザー名	ユーザー名を設定します。	最大45文字までの半角英数字と半角記号(「.」「_」「:」「@」)	(なし)
パスワード	パスワードを設定します。	最大16文字までの半角英数字と半角記号 ^{*3} (「!」「#」「\$」「%」「&」「'」「(」「)」「*」「+」「-」「.」「/」「:」「;」「<」「>」「=」「?」「@」「[」「]」「_」「`」「~」)	(なし)
認証タイプ	認証方式を設定します。	PAP、CHAP	CHAP
IPタイプ	IPタイプを選択します。	IPv4、IPv6、IPv4&IPv6 ^{*4}	IPv4&IPv6

※1：新規作成時には表示されません。

※2：お買い上げ時に設定されているプロフィールが表示されますが、編集/削除はできません。

※3：全角文字を入力できますが、保存できません。

※4：WiMAX 2+とLTE接続は「IPv4」「IPv6」「IPv4&IPv6」に対応しています。

3 設定が完了したら「保存」を選択し、「続行」を選択する

■ 作成したプロフィールを編集する場合

1 プロファイルリストから編集したいプロフィールを選択する

2 編集が完了したら「保存」を選択し、「続行」を選択する

■ 削除する場合

1 プロファイルリストから削除したいプロフィールを選択する

2 「削除」を選択する

3 「OK」を選択し、「続行」を選択する

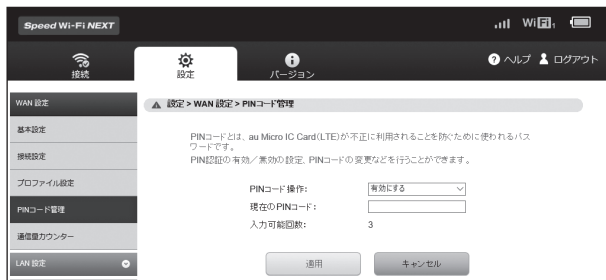


◎プロフィールを新規に作成した場合は、「接続設定」の「プロフィールリスト」で新しく登録した接続先が選択されていることを確認してください(▶P.55)。
◎追加したプロフィールを適用する場合は、再起動を行ってください(▶P.20)。ご加入のWiMAX事業者へ自動接続され、インターネットのご利用が可能となります。

PINコード管理

au Micro IC Card (LTE)にPIN(暗証番号)を設定すると、本製品をパソコンなどに接続したときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。

・PINコードについては「PINコードについて」(▶P.7)を参照してください。



PINコードを有効にする場合

- 1 PINコード操作欄から「有効にする」を選択する
- 2 現在のPINコード欄に正しいPINコードを入力する
・お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されています。
- 3 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する
・次回、起動時より有効になります。

PINコードを無効にする場合

PINコードが有効のとき、PINコードを無効にします。

- 1 PINコード操作欄から「無効にする」を選択する
- 2 現在のPINコード欄に正しいPINコードを入力する
- 3 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

PINコードを変更する場合

PINコードが有効のとき、必要に応じて4～8桁のお好きな番号にPINコードを変更することができます。

- 1 PINコード操作欄から「変更する」を選択する
- 2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
現在のPINコード	現在設定されているPINコードを入力します。	4～8桁の数字	※
新しいPINコード	PINコードを変更する場合に、新しいPINコードを入力します。	4～8桁の数字	(なし)
確認用PINコード	確認のため、新しいPINコードを再入力します。	4～8桁の数字	(なし)

※：お買い上げ時のau Micro IC Card (LTE)のPINコードは、「1234」に設定されています。

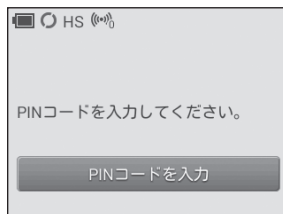
- 3 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

認証を行う

PIN認証を行うまではインターネットに接続されません。本製品、Speed Wi-Fi NEXT設定ツール、またはスマートフォン用Speed Wi-Fi NEXT設定ツールから、以下の手順でPIN認証を行ってください。

■ 本製品でPIN認証を行う

PINコードを有効に設定してから本製品の電源を入れると、本製品のディスプレイに「PINコードを入力してください。」と表示されます。



1 「PINコードを入力」をタップする



2 正しいPINコードを入力→ ✓ をタップする

インターネットに接続され、ホーム画面が表示されます。

■ Speed Wi-Fi NEXT設定ツールでPIN認証を行う

本製品でPIN認証を行っていない状態でSpeed Wi-Fi NEXT設定ツールを起動すると、PINコードの入力画面が表示されます。



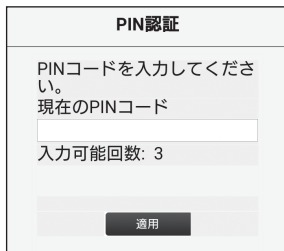
1 現在のPINコード欄に正しいPINコードを入力する

2 設定が完了したら「適用」を選択する

インターネットに接続され、トップページが表示されます。

■ スマートフォン用Speed Wi-Fi NEXT設定ツールで認証を行う

本製品でPIN認証を行っていない状態で、スマートフォン用Speed Wi-Fi NEXT設定ツールを起動すると、PINコードの入力画面が表示されます。



1 現在のPINコード欄に正しいPINコードを入力する

2 設定が完了したら「適用」を選択する

インターネットに接続されます。

スマートフォン用Speed Wi-Fi NEXT設定ツールのログイン画面が表示されます。

memo

- ◎ PINコードは対応するWebブラウザが搭載された端末機器でのみ入力できます。対応するWebブラウザが搭載されていない場合は、本製品からPIN認証を行ってください。
- ◎ PINコードは3回連続で間違えるとロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。PINロック解除コードは、au Micro IC Card (LTE) が取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- ◎ PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- ◎ PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、ご契約されたWiMAX事業者までお問い合わせください。

データ通信量の確認や、表示の設定を行います。



◎ カウントするデータ通信量は目安であり、通信事業者が測定するデータ通信量とは異なる場合があります。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
1ヶ月	カウント開始日からその日までのデータ通信量が表示されます。	—	—
3日	前日までの3日間、および本日までの3日間にカウントされたデータ通信量が表示されます。	—	—
クリア*1	カウントされたデータ通信量を手でクリアします。	—	—
本体ホーム画面表示設定	ホーム画面に通信量カウンターを表示するかどうかを設定します。	1ヶ月、3日、表示しない	1ヶ月
データ設定(1ヶ月)			
カウントする通信モードの選択	通信量をカウントする通信モード(「ハイスピードモード」「ハイスピードプラスエリアモード」)をオン/オフで設定します。	オン、オフ	ハイスピードモード: オン ハイスピードプラスエリアモード: オン
最大データ通信量設定	通信量カウンターの最大値を設定します。	1~99	7GB
カウント開始日*2	通信量カウンターのカウント開始日を設定します。	1~31	毎月1日
通知設定	通知するデータ通信量設定欄で設定した値を超えた場合に通知を行うかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
通知するデータ通信量設定*3	最大データ通信量の何%になったときに通知を行うかを設定します。	10%、20%、...、100%	90%
データ設定(3日)			
カウントする通信モードの選択	通信量をカウントする通信モード(「ハイスピードモード」「ハイスピードプラスエリアモード」)をオン/オフで設定します。	オン、オフ	ハイスピードモード: オン ハイスピードプラスエリアモード: オン
最大データ通信量設定	通信量カウンターの最大値を設定します。	1~10	3GB

*1 : 本製品に別のau Micro IC Card (LTE)を取り付けたときは、カウントされたデータ通信量は自動的にクリアされます。

*2 : カウント開始日を毎月31日に設定したとき、31日までない月の場合は、その月の最終日にカウントが開始されます。

*3 : 通知設定をオンにすると設定できます。

2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する



◎ ネットワークから日付・時刻情報を取得できなかった場合、累計(カウントを開始した日からの合計)のデータ通信量が表示されます。日付・時刻情報を取得できると、当月および3日間のデータ通信量が表示されます。

LAN設定

無線LAN(Wi-Fi[®])機能の各種設定ができます。

1 サブメニューから「LAN設定」を選択する

2 設定する項目を選択する

基本設定

無線LAN(Wi-Fi[®])の基本的な機能を設定できます。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
周波数	利用する周波数帯を選択します。	2.4GHz、5GHz ^{*1}	2.4GHz
Wi-Fiチャンネル ^{*2}	使用チャンネルを選択します。	自動 ^{*3} 、1、2、…、13	自動
IEEE802.11モード ^{*4}	無線LAN(Wi-Fi [®])機能の動作モードを選択します。	周波数が「2.4GHz」の場合： 802.11b、802.11g、 802.11b/g、802.11b/g/n	802.11b/g/n
		周波数が「5GHz」の場合： 802.11n、802.11a、 802.11ac、802.11a/n、 802.11a/n/ac	802.11a/n/ac
Wi-Fiバンド幅	IEEE802.11モードの伝送速度を選択します。	周波数が「2.4GHz」の場合： 20MHz、20MHz/40MHz ^{*4}	20MHz
		周波数が「5GHz」の場合： 20MHz、20MHz/40MHz、自 動 ^{*4}	自動
Wi-Fi機器の最大接続台数	Wi-Fi機器の最大接続台数を設定します。 ^{*5}	1、2、…、10	10
Wi-Fi自動停止時間(分) ^{*6}	無線LAN(Wi-Fi [®])端末が1台も接続されていない状態で設定した時間経過すると、無線LAN(Wi-Fi [®])機能の通信を停止して内蔵電池の消費を抑えます。 ^{*7} 本製品の電源ボタンを押すと通信を再開できます。	5、10、15	10

*1：「SSID2モジュール」(▶P.62)がオンの場合、およびau Micro IC Card(LTE)が挿入されていない場合は「5GHz」を選択できません。

*2：周波数を「5GHz」に設定した場合は、自動的にWi-Fiチャンネルが「自動」に変更されます。

*3：周波数が「2.4GHz」の場合、「自動」では1～11chの中から自動的に選択されます。12 / 13chを使用したい場合は、「自動」ではなく「12」「13」を指定してください。

*4：IEEE802.11モードの設定によって、固定になる項目があります。

*5：「SSID2モジュール」(▶P.62)がオンの場合、変更できません。

*6：「クイックアクセスモード」(▶P.71、87)がオンの場合、変更できません。

*7：クレードル(別売)接続時や指定のACアダプタ(別売)接続時など充電時を除きます。

2 設定が完了したら「適用」を選択する

3 「OK」を選択し、「続行」を選択する

- ◎ これらの設定を変更すると、無線LAN(Wi-Fi®)で本製品に接続できなくなることがあります。接続できなくなった場合は、変更した内容にあわせて無線LAN(Wi-Fi®)端末の設定を変更してください。
- ◎ 5GHz帯の使用については、「5GHz帯の使用について」(▶P.28)をよくお読みください。
- ◎ ご利用の無線LAN(Wi-Fi®)端末が無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯に対応しているかご確認ください。本製品では、無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯と2.4GHz帯で同時に接続することはできません。ご利用の無線LAN(Wi-Fi®)端末に5GHz帯に対応していないものがある場合は、本製品の設定を2.4GHz帯にしてご利用ください。
- ◎ 周波数を「5GHz」に設定した場合は本製品のディスプレイに確認メッセージが表示されますので、メッセージを確認して「OK」をタップしてください。本製品の状態によって、その後の動作は以下のように異なります。
 - ① 内蔵電池による動作中：
 - 屋外とみなし、W56を使用するためDFSチェックを実行します。
 - ② 指定のACアダプタ(別売)やパソコンから充電時：
 - 本製品のディスプレイに約20秒間、使用場所の確認メッセージが表示され、メッセージ下部に以下のボタンが表示されます。
 - ・「屋内」:W52を使用します。DFSチェックは実行されません。
 - ・「屋外」(または操作しないで約20秒経過した場合):W56を使用するためDFSチェックを実行します。
 - ③ クレドール(別売)接続して充電時：
 - 屋内とみなし、W52を使用します。DFSチェックは実行されません。

DFSチェック実行中は、本製品のディスプレイにDFSチェック実行中のメッセージが表示され、メッセージ下部に以下のボタンが表示されます。

- ・「続行」:メッセージを閉じてそのままDFSチェックを続行します。
 - ・「2.4GHzに変更する」:DFSチェックを中止して無線LAN(Wi-Fi®)2.4GHz帯で接続します。
- 必要に応じてどちらかを選択してください。「続行」を選択するか、選択せずに約1分間経過するとDFSチェックが終了し、無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯が利用可能になります。

※:DFSチェックの結果によっては、さらに時間がかかることがあります。

上記①②③の状態が変更になった場合は、使用中のチャンネルに応じて以下のように動作します。

- ・W56使用時:そのままW56を継続して使用(特別な操作は必要ありません)。
 - ・W52使用時:上記①②③の状態に応じてメッセージを表示します。
- また、W56使用時に気象レーダーなどと干渉した場合は、再度DFSチェックが実行されます。

セキュリティ設定

無線LAN(Wi-Fi®)のセキュリティ機能を設定できます。



■ SSID1 (WPA2/WPA) を設定する場合

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
SSID1 (WPA2/WPA)	SSID1のネットワーク名を設定します。	最大32文字までの半角英数字、「-」、「_」、「.」、「(半角スペース)」	※1
IEEE802.11 認証	認証方式を選択します。	WPA/WPA2-PSK	WPA/WPA2-PSK
WPA暗号化	暗号化方式を選択します。	AES、AES+TKIP	AES+TKIP
WPA事前共有キー	使用する事前共有キー(WPA Key)を指定します。	8文字以上、最大63文字までの半角英数字と半角記号(「.」「_」「[」「]」「&」「¥」「 」「%」「+」「>」「<」「?」「!」は除く)、または64桁の16進数(0~9、A~F)	※1※2
SSIDステルス	ネットワーク名が表示されないようにするかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
プライバシーセパレータ	無線LAN(Wi-Fi®)端末同士の通信を禁止するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
Wi-Fi暗号強化(PMF)	無線LAN(Wi-Fi®)管理フレームの一部を保護する機能(PMF)を有効にします。本機能の使用を要求してきた無線LAN端末に対してのみ、保護機能が働きます。	オン、オフ	オン

- ※1：お買い上げ時のSSIDと暗号化キー(パスワード)については、同梱の無線LAN初期設定シール、または「SSID情報」(▶P.93)を参照してください。
- ※2：画面には文字数の「●」で表示されます。「パスワードの表示」にチェックを付けると、確認できます。

2 設定が完了したら「適用」を選択する

3 「OK」を選択し、「続行」を選択する

■ SSID2(WEP)を設定する場合

1 SSID2モジュールをオンにする

- ・お買い上げ時のSSID2モジュールはオフに設定されています。

2 設定が完了したら「適用」を選択し、「OK」を選択する

無線LAN(Wi-Fi®)接続が再接続されます。

3 「続行」を選択する

4 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
SSID2(WEP)	ネットワーク名を設定します。	最大32文字までの半角英数字、「_」、「.」、「.」、「.」(半角スペース)	※1
暗号化モード*	暗号化方式を選択します。	WEP64、WEP128	WEP64
WEPキー1~4	WEPキー(WEP Key)を設定します。	64bitキー: 5文字の半角英数字と半角記号(「_」「.」「.」「.」「&」「¥」「\」「%」「+」「>」「<」「?」「」は除く)、または10桁の16進数(0~9、A~F) 128bitキー: 13文字の半角英数字と半角記号(「_」「.」「.」「.」「&」「¥」「\」「%」「+」「>」「<」「?」「」は除く)、または26桁の16進数(0~9、A~F)	※1※2
現在のネットワークキー	現在のネットワークキーを設定します。	1、2、3、4	1
SSIDステルス	ネットワーク名が表示されないようにするかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ

- ※1：お買い上げ時のSSIDと暗号化キー(パスワード)については、同梱の無線LAN初期設定シール、または「SSID情報」(▶P.93)を参照してください。
- ※2：画面には文字数の「●」で表示されます。「パスワードの表示」にチェックを付けると、確認できます。

5 設定が完了したら「適用」を選択し、「OK」を選択する

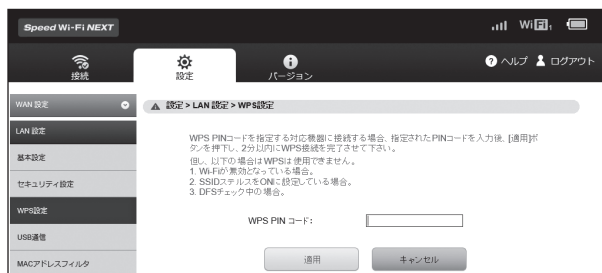
6 「続行」を選択する



- ◎ SSID2モジュールをオフに設定する場合は、オフを選択し、「適用」→「OK」→「続行」の順に選択します。
- ◎ SSID2モジュールをオンにした場合、本製品に接続できる無線LAN(Wi-Fi®)端末の最大接続台数(▶P.60)は9台(SSID1:最大5台、SSID2:最大4台)までになり、変更できません。
- ◎ SSID2モジュールをオンにした場合、無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯の周波数は利用できません。また、「周波数」(▶P.60)が「5GHz」の場合は、SSID2モジュールをオンに設定できません。
- ◎ 「ディスプレイにパスワードを表示する」のチェックを外すと、本製品に表示される「SSID情報」(▶P.93)のパスワードに「WPA事前共有キー」および「WEPキー」の設定値が文字数の「*」で表示されます。
- ◎ これらの設定を変更すると、無線LAN(Wi-Fi®)で本製品に接続できなくなることがあります。接続できなくなった場合は、変更した内容にあわせて無線LAN(Wi-Fi®)端末の設定を変更してください。
- ◎ 通信の安全性を高めるためには、暗号化方式をWEPよりもWPA2/WPAで設定することをおすすめします。ただし、一部のゲーム機などではこの方式で接続できない場合がありますのでご注意ください。
- ◎ SSIDステルスをオンにした場合でも、本製品と接続したことのある無線LAN(Wi-Fi®)端末は自動的に再接続できます。また、一度も接続したことがない無線LAN(Wi-Fi®)端末では本製品を検出できなくなります。

WPS設定

WPS用のPINコードが指定されたWPS対応機器を接続する場合に、指定されているPINコードを設定します。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
WPS PIN コード	WPS対応機器に指定されているPINコードを設定します。	4桁または8桁の半角数字	(なし)

2 設定が完了したら「適用」を選択する

3 「OK」を選択し、「続行」を選択する



© WPS設定を行うとWPS機能がオンになるので、接続する無線LAN端末でWPS接続の操作を行ってから、約2分以内にWPS PINコードを設定してください。

USB通信

本製品を指定のmicroUSBケーブルでパソコンに接続したときの動作を設定できます。本機能には次の2つの接続モードがあります。

- ・通信+充電:USB接続したパソコンから充電を行いながら、データ通信ができます。
- ・充電のみ:USB接続したパソコンから充電のみを行います。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
USB接続モード	USB接続モードを選択します。	通信+充電、充電のみ	通信+充電

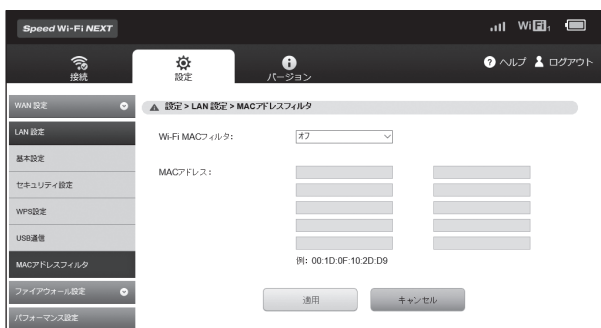
2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する



© 「充電のみ」を選択している場合は、本製品を指定のmicroUSBケーブルでパソコンに接続しても、Speed Wi-Fi NEXT設定ツールを起動できません。Speed Wi-Fi NEXT設定ツールを起動する場合は、「通信+充電」に設定してください。

MACアドレスフィルタ

無線LAN(Wi-Fi[®])端末のMACアドレスを登録して無線LAN(Wi-Fi[®])接続の許可/拒否を設定し、セキュリティ機能を強化できます。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
Wi-Fi MACフィルタ	MACアドレスフィルタ機能の動作モードを選択します。	オフ、許可、拒否	オフ
MACアドレス	接続を許可、または拒否する無線LAN(Wi-Fi [®])端末のMACアドレスを10個まで設定できます。	00~FFの6組の番号*	(なし)

* : 「FF:FF:FF:FF:FF:FF」は設定できません。

2 設定が完了したら「適用」を選択する

3 「OK」を選択し、「続行」を選択する



© これらの設定を変更すると、無線LAN(Wi-Fi[®])で接続できなくなることがあります。その場合には、無線LAN(Wi-Fi[®])端末のMACアドレスを確認し、正しく設定し直してください。

© これらの設定を有効にしている場合、許可されていない無線LAN(Wi-Fi[®])端末は、WPS機能を利用して接続できなくなります。

セキュリティに関する機能の設定をする(ファイアウォール設定)

ファイアウォール機能に関する詳細設定を行うことができます。

1 サブメニューから「ファイアウォール設定」を選択する

2 設定する項目を選択する

ファイアウォールスイッチ

ファイアウォール機能の有効／無効などを設定します。

ファイアウォールを有効にするとインターネットとLANの間を出入りする通信を監視し、インターネットからの不正な侵入を防ぐことができます。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
ファイアウォールの有効化	ファイアウォール機能を使用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オン
LAN IPフィルタ*	LAN IPフィルタ機能を使用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オン
WANポートping*	WAN側からのpingにตอบสนองするかどうかを設定します。	オン、オフ	オン

*：ファイアウォールの有効化をオフに設定すると表示されません。

2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する



◎ ファイアウォールを有効に設定すると、外部からのLAN側に対するアクセスが遮断されるため、安全性が向上します。また、一部のアプリケーションが使えなくなったり、機能が制限されたりすることがありますが、以降の各機能を適切に設定することにより、これらの制限を回避することができます。

DHCP設定

LAN内の端末にIPアドレスを割り当てる機能を設定します。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
IPアドレス	本製品のプライベートIPアドレスを設定します。	0~255の4組の番号*	192.168.100.1
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。	0~255の4組の番号	255.255.255.0
DHCPサーバ	DHCP機能を利用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オン
開始IPアドレス	無線LAN(Wi-Fi®)端末に割り当てる最小のIPアドレスを設定します。	0~255の4組の番号*	192.168.100.100
終了IPアドレス	無線LAN(Wi-Fi®)端末に割り当てる最大のIPアドレスを設定します。	0~255の4組の番号*	192.168.100.200
DHCPリース期間(秒)	IPアドレスのリース期間を設定します。	60~604800	604800
DNS設定	DNSサーバアドレスをDHCP機能で指定するかどうかを設定します。	ダイナミック、スタティック	ダイナミック
プライマリDNS	プライマリDNSサーバのIPアドレスを設定します。	0~255の4組の番号*	(なし)
セカンダリDNS	セカンダリDNSサーバのIPアドレスを設定します。	0~255の4組の番号*	(なし)

※：「0.0.0.0」「255.255.255.255」は設定できません。

2 設定が完了したら「適用」を選択する

3 「OK」を選択する

設定内容が適用され、自動的に本製品が再起動し、トップページに戻ります(ご使用のパソコンによっては、ログイン画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります)。

- 設定を続ける場合は、起動後もう一度ログインしてください。
- 登録したIPアドレスが一覧表示されます。

memo

- ◎ IPアドレスと開始IPアドレス、終了IPアドレスには、同じサブネットワーク内のIPアドレスを指定してください。
- ◎ 終了IPアドレスには、開始IPアドレスより値が大きいIPアドレスを指定してください。開始IPアドレスと終了IPアドレスを同じに指定すると、本製品に接続できる無線LAN(Wi-Fi®)端末は1台のみになります。
- ◎ これらの設定を変更すると、Speed Wi-Fi NEXT設定ツールが動作しなくなったり表示されなくなることがあります。その場合には、正しいIPアドレスを指定してSpeed Wi-Fi NEXT設定ツールを起動し直してください。
- ◎ IPアドレスまたはサブネットマスクを変更すると、「LAN IPフィルタ」(▶P.65)、「ポートマッピング」(▶P.67)、「DMZ設定」(▶P.69)の設定変更が必要になる場合があります。

LAN IPフィルタ

ファイアウォールの基本的な機能です。

設定したルールに従い、インターネットから送られてきた通信の送信元と送信先のアドレスからファイアウォールを通過させるか判断します。最大16件まで登録できます。

memo

- ◎ この機能を利用するには、「ファイアウォールスイッチ」でLAN IPフィルタをオンしておく必要があります(▶P.64)。
- ◎ サービスの種類や用途、使用するアプリケーションによって、使用されるプロトコルとポート番号が指定されているため、それらを適切に設定することにより、特定の機能に関する通信のみを遮断することができます。

Speed Wi-Fi NEXT

設定 > ファイアウォール設定 > LAN IPフィルタ

プロトコル、ポート、IPアドレスによって指定された下のルールを使用して、パケットをフィルタリングします。

- LAN/WAN IPアドレス：IPタイプで「IPv4」を選択時、IPアドレスを範囲指定する場合は、「IPフィルタカード」を使用し指定方法が可能です。(例：「192.168.100.*/」)
- LAN/WANポート：範囲指定する場合は「/」を使用します。(例：「80~800」を指定する場合)
- 注意：「適用」ボタンをクリックするまで、設定はオンになりません。

IPタイプ：

プロトコル：

ステータス： オン オフ

LAN IPアドレス：

WAN IPアドレス：

LANポート：

WANポート：

種類： 方向：

LAN IPフィルタリスト

■ ルールを登録する場合

1 各項目を設定する

選択したIPタイプに応じて設定項目の一部が変わります。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
IPタイプ	フィルタリングを設定するIPのタイプを選択します。	IPv4、IPv6	IPv4
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。	両方、TCP、UDP	両方
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
IPタイプで「IPv4」を選択した場合			
LAN IPアドレス	ルールを適用するLAN側(送信元)のIPアドレスを設定します。	0~255の4組の番号 ^{*1} とワイルドカードとして「*」 ^{*2}	(なし)
WAN IPアドレス	ルールを適用するWAN側(送信先)のIPアドレスを設定します。	0~255の4組の番号 ^{*1} とワイルドカードとして「*」 ^{*2}	(なし)
IPタイプで「IPv6」を選択した場合			
LAN IPアドレス	ルールを適用するLAN側(送信元)のIPアドレスを設定します。	0~255の4組の番号 ^{*1} とワイルドカードとして「*」 ^{*2}	(なし)
LANプレフィックス長	LAN IPアドレスのネットワークアドレス(プレフィックス)の長さ(ビット数)を設定します。	0~128	(なし)
WAN IPアドレス	ルールを適用するWAN側(送信先)のIPアドレスを設定します。	0~255の4組の番号 ^{*1} とワイルドカードとして「*」 ^{*2}	(なし)
WANプレフィックス長	WAN IPアドレスのネットワークアドレス(プレフィックス)の長さ(ビット数)を設定します。	0~128	(なし)
LANポート	ルールを適用するLAN側(送信元)ポート番号、またはポート番号の範囲を設定します。	1~65535 範囲指定する場合は「-」で連結	(なし)
WANポート	ルールを適用するWAN側(送信先)ポート番号、またはポート番号の範囲を設定します。	1~65535 範囲指定する場合は「-」で連結	(なし)
種別	パケットに対する動作です。	拒否	拒否 ^{*3}
方向	方向ルールを適用するパケットの送信方向です。	OUT	OUT ^{*3}

*1: 「0.0.0.0」「255.255.255.255」は設定できません。

2: 「」を任意の文字として下記のように使うことができます。

1. ****
2. 10.**
3. 10.10.**
4. 10.10.10.*

LAN側IPアドレスの場合は、同じサブネット内のIPアドレス範囲内でワイルドカードが適用されます。

<例>

本製品をお買い上げ時の状態でお使いの場合、LAN側IPアドレスは「192.168.100.*」となります。DHCP設定のIPアドレスを「192.168.100.1」、サブネットマスクを「255.255.0.0」に設定した場合は、LAN側IPアドレスは「192.168.*.*」となります。

*3: 変更できません。

2 「Add」を選択する

• 続けて別のルールを登録する場合は、手順1~2を繰り返します。

3 設定が完了したら「適用」を選択する

4 「OK」を選択し、「続行」を選択する

設定が完了し、登録されます。LAN IPフィルタリストが更新されます。

■ 登録したルールを変更する場合

1 LAN IPフィルタリストから、設定を変更したいルールの欄外右側に表示されている「編集」を選択する

項目がグレー表示に変わり、設定内容が設定画面に読み込まれます。

2 設定を変更し、「Add」を選択する

• 必要に応じて手順1~2を繰り返し、複数のルールを変更できます。

3 設定が完了したら「適用」を選択する

4 「OK」を選択し、「続行」を選択する

設定が完了し、登録されます。LAN IPフィルタリストが更新されます。

■ 登録したルールを削除する場合

1 LAN IPフィルタリストから、削除したいルールの欄外右側に表示されている「削除」を選択する

項目がグレー表示に変わり、確認画面が表示されます。

2 「OK」を選択する

グレー表示部分が削除されます。

• 必要に応じて手順1~2を繰り返し、複数のルールを削除できます。

3 設定が完了したら「適用」を選択する

4 「OK」を選択し、「続行」を選択する

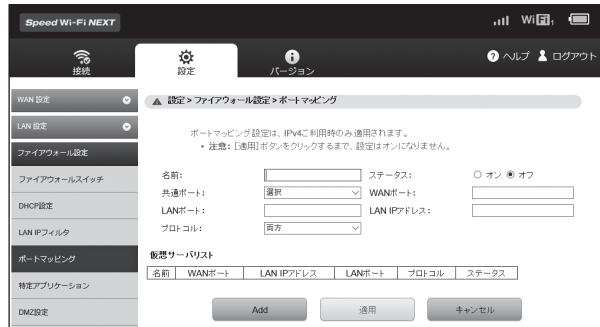
設定が完了し、登録されます。LAN IPフィルタリストが更新されます。

ポートマッピング

インターネットからLAN内の特定の端末にアクセスできるようにします。サーバやFTPを公開する場合や、一部のオンラインゲームやメッセージングソフトなどを使用する場合に設定します。最大16件まで登録できます。

memo

- ◎ この機能ではLAN側端末をIPアドレスで指定するため、公開するサーバには、「DHCP設定」(▶P.64)で割り当てられていない、同一サブネット内の静的なIPアドレスを、手動で設定する必要があります。
- ◎ セキュリティ対策などでポート番号の変換を行いたい場合のみ、異なる番号を設定してください。サーバ公開やオンラインゲームを使用する場合の設定では、通常ポート番号を変換する必要はありません。



■ ルールを登録する場合

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
名前	ルールに任意の名前を付けます。	最大30文字までの半角英数字と半角記号*1(「,」「.」「:」「&」「¥」「\」「%」「+」「>」「<」「?」「」は除く)	(なし)
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
共通ポート*2	サーバの種類を選択し、一般的な設定を入力することができます。	(リスト項目)	(選択)
WANポート	ルールを適用するWAN側(送信元)ポート番号を設定します。	1~65535	(なし)
LANポート	サーバとして公開するLAN側の特定の端末に、パケットを転送する際の送信先ポート番号を設定します。ポート番号を変換する必要がない場合は、「WANポート」番号と同じ値を設定します。	1~65535	(なし)
LAN IPアドレス	サーバとして公開するLAN側端末のIPアドレスを設定します。	0~255の4組の番号*3	(なし)
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。	両方、TCP、UDP	両方

*1: 全角文字を入力できますが、保存できません。

*2: 一般的なサーバ機能を設定する場合には、サーバの種類を選択すると、適切なポート番号などが自動的に入力され、設定が簡単になります。リストに表示されないサーバ機能を設定する場合には、「選択」を選択し、各項目を手動で設定してください。

*3: 「0.0.0.0」「255.255.255.255」は設定できません。

2 「Add」を選択する

• 続けて別のルールを登録する場合は、手順1~2を繰り返します。

3 設定が完了したら「適用」を選択する

4 「OK」を選択し、「続行」を選択する

設定が完了し、登録されます。仮想サーバリストが更新されます。

■ 登録したルールを変更する場合

1 仮想サーバリストから、設定を変更したいルールの欄外右側に表示されている「編集」を選択する

項目がグレー表示に変わり、設定内容が設定画面に読み込まれます。

2 設定を変更し、「Add」を選択する

• 必要に応じて手順1~2を繰り返し、複数のルールを変更できます。

3 設定が完了したら「適用」を選択する

4 「OK」を選択し、「続行」を選択する

設定が完了し、登録されます。仮想サーバリストが更新されます。

登録したルールを削除する場合

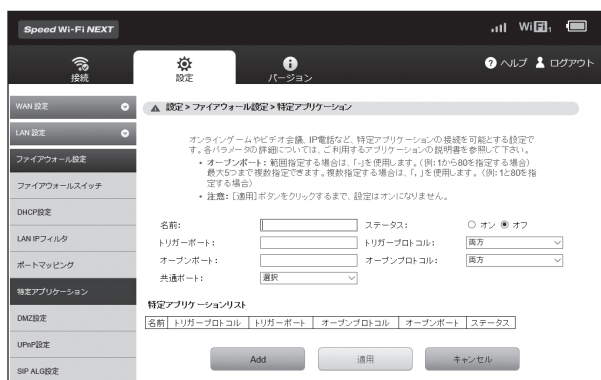
- 1 仮想サーバリストから、削除したいルールの欄外右側に表示されている「削除」を選択する項目がグレー表示に変わり、確認画面が表示されます。
- 2 「OK」を選択する
グレー表示部分が削除されます。
・必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを削除できます。
- 3 設定が完了したら「適用」を選択する
- 4 「OK」を選択し、「続行」を選択する
設定が完了し、登録されます。仮想サーバリストが更新されます。

特定アプリケーション

オンラインゲームやテレビ電話システムなど、特定のアプリケーションが利用できるようにします。最大16件まで登録できます。



◎アプリケーションが使用するポート番号とプロトコルについては、お使いのアプリケーションの取扱説明書などを参照してください。



ルールを登録する場合

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
名前	ルールに任意の名前を付けます。	最大30文字までの半角英数字、半角記号※1(「,」「*」「:」「&」「#」「\」「%」「+」「>」「<」「?」「」は除く)、「(半角スペース)」	(なし)
ステータス	ルールを適用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
トリガーポート	制御データ用のポート番号を設定します。	1～65535	(なし)
トリガープロトコル	制御データに使用するプロトコルを設定します。	両方、TCP、UDP	両方
オープンポート	データ転送用のポート番号、またはポート番号の範囲を5つまで設定できます。	1～65535 範囲指定する場合は「-」で連結※2 複数指定する場合は「,」で連結	(なし)
オープンプロトコル	データ転送用のプロトコルを選択します。	両方、TCP、UDP	両方
共通ポート	サービスを選択し、サービスにあった設定を入力することができます。	(リスト項目)	(選択)

※1：全角文字を入力できますが、保存できません。

※2：範囲指定する場合、開始ポート番号と終了ポート番号の差は100以下にしてください。

2 「Add」を選択する

・続けて別のルールを登録する場合は、手順1～2を繰り返します。

3 設定が完了したら「適用」を選択する

4 「OK」を選択し、「続行」を選択する

設定が完了し、登録されます。特定アプリケーションリストが更新されます。

■ 登録したルールを変更する場合

- 1 特定アプリケーションリストから、設定を変更したいルールの欄外右側に表示されている「編集」を選択する
項目がグレー表示に変わり、設定内容が設定画面に読み込まれます。
- 2 設定を変更し、「Add」を選択する
・必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを変更できます。
- 3 設定が完了したら「適用」を選択する
- 4 「OK」を選択し、「続行」を選択する
設定が完了し、登録されます。特定アプリケーションリストが更新されます。

■ 登録したルールを削除する場合

- 1 特定アプリケーションリストから、削除したいルールの欄外右側に表示されている「削除」を選択する
項目がグレー表示に変わり、確認画面が表示されます。
- 2 「OK」を選択する
グレー表示部分が削除されます。
・必要に応じて手順1～2を繰り返し、複数のルールを削除できます。
- 3 設定が完了したら「適用」を選択する
- 4 「OK」を選択し、「続行」を選択する
設定が完了し、登録されます。特定アプリケーションリストが更新されます。

■ DMZ設定

LAN内の特定の端末を、他の端末から隔離されたDMZホストとして設定することができます。Webサーバを公開したり、オンラインゲームなどを利用するとき、ポート番号などの設定をしなくても利用できるようになります。



- ◎ DMZホストに設定した端末は、外部に対してすべてのポートをオープンしていることになるため、端末のパーソナルファイアウォール機能などを設定して、安全性を確保するようおすすめします。
- ◎ この機能ではLAN側端末をIPアドレスで指定するため、DMZホストになる端末には、「DHCP設定」(▶P.64)で割り当てられていない、同一サブネット内の静的なIPアドレスを、手動で設定する必要があります。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
DMZステータス	DMZホストを設定するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
DMZ IPアドレス	DMZステータスがオンのとき、DMZホストのIPアドレスを設定します。	0～255の4組の番号*	192.168.100.200

※：「0.0.0.0」「255.255.255.255」は設定できません。

2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

UPnP設定

UPnP対応の周辺機器、AV機器、電化製品、またはメッセージングソフトなどのUPnP対応アプリケーションを使用するときに設定します。



1 UPnP機能の有効／無効を選択する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
UPnPステータス	UPnP機能を使用するかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ

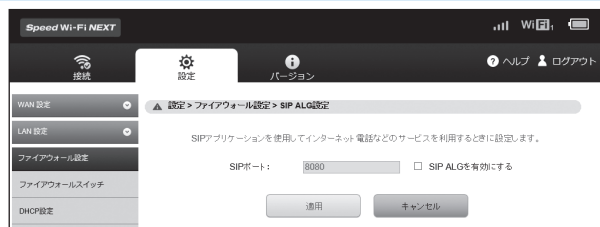
2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

SIP ALG設定

SIPアプリケーションを使用してインターネット電話などのサービスを利用するときに設定します。



◎ この機能はIPv4のネットワークプロトコルの動作のみを制御します。IPv6のネットワークプロトコルの動作には影響しません。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
SIPポート	SIPサービスプロバイダから指定されたポート番号を設定します。	1～65535	8080
SIP ALGを有効にする	SIP ALG機能を使用するかどうかを設定します。	—	(チェックなし)

2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

パフォーマンス設定

パフォーマンスに関する設定を行うことができます。

クイックアクセスモードは、一定の時間無通信状態が続いた場合でも、無線LAN(Wi-Fi®)を自動切断せずに常時接続状態を維持します。本製品の操作なしで通信を再開することができます。

パフォーマンス設定をオンにすると、次のモードを利用できます。

- ・ハイパフォーマンス
パフォーマンスを最大限に重視した設定です。キャリアアグリゲーションを使用します。
- ・ノーマル

電池残量が十分にある場合はキャリアアグリゲーションを使用し、電池残量が少なくなった場合は使用しません。通信していない状態が一定の時間継続した際に、この切り替えが行われます。

- ・バッテリーセーブ
消費電力を抑え、電池持ちを重視した設定です。キャリアアグリゲーションを使用しません。



1 サブメニューから「パフォーマンス設定」を選択する

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
クイックアクセスモード	クイックアクセスモードのオン/オフを設定します。	オン、オフ	オフ
パフォーマンス設定	パフォーマンス設定のオン/オフを設定します。	オン、オフ	オン
パフォーマンス設定切換*	パフォーマンス設定をオンにしたときのモードを選択します。	ハイパフォーマンス、ノーマル、バッテリーセーブ	ノーマル

*：パフォーマンス設定をオフに設定すると表示されません。

3 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する



◎「ハイパフォーマンス」または「ノーマル」に設定していても、基地局の混雑状況などによっては、キャリアアグリゲーションがご利用になれない場合があります。

クイック起動

クイック起動機能に関する設定を行うことができます。本機能をオンにすると、本製品の電源を入れてから起動するまでの時間を短くすることができます。



1 サブメニューから「クイック起動」を選択する

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
クイック起動	クイック起動機能のオン/オフを設定します。	オン、オフ	オン

3 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する



◎ 次の場合はクイック起動が機能しません。

- ・初めて電源を入れたとき
- ・au Micro IC Card (LTE) が未挿入
- ・au Micro IC Card (LTE) のPINコードが有効で、かつPIN未入力の状態
- ・au Micro IC Card (LTE) がPINロック状態

リモート起動

リモート起動機能に関する設定を行うことができます。本機能をオンにすると、「Wi-Fi自動停止時間」(▶P.60)の設定により無線LAN(Wi-Fi®)が停止した場合に、Android OS搭載端末やiPhoneなどにインストールされた「Huawei HiLink」アプリを操作して、再度本製品の無線LAN(Wi-Fi®)をオンにすることができます。



1 サブメニューから「リモート起動」を選択する

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
リモート起動	リモート起動機能のオン/オフを設定します。	オン、オフ	オン

3 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

- リモート起動するための条件は、以下の通りです。
 - ・ Android 4.3、4.4、5.0、5.1またはiOS 7.0～9.1、Bluetooth®標準規格Ver. 4.0以上、Bluetooth LEに対応するスマートフォン
 - ・ 本製品とスマートフォンの距離が10m以下
- リモート起動するための条件を満たしていてもリモート起動できない場合もあります。その場合には、本製品の電源ボタンを押して起動してください。
- スマートフォンが他の端末とBluetooth®で通信している場合や、他の無線LAN(Wi-Fi®)またはBluetooth®通信の範囲にある場合は、リモート起動が失敗する場合があります。
- 「Huawei HiLink」アプリのインストールについては、「Huawei HiLink」アプリをインストールする(▶P.34)を参照してください。
- リモート起動には、Bluetooth®機能を利用します。Android OS搭載端末やiPhoneなどのBluetooth®機能をオンにしてご利用ください。端末によっては、「Huawei HiLink」アプリの操作でBluetooth®機能が自動的にオンになる場合があります。
- 「Huawei HiLink」アプリについてご不明な点は、本アプリのディベロッパーまたは以下のホームページよりお問い合わせください。
http://consumer.huawei.com/jp/support/index.htm
- 本製品の電源ボタンを押しても、再度本製品の無線LAN(Wi-Fi®)をオンにすることができます。

システム設定

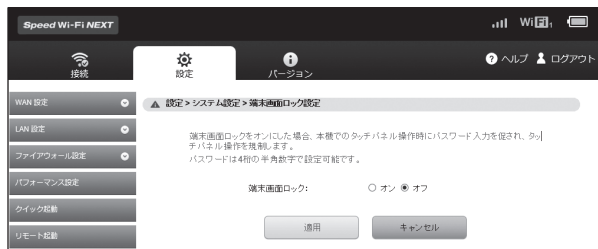
本製品の画面ロックの設定や、各設定をお買い上げ時の状態に戻すなど本製品の設定や操作ができます。

1 サブメニューから「システム設定」を選択する

2 設定する項目を選択する

端末画面ロック設定

本製品のディスプレイのタッチ操作を規制するため、自動的に画面ロックがかかるように設定したり、本製品のディスプレイのバックライトが消灯してから自動的に画面ロックがかかるまでの時間を設定したりできます。本機能をオンにすると、電源を入れたときや、本製品の電源ボタンを押してバックライトを点灯させたときにパスワード入力画面が表示され、パスワードを入力することで本製品の操作ができるようになります。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
端末画面ロック	端末画面ロックのオン/オフを設定します。	オン、オフ	オフ
現在のパスワード*1*2	現在のパスワードを入力します。	4桁の半角数字	(なし)
新しいパスワード*1	画面ロック解除時に入力するパスワードを変更します。	4桁の半角数字	(なし)
パスワード(確認用)*1	画面ロック解除時に入力するパスワード(確認用)を変更します。	4桁の半角数字	(なし)
オートロック時間設定*1	自動的にロックをかける時間を選択します。	30秒、1分、3分、10分、30分、1時間	1分

*1：端末画面ロックをオンにすると設定できます。

*2：パスワード未設定時は表示されません。

2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

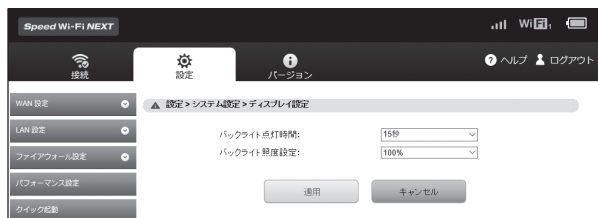
パスワードを変更する場合

1 現在のパスワード、新しいパスワードを入力し、さらに確認のために新しいパスワードを再入力する

2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

ディスプレイ設定

電池の消費を抑え、より長時間使用するために、ディスプレイの消灯時間と明るさを設定します。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
バックライト点灯時間	ディスプレイのバックライトを消灯する時間を設定します。	15秒、30秒、1分、2分	15秒
バックライト照度設定	ディスプレイのバックライトの明るさを設定します。	30%、60%、100%	100%

2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

本体時計設定

ロック解除画面の時計を24時間表示にするかどうかを設定します。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
24時間表示	時計を24時間表示にするかどうかを設定します。	オン、オフ	オン

2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する



◎ 本製品の電源を切ると日付・時刻情報は保持されず、電源を入れたときに再取得されます。ただし、ネットワークから日付・時刻情報を取得できなかった場合は、日付・時刻は表示されません。

クレードル設定

クレードル(別売)に関する設定を行います。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
クレードルモード設定	クレードル(別売)にLANケーブル(市販品)を接続する場合、利用するモードを設定します。	ルータモード、APモード	ルータモード
ロック画面(時計表示)常時点灯	本製品をクレードル(別売)に接続したとき、時計表示で常時点灯するかどうかを設定します。	オン、オフ	オン

2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

ブリッジ機能規制

ブリッジモード(▶P.86)への切り替えを規制するかどうかを設定できます。オンにすると、本製品からブリッジモードを利用できなくなります。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
ブリッジ機能規制	ブリッジ機能規制のオン/オフを設定します。	オン、オフ	オフ

2 設定が完了したら「適用」を選択し、「続行」を選択する

バックアップ&リストア

Speed Wi-Fi NEXT設定ツールの設定内容をログインしているパソコンに保存したり、保存した設定内容を読み込むことができます。



バックアップ操作

1 「バックアップ」を選択する

2 「保存」を選択する

- お使いのパソコンの環境によっては、操作項目の表示が異なる場合があります。また、保存先とファイル名の指定を求められる場合があります。

memo

- ◎ Webブラウザの設定によっては、保存先とファイル名を指定できない場合があります。
- ◎ PINコード管理の設定内容は、バックアップ&リストアを実行しても保存されません。
- ◎ リモート起動の設定内容は、バックアップ&リストアを実行しても保存されません。

リストア操作

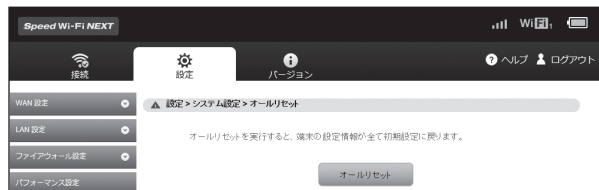
1 設定情報のリストア欄の「参照」を選択して読み込むファイルを指定し、「リストア」を選択する

- お使いのパソコンの環境によっては、操作項目の表示が異なる場合があります。

2 「OK」を選択し、「続行」を選択する

オールリセット

設定内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。



1 「オールリセット」を選択する

2 「OK」を選択する

- 本製品が再起動し、トップページが表示されます。
- ご使用のパソコンによっては、トップページが表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- 設定を続ける場合は、もう一度ログインしてください。

memo

- ◎ PINコード管理の設定内容は、オールリセットを実行してもお買い上げ時の状態に戻りません。

再起動

本製品を再起動することができます。



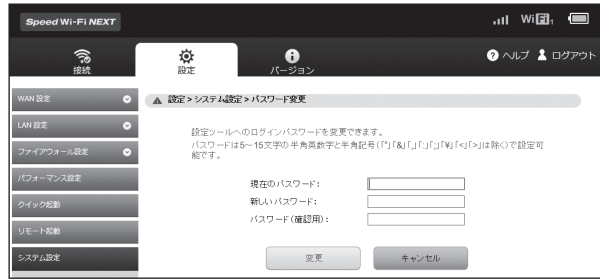
1 「再起動」を選択する

2 「OK」を選択する

- 本製品が再起動し、トップページが表示されます。
- ご使用のパソコンによっては、トップページが表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- 設定を続ける場合は、もう一度ログインしてください。

パスワード変更

Speed Wi-Fi NEXT設定ツールのログイン時に入力するパスワードを変更できます。



- 1 現在のパスワード、新しいパスワードを入力し、さらに確認のために新しいパスワードを再入力する
パスワードは、5文字以上、最大15文字までの半角英数字と半角記号(「!」「&」「'」「(」「)」「*」「+」「,」「-」「.」「/」「:」「;」「<」「>」は除く)で設定します。
- 2 「変更」を選択し、「続行」を選択する
トップページが表示されます。
・設定を続ける場合は、もう一度ログインしてください。

オンラインアップデート

最新のソフトウェアの有無を確認します。自動検出をオンに設定すると、定期的に最新のソフトウェアの確認が行われます。また、最新のソフトウェアをダウンロードし、更新(アップデート)する方法を説明します。



■ 更新(アップデート)の有無を自動的に検出するように設定する場合

- 1 サブメニューから「オンラインアップデート」を選択する
- 2 各項目を設定する


設定項目	説明	設定範囲	初期値
自動検出	自動検出のオン/オフを設定します。	オン、オフ	オン

- 3 設定が完了したら「適用」を選択する

■ 更新(アップデート)する場合

- 1 サブメニューから「オンラインアップデート」を選択する
- 2 「アップデート」を選択する
最新のソフトウェアがあるかどうかを確認します。最新のソフトウェアがない場合は、ここで操作終了です。最新のソフトウェアがある場合は、ソフトウェア情報が表示されます。
- 3 「アップデート」を選択する
ダウンロードが開始されます。
ダウンロードが完了すると、自動的にインストールを行います。

■ 自動検出で最新のソフトウェアを検出した場合

最新のソフトウェアを検出した場合は、Speed Wi-Fi NEXT設定ツールの画面右上には  が表示されます。また、本製品のホーム画面に  が表示されます。

通知画面が表示され(▶P.93)、ソフトウェア情報が表示されます。

1 通知画面で「アップデート」を選択する

ダウンロードが開始されます。

ダウンロードが完了すると、自動的にインストールを行います。

memo

- ◎ オンラインアップデートを実行する場合、インターネットに接続されていることを確認してください。
- ◎ アップデートを実行する場合は、本製品の電池残量が十分あることを確認してから行ってください。電池残量が少ないと、アップデートができません。十分に充電してから行ってください。
- ◎ アップデートの際には、お使いの端末にアップデートが必要かどうかを調べるためにIMSI (ICカードなどに記録された加入者識別番号)とIMEI (端末に記録された端末識別番号)をアップデートサーバに通知します。
- ◎ 最新のソフトウェアの確認に失敗した場合は、電波状況の良い場所で再度実行してください。

スマートフォン用Speed Wi-Fi NEXT設定ツールについて

本製品に無線LAN(Wi-Fi®)で接続したスマートフォンのWebブラウザからスマートフォン用Speed Wi-Fi NEXT設定ツールを利用して、プロファイル(アクセスポイント)や、通信モード、セキュリティなど主要な項目を設定することができます。また、ソフトウェアの更新(アップデート)もできます。

memo

- ◎ スマートフォン用Speed Wi-Fi NEXT設定ツールを使用する場合は、「SSID1」を使用して接続してください。「SSID2」では使用できません。
- ◎ スマートフォン用Speed Wi-Fi NEXT設定ツールを同時に複数の端末でログインして表示/設定することはできません。ログイン中に他の端末がログインした場合は、先にログインしていた端末は自動的にログアウトされます。
- ◎ スマートフォン用Speed Wi-Fi NEXT設定ツールは、以下のWebブラウザに対応しています。
iOS 5.1~9.1 標準ブラウザ
Android 4.0、4.1、4.2、4.3、4.4、5.0、5.1 標準ブラウザ/Chrome
上記の環境以外では、動作しない場合があります。また、上記に該当する場合でも、お客様がご利用の環境によっては、正常に動作しない場合があります。

スマートフォン用Speed Wi-Fi NEXT設定ツールを起動する

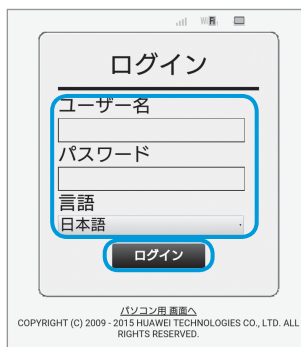
- 1 本製品の電源ボタンを約3秒以上押して電源を入れる**
- 2 スマートフォンを起動して、本製品と無線LAN(Wi-Fi®)で接続する**
- 3 Webブラウザを起動して、アドレス入力欄に「http://speedwifi-next.home」と入力する**
ログイン画面が表示されます。

memo

◎ パソコン用Speed Wi-Fi NEXT設定ツールのトップページ左下の「モバイル用画面へ」を選択して、起動することもできます。

4 ユーザー名「admin」とパスワードを入力して、「ログイン」を選択する

- ・ ログインする際は、本製品がロック解除画面の表示中、または画面消灯中に操作してください。
- ・ お買い上げ時のSpeed Wi-Fi NEXT設定ツールのログインパスワードは、本体の背面下部に記載されているIMEIの下5桁が設定されています。
- ・ 必要に応じて言語欄のリストから画面表示に使用する言語を選択してください。

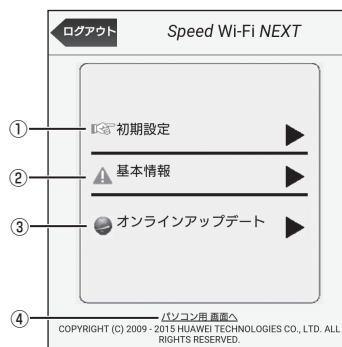


ログインに成功すると、ホーム画面が表示されます。

memo

◎ セキュリティ保護のため、お買い上げ時のパスワードは変更することをおすすめします。変更方法については、「パスワード変更」(▶P.75)を参照してください。

スマートフォン用Speed Wi-Fi NEXT設定ツールのホーム画面



- ① 初期設定**
初期設定を行います。
- ② 基本情報**
現在の接続ステータス(インターネット接続、LAN接続についての情報)や、電池残量などが表示されます。

③ オンラインアップデート

本製品のソフトウェアをアップデートします。

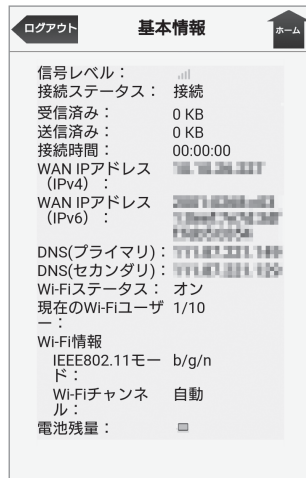
④ パソコン用画面へ

パソコン用Speed Wi-Fi NEXT設定ツールを表示します(▶P.52)。

※ 「ログアウト」を選択すると、スマートフォン用Speed Wi-Fi NEXT設定ツールからログアウトします。

基本情報を確認する

1 ホーム画面から「基本情報」を選択する



項目	説明
信号レベル	接続されているネットワークの受信レベルが表示されます。[Signal strength icon] (強) ⇄ [Signal strength icon] (弱)
接続ステータス	現在の通信状態が表示されます。
受信済み	当月の受信データ量が表示されます。
送信済み	当月の送信データ量が表示されます。
接続時間	接続時間が表示されます。
WAN IPアドレス(IPv4)	インターネット側のIPアドレスが表示されます。
WAN IPアドレス(IPv6)	インターネット側のIPアドレスが表示されます。
DNS(プライマリ)	プライマリDNSサーバのアドレスが表示されます。
DNS(セカンダリ)	セカンダリDNSサーバのアドレスが表示されます。
Wi-Fiステータス	無線LAN(Wi-Fi®)の状態が表示されます。
現在のWi-Fiユーザ	本製品へ無線LAN(Wi-Fi®)接続している端末の台数が表示されます。
Wi-Fi情報	IEEE802.11モードや、設定されているチャンネルが表示されます。
電池残量	電池残量が表示されます。[Battery icon] (十分) ⇄ [Battery icon] (要充電)

memo

- ◎ 表示される受信済み/送信済みのデータ量は目安であり、実際のデータ量とは異なることがあります。
- ◎ 本製品の設定状況により、表示される項目が異なります。
- ◎ 「ホーム」を選択すると、スマートフォン用Speed Wi-Fi NEXT設定ツールのホーム画面に戻ります。

初期設定を行う

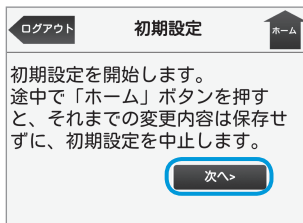
初期設定では、本製品をご利用になる上で必要な設定項目を次のステップで設定します。設定した内容は、あとから修正することもできます。

memo

- ◎ 設定内容は、最後に「保存」を選択すると保存されます。途中でログアウトしたり、ホーム画面に戻ると、設定内容は保存されずに初期設定を中止します。
- ◎ 初期設定では、主要な設定項目のみを設定します。詳細な設定が必要な場合は、パソコン用Speed Wi-Fi NEXT設定ツール(▶P.52)を参照してください。

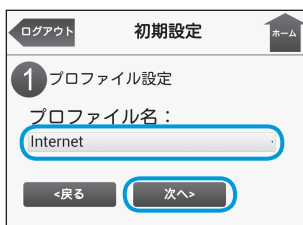
1 ホーム画面から「初期設定」を選択する

2 「次へ>」を選択する



3 プロファイル名を選択し、「次へ>」を選択する

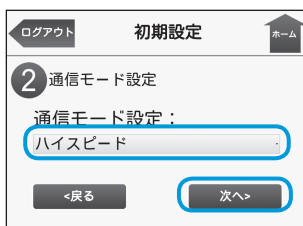
- ・ 設定項目の詳細は「プロファイル設定」(▶P.56)を参照してください。



設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロファイル名	プロファイルを選択します。	お買い上げ時に登録されているプロファイルを含め最大10件	Internet

4 通信モードを選択し、「次へ>」を選択する

- ・ 設定項目の詳細は、「WAN設定」の「基本設定」(▶P.55)を参照してください。



設定項目	説明	設定範囲	初期値
通信モード設定 ^{※1}	ネットワークへの通信方法を設定します。	ハイスピード、ハイスピードプラスエリア ^{※2}	ハイスピード

※1：「ハイスピード」に設定するとWiMAX 2+ネットワーク、「ハイスピードプラスエリア」に設定するとWiMAX 2+またはLTEネットワークに接続します。

※2：「ハイスピードプラスエリア」を選択して「次へ>」を選択すると、「ご注意！」画面が表示されます。「OK」をタップして、次の設定に進んでください。「ハイスピードプラスエリア」へ切り替えてご利用の場合、所定の追加料金が別途かかります。詳細はご契約されたWiMAX事業者へご確認ください。

5 SSID1 (WPA2/WPA)の各項目を設定し、「次へ>」を選択する

・設定項目の詳細は「セキュリティ設定」(▶P.61)を参照してください。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
SSID1 (WPA2/WPA)	SSID1のネットワーク名を設定します。	最大32文字までの半角英数字、「-」、「_」、「.」、「半角スペース」	※1
SSID1ステルス	ネットワーク名が表示されないようにするかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
IEEE802.11認証	認証方式を選択します。	WPA/WPA2-PSK	WPA/WPA2-PSK
WPA暗号化	暗号化方式を選択します。	AES、TKIP+AES	TKIP+AES
WPA事前共有キー	使用する事前共有キー(WPA Key)を指定します。	8文字以上、最大63文字までの半角英数字と半角記号 ^{※2} (「,」「.」「:」「&」「¥」「\」「%」「+」「>」「<」「?」「'」は除く)、または64桁の16進数(0~9、A~F)	※1

※1：お買い上げ時のSSIDと暗号化キー(パスワード)については、同梱の無線LAN初期設定シール、または「SSID情報」(▶P.93)を参照してください。

※2：全角文字を入力できますが、保存できません。

6 SSID2(WEP)の各項目を設定し、「次へ>」を選択する

- 「セキュリティ設定」(▶P.61)でSSID2モジュールをオンに設定している場合は、本画面が表示されます。SSID2モジュールがオフの場合は、手順7に進んでください。
- 設定項目の詳細は「セキュリティ設定」(▶P.61)を参照してください。

初期設定

4 Wi-Fiセキュリティ設定 :

SSID2(WEP)
W02_XXXXXXXXXXXX

SSID2スタイル :
オフ

暗号化モード :
WEP64

WEPキー 1:
.....

WEPキー 2:
.....

WEPキー 3:
.....

WEPキー 4:
.....

現在のネットワークキー :
1

<戻る 次へ>

設定項目	説明	設定範囲	初期値
SSID2(WEP)	ネットワーク名を設定します。	最大32文字までの半角英数字、「-」、「_」、「.」、「」（半角スペース）	※1
SSID2スタイル	ネットワーク名が表示されないようにするかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
暗号化モード	暗号化方式を選択します。	WEP64、WEP128	WEP64
WEPキー1~4	WEPキー(WEP Key)を設定します。	64bitキー: 5文字の半角英数字と半角記号*2(「:」「:」「:」「:」「:」「&」「¥」「\」「%」「+」「>」「<」「?」「」は除く)、または10桁の16進数(0~9、A~F) 128bitキー: 13文字の半角英数字と半角記号*2(「:」「:」「:」「:」「:」「:」「&」「¥」「\」「%」「+」「>」「<」「?」「」は除く)、または26桁の16進数(0~9、A~F)	※1
現在のネットワークキー	現在のネットワークキーを設定します。	1、2、3、4	1

- ※1：お買い上げ時のSSIDと暗号化キー(パスワード)については、同梱の無線LAN初期設定シール、または「SSID情報」(▶P.93)を参照してください。
 ※2：全角文字を入力できますが、保存できません。

7 現在のパスワード、新しいパスワードを入力し、さらに確認のために新しいパスワードを再入力し、「次へ>」を選択する

- 設定項目の詳細は、「パスワード変更」(▶P.75)を参照してください。
- パスワードを変更しない場合は、「スキップ」を選択します。
- パスワードは、5文字以上、最大15文字までの半角英数字と半角記号(「:」「&」「:」「:」「:」「¥」「\」「<」「>」は除く)で設定します。

初期設定

5 パスワード変更

現在のパスワード :
.....

新しいパスワード :
.....

パスワード (確認用) :
.....

<戻る スキップ 次へ>

8 設定内容を確認し、「保存」を選択する

ログアウト 初期設定 ホーム

「保存」をクリックすると、下記の設定を保存します。

プロファイル名：
Internet

通信モード設定：
ハイスピード

SSID1(WPA2/WPA)
W02_XXXXXXXXXXXX

SSID1ステルス：
オフ

IEEE802.11認証：
WPA/WPA2-PSK

WPA暗号化：
TKIP+AES

WPA事前共有キー：
XXXXXXXXXXXX

SSID2(WEP)
W02_XXXXXXXXXXXX

SSID2モジュール：
オン

SSID2ステルス：
オフ

暗号化モード：
WEP64

WEPキー 1：
XXXXXXXXXX

WEPキー 2：
XXXXXXXXXX

WEPキー 3：
XXXXXXXXXX

WEPキー 4：
XXXXXXXXXX

<戻る 保存

9 「OK」を選択する

設定が保存され、ログイン画面に戻ります。



- ◎ インターネット接続中に設定を変更すると、切断されることがあります。
- ◎ 設定を変更すると、無線LAN(Wi-Fi[®])で接続できなくなることがあります。その場合は、パソコンなどでUSB接続し、無線LAN(Wi-Fi[®])の設定を正しく変更してください。USB接続については「USB接続する」(▶P.44)を参照してください。
- ◎ 本製品の設定状況により、表示される項目が異なります。

オンラインアップデート

最新のソフトウェアをダウンロードし、更新(アップデート)できます。

1 ホーム画面から「オンラインアップデート」を選択する

最新のソフトウェアがあるかどうかを確認します。最新のソフトウェアがない場合は、「お使いのソフトは最新バージョンです。」と表示されます。

ログアウト オンラインアップデート ホーム

オンラインアップデートに関するご注意：

- 1 アップデートはバッテリーが十分に充電されている状態で行って下さい。
- 2 アップデートは電圧状況のよい場所で行って下さい。
- 3 アップデート中、従来の再起動が数回行われますが、ブラウザは閉じないで下さい。
- 4 アップデート中、オンラインアップデート以外の機能はご利用頂けません。

ソフトウェアバージョン：XXXXXXXXXX

オンラインアップデート：

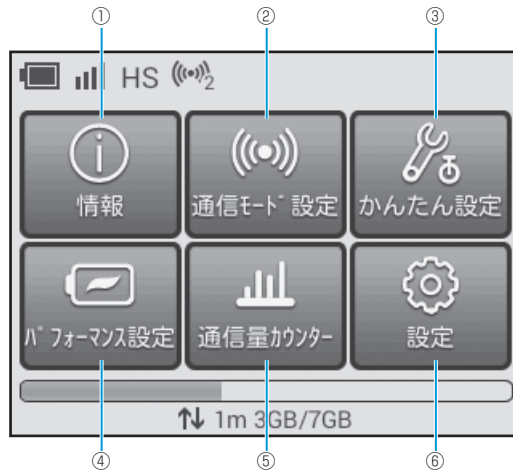
2 「アップデート」を選択する

ダウンロードが開始されます。
ダウンロードが完了すると、自動的にインストールを行います。

本製品のタッチメニューについて

タッチメニューを操作する

本製品のタッチメニューを操作することで、本製品の各種機能を設定することができます。



ホーム画面

- ① **情報**
本製品の各種情報を表示します(▶P.93)。
- ② **通信モード設定**
通信モードを設定します(▶P.84)。
- ③ **かんたん設定**
「かんたん設定」で接続します(▶P.29)。
- ④ **パフォーマンス設定**
パフォーマンスに関する設定をします(▶P.87)。
- ⑤ **通信量カウンター**
通信量カウンターを設定します(▶P.91)。
- ⑥ **設定**
各種の機能を設定します。

memo

◎ ホーム画面に表示されるタッチメニューは、「ホーム画面設定」(▶P.91)により変更することができます。

設定項目一覧

ホーム画面で「設定」をタップしたときの機能と項目の一覧は次の通りです。

機能	説明	項目	参照先
通信設定	通信に関する機能を設定します。	通信モード設定	▶P.84「通信モード設定」
		Wi-Fi設定	▶P.85「Wi-Fi設定」
		WPS	▶P.85「WPS」
		ブリッジモード	▶P.86「ブリッジモード」
プロファイル選択	プロファイルの切り替えを行います。		▶P.86「プロファイル選択」
システム設定	パフォーマンス設定など、システムに関する機能を設定します。	パフォーマンス設定	▶P.87「パフォーマンス設定」
		クイック起動	▶P.87「クイック起動」
		リモート起動	▶P.88「リモート起動」
		USB通信	▶P.88「USB通信」
		画面ロック設定	▶P.88「画面ロック設定」
		PINコード管理	▶P.89「PINコード管理」
		ディスプレイ設定	▶P.89「ディスプレイ設定」
		クレドール設定	▶P.90「クレドール設定」
		時計	▶P.90「時計」
		言語	▶P.90「言語」
ホーム画面設定	▶P.91「ホーム画面設定」		
ステータス	通信量カウンターやWi-Fi接続情報を確認します。	通信量カウンター	▶P.91「通信量カウンター」
		Wi-Fi接続情報	▶P.92「Wi-Fi接続情報」
アップデート	最新のソフトウェアを手動でアップデートします。		▶P.92「アップデート」

情報	SSID情報や端末情報、認証情報を確認します。	SSID情報	▶P.93「情報」
		端末情報	
		認証情報	▶P.34「QRコード表示機能を利用して接続する」
		QRコードの表示	
ヘルプ	本製品の画面に表示されるアイコンの説明を表示します。	5GHz帯利用のご注意	▶P.93「情報」 ▶P.94「ヘルプ」



◎本製品の操作については、「基本的な操作を覚える」(▶P.24)を参照してください。

通信設定

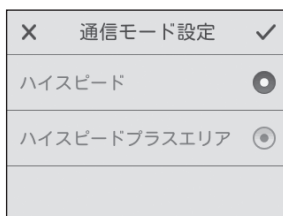
通信モードの切り替えや、ブリッジモード/WPS接続のオン/オフを設定します。

1 ホーム画面で「設定」→「通信設定」の順にタップする

2 設定する項目を選択する

通信モード設定

インターネット接続中に受信レベルが不安定になったり圏外になったりしたときなど、通信モードを切り替えると安定した受信レベルでの通信ができる場合があります。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
通信モード設定 ^{※1}	ネットワークへの通信方法を設定します。	ハイスピード、ハイスピードプラスエリア ^{※2}	ハイスピード

※1：「ハイスピード」に設定するとWiMAX 2+ネットワーク、「ハイスピードプラスエリア」に設定するとWiMAX 2+またはLTEネットワークに接続します。

※2：「ハイスピードプラスエリア」を選択した場合は、「ご注意」画面が表示されます。内容を確認して「OK」をタップし、✓をタップしてください。「ハイスピードプラスエリア」へ切り替えてご利用の場合、所定の追加料金が別途かかります。詳細はご契約されたWiMAX事業者へご確認ください。

2 設定する項目をタップ→ ✓ をタップする

Wi-Fi設定

無線LAN(Wi-Fi[®])端末が本製品に接続するときに利用する周波数帯の選択や、Wi-Fi暗号化強(PMF)の設定を行います。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
周波数	利用する周波数帯を選択します。	2.4GHz、5GHz ^{*1}	2.4GHz
Wi-Fi暗号化強(PMF)	無線LAN(Wi-Fi [®])管理フレームの一部を保護する機能(PMF)を有効にします。本機能の使用を要求してきた無線LAN端末に対してのみ、保護機能が働きます。	オン、オフ	オン

*1：「SSID2モジュール」(▶P.62)がオンの場合、およびau Micro IC Card(LTE)が挿入されていない場合は「5GHz」を選択できません。

memo

- ◎ 5GHz帯の使用については、「5GHz帯の使用について」(▶P.28)をよくお読みください。
- ◎ ご利用の無線LAN(Wi-Fi[®])端末が無線LAN(Wi-Fi[®])5GHz帯に対応しているかご確認ください。本製品では、無線LAN(Wi-Fi[®])5GHz帯と2.4GHz帯で同時に接続することはできません。ご利用の無線LAN(Wi-Fi[®])端末に5GHz帯に対応していないものがある場合は、本製品の設定を2.4GHz帯にしてご利用ください。
- ◎ 周波数を「5GHz」に設定した場合は本製品のディスプレイに確認メッセージが表示されますので、メッセージを確認して「OK」をタップしてください。本製品の状態によって、その後の動作は以下のように異なります。

①内蔵電池による動作中:

屋外とみなし、W56を使用するためDFSチェックを実行します。

②指定のACアダプタ(別売)やパソコンから充電時:

本製品のディスプレイに約20秒間、使用場所の確認メッセージが表示され、メッセージ下部に以下のボタンが表示されます。

- ・「屋内」:W52を使用します。DFSチェックは実行されません。
- ・「屋外」(または操作しないで約20秒経過した場合):W56を使用するためDFSチェックを実行します。

③クレードル(別売)接続して充電時:

屋内とみなし、W52を使用します。DFSチェックは実行されません。

DFSチェック実行中は、本製品のディスプレイにDFSチェック実行中のメッセージが表示され、メッセージ下部に以下のボタンが表示されます。

- ・「続行」:メッセージを閉じてそのままDFSチェックを続行します。
- ・「2.4GHzに変更する」:DFSチェックを中止して無線LAN(Wi-Fi[®])2.4GHz帯で接続します。必要に応じてどちらかを選択してください。「続行」を選択するか、選択せずに約1分間*経過するとDFSチェックが終了し、無線LAN(Wi-Fi[®])5GHz帯が利用可能になります。

*:DFSチェックの結果によっては、さらに時間がかかることがあります。

上記①②③の状態が変更になった場合は、使用中のチャンネルに応じて以下のように動作します。

- ・W56使用時:そのままW56を継続して使用(特別な操作は必要ありません)。
- ・W52使用時:上記①②③の状態に応じてメッセージを表示します。また、W56使用時に気象レーダーなどと干渉した場合は、再度DFSチェックが実行されます。

WPS

本製品とWPS対応の無線LAN(Wi-Fi[®])端末を接続します。



1 各項目を設定する

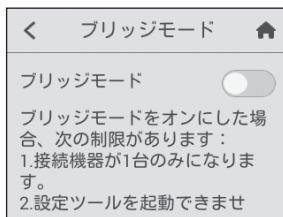
設定項目	説明	設定範囲	初期値
WPSボタン	WPS対応の無線LAN(Wi-Fi [®])端末を接続します。	-	-
WPS PIN入力	WPS対応の無線LAN(Wi-Fi [®])端末にWPS用のPINコードが指定されている場合に、指定されたPINコードを本製品に設定して接続します。	4桁または8桁の半角数字	(なし)

memo

- ◎ 「WPSボタン」をタップした場合は「WPS」をタップ、「WPS PIN入力」をタップした場合は「WPS PINコード」→「WPS PINコードを入力」→をタップすると、本製品のWPS機能がオンになります。約2分以内に、無線LAN(Wi-Fi[®])端末でWPS機能の接続操作を行ってください。

ブリッジモード

ブリッジモードを利用するかどうかを設定できます。オンにすると、ルータとしての機能を無効にして使用することができます。



1 各項目を設定する

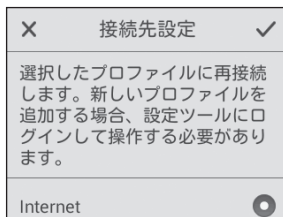
設定項目	説明	設定範囲	初期値
ブリッジモード	ブリッジモードのオン/オフを設定します。	オン、オフ	オフ

memo

- ◎ 本機能をオンに設定すると、ディスプレイに [B] が表示されます。
- ◎ 本機能をオンに設定中は、次の制限があります。
 - ・ 本製品に接続できる無線LAN (Wi-Fi®) 端末やパソコンなどは1台のみになります。
 - ・ Speed Wi-Fi NEXT設定ツールを起動できません。
 - ・ オンラインアップデートを利用できません。
- ◎ 無線LAN (Wi-Fi®) 端末やパソコンなどを接続中に本機能をオンにすると、無線LAN (Wi-Fi®) 接続またはUSB接続がいったん切断され、ブリッジモードが有効になると再度接続されます。
- ◎ 複数台の無線LAN (Wi-Fi®) 端末やパソコンなどを接続中に本機能をオンにすると、すべての機器との接続が切断され、自動的に再接続された最初の機器のみが通信できます (接続する機器を選択することはできません)。

プロファイル選択

インターネットに接続するためのプロファイルを選択できます。



1 ホーム画面で「設定」→「プロファイル選択」の順にタップする

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
接続先設定	プロファイルを選択します。	お買い上げ時に登録されているプロファイルを含め最大10件	Internet

システム設定

パフォーマンス設定やクイック起動など、システムに関する機能を設定します。

1 ホーム画面で「設定」→「システム設定」の順にタップする

2 設定する項目を選択する

パフォーマンス設定

パフォーマンスに関する設定を行うことができます。

クイックアクセスモードは、一定の時間無通信状態が続いた場合でも、無線LAN(Wi-Fi®)を自動切断せずに常時接続状態を維持します。本製品の操作なしで通信を再開することができます。

パフォーマンス設定をオンにすると、次のモードを利用できます。

- ・ハイパフォーマンス
パフォーマンスを最大限に重視した設定です。キャリアアグリゲーションを使用します。
- ・ノーマル
電池残量が十分にある場合はキャリアアグリゲーションを使用し、電池残量が少なくなった場合は使用しません。通信していない状態が一定の時間継続した際に、この切り替えが行われます。
- ・バッテリーセーブ
消費電力を抑え、電池持ちを重視した設定です。キャリアアグリゲーションを使用しません。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
クイックアクセスモード	クイックアクセスモードのオン/オフを設定します。	オン、オフ	オフ
パフォーマンス設定	パフォーマンス設定のオン/オフを設定します。	オン、オフ	オン
パフォーマンス設定(モード切換)*	パフォーマンス設定をオンにしたときのモードを選択します。	ハイパフォーマンス、ノーマル、バッテリーセーブ	ノーマル

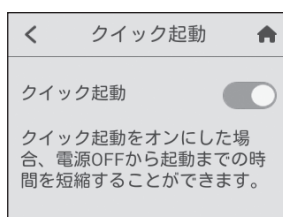
*：パフォーマンス設定をオフに設定すると表示されません。

memo

©「ハイパフォーマンス」または「ノーマル」に設定していても、基地局の混雑状況などによっては、キャリアアグリゲーションがご利用にならない場合があります。

クイック起動

クイック起動機能に関する設定を行うことができます。本機能をオンにすると、本製品の電源を入れてから起動するまでの時間を短くすることができます。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
クイック起動	クイック起動機能のオン/オフを設定します。	オン、オフ	オン

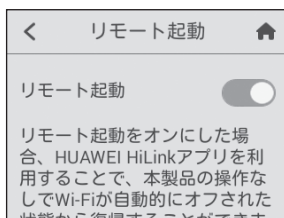
memo

© 次の場合はクイック起動が機能しません。

- ・初めて電源を入れたとき
- ・au Micro IC Card(LTE)が未挿入
- ・au Micro IC Card(LTE)のPINコードが有効で、かつPIN未入力の状態
- ・au Micro IC Card(LTE)がPINロック状態

リモート起動

リモート起動機能に関する設定を行うことができます。本機能をオンにすると、Wi-Fi自動停止時間(▶P.60)の設定により無線LAN(Wi-Fi®)が停止した場合、Android OS搭載端末やiPhoneなどにインストールされた「Huawei HiLink」アプリを操作して、再度本製品の無線LAN(Wi-Fi®)をオンにすることができます。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
リモート起動	リモート起動機能のオン/オフを設定します。	オン、オフ	オン

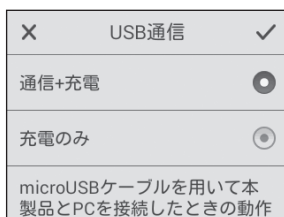
memo

- リモート起動するための条件は、以下の通りです。
 - ・ Android 4.3、4.4、5.0、5.1またはiOS 7.0~9.1、Bluetooth®標準規格Ver. 4.0以上、Bluetooth LEに対応するスマートフォン
 - ・ 本製品とスマートフォンの距離が10m以下
- リモート起動するための条件を満たしていてもリモート起動できない場合もあります。その場合には、本製品の電源ボタンを押して起動してください。
- リモート起動機能には、Bluetooth®機能を利用します。Android OS搭載端末やiPhoneなどのBluetooth®機能をオンにご利用ください。
- スマートフォンが他の端末とBluetooth®で通信している場合や、他の無線LAN(Wi-Fi®)またはBluetooth®通信の範囲にある場合は、リモート起動が失敗する場合があります。
- 「Huawei HiLink」アプリのインストールについては、「Huawei HiLink」アプリをインストールする(▶P.34)を参照してください。
- リモート起動機能には、Bluetooth®機能を利用します。Android OS搭載端末やiPhoneなどのBluetooth®機能をオンにご利用ください。
- 「Huawei HiLink」アプリについてご不明な点は、本アプリのディベロッパーまたは以下のホームページよりお問い合わせください。
<http://consumer.huawei.com/jp/support/index.htm>
- 本製品の電源ボタンを押しても、再度本製品の無線LAN(Wi-Fi®)をオンにすることができます。

USB通信

本製品を指定のmicroUSBケーブルでパソコンに接続したときの動作を設定できます。本機能には次の2つの接続モードがあります。

- ・ 通信+充電: USB接続したパソコンから充電を行いながら、データ通信ができます。
- ・ 充電のみ: USB接続したパソコンから充電のみを行います。



1 各項目を設定する

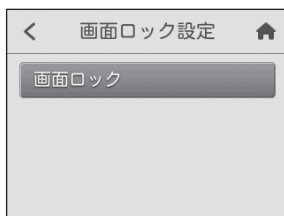
設定項目	説明	設定範囲	初期値
USB通信	USB接続モードを選択します。	通信+充電、充電のみ	通信+充電

memo

- 「充電のみ」を選択している場合は、本製品を指定のmicroUSBケーブルでパソコンに接続しても、Speed Wi-Fi NEXT設定ツールを起動できません。Speed Wi-Fi NEXT設定ツールを起動する場合は、「通信+充電」に設定してください。

画面ロック設定

本製品のディスプレイのタッチ操作を規制するため、自動的に画面ロックがかかるように設定したり、本製品のディスプレイのバックライトが消灯してから自動的に画面ロックがかかるまでの時間を設定したりできます。本機能を有効にすると、電源を入れたときや、電源ボタンを押してバックライトを点灯させたときにパスワード入力画面が表示され、パスワードを入力しないとタッチ操作ができなくなります。



■ 画面ロックを設定する場合

1 「画面ロック」をタップする

2 パスワードを入力し、さらに確認のためにパスワードを再入力する

画面ロックが設定され、「画面ロック」が「画面ロック解除」に変わります。

■ 画面ロックを解除する場合

1 「画面ロック解除」をタップする

2 パスワードを入力

画面ロックが解除され、「画面ロック解除」が「画面ロック」に変わります。

■ パスワードを変更する場合

1 「パスワード変更」をタップする

2 現在のパスワード、新しいパスワードを入力し、さらに確認のために新しいパスワードを再入力する

■ 自動的に画面ロックをかける時間を設定する場合

1 「オートロック設定」をタップする

・お買い上げ時のオートロック設定は「1分」に設定されています。

2 設定する時間をタップする

■ PINコード管理

au Micro IC Card (LTE)にPIN(暗証番号)を設定し、本製品をパソコンなどに接続したときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。

・PINコードについては「PINコードについて」(▶P.7)を参照してください。



■ PINコードを設定する場合

1 「PINコード設定」→「PINコードを入力」→「✓」をタップする

PINコードが有効に設定され、「PINコード設定」が「PINコード設定解除」に変わります。

・お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されています。なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

■ PINコードをオフにする場合

1 「PINコード設定解除」→「PINコードを入力」→「✓」をタップする

PINコードがオフに設定され、「PINコード設定解除」が「PINコード設定」に変わります。

■ ディスプレイ設定

電池の消費を抑え、より長時間使用するために、ディスプレイの消灯時間と明るさを設定します。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
バックライト照度設定	ディスプレイのバックライトの明るさを設定します。	30%、60%、100%*	100%
バックライト点灯時間	ディスプレイのバックライトを消灯する時間を設定します。	15秒、30秒、1分、2分	15秒

*：☐を左右にドラッグするかスライダーをタップすると、設定が3段階(30%、60%、100%)で切り替わります(数値は表示されません)。

クレードル設定

クレードル(別売)に関する設定を行います。



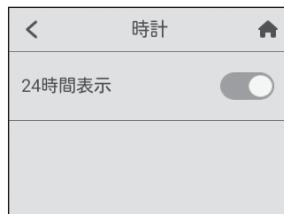
1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
ロック画面常時点灯	本製品をクレードル(別売)に接続したとき、時計表示で常時点灯するかどうかを設定します。	オン、オフ	オン
モード設定*	クレードル(別売)にLANケーブル(市販品)を接続する場合、利用するモードを設定します。	ルータモード、APモード	ルータモード

*：「ルータモード」「APモード」のボタンで色の付いている方が現在設定されているモードです。

時計

ロック解除画面の時計を24時間表示にするかどうかを設定します。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
24時間表示	時計を24時間表示にするかどうかを設定します。	オン、オフ	オン

memo

◎本製品の電源を切ると日付・時刻情報は保持されず、電源を入れたときに再取得されます。ただし、ネットワークから日付・時刻情報を取得できなかった場合は、日付・時刻は表示されません。

言語

表示言語に関する設定を行うことができます。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
言語	ディスプレイに表示される言語を選択します。	日本語、English	日本語

ホーム画面設定

ホーム画面に表示するタッチメニューを変更することができます。



- 1 変更したい項目をタップする
- 2 設定する項目をタップ→ ✓ をタップする

ステータス

データ通信量や無線LAN(Wi-Fi®)に関する機能の情報を確認したり、設定を変更したりします。

- 1 ホーム画面で「設定」→「ステータス」の順にタップする
- 2 設定する項目を選択する

通信量カウンター

データ通信量の表示に関する設定を行うことができます。



◎ カウントするデータ通信量は目安であり、通信事業者が測定するデータ通信量とは異なることがあります。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
ホーム画面表示設定	ホーム画面に1ヶ月または本日までの3日間の通信量カウンターを表示するかどうかを設定します。	1ヶ月、3日、表示しない	1ヶ月
データ設定	1ヶ月、および本日までの3日間のカウント方式を設定します。	—	—

■ 1ヶ月のカウント方式を設定する場合

- 1 「設定(1ヶ月)」をタップする
- 2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
カウント方式	通信量をカウントする通信モード(ハイスピードモード/ハイスピードプラスエリアモード)をオン/オフで設定します。	オン、オフ	ハイスピードモード: オン ハイスピードプラス エリアモード:オン
最大データ通信量	通信量カウンターの最大値を設定します。	1~99	7GB
カウント開始日 ^{※1}	通信量カウンターのカウント開始日を設定します。	1~31	毎月1日
通知設定	通知するデータ通信量欄で設定した値を超えた場合に通知を行うかどうかを設定します。	オン、オフ	オフ
通知するデータ通信量 ^{※2}	最大データ通信量の何%になったときに通知を行うかを設定します。	10%、20%、…、100%	90%

※1: カウント開始日を毎月31日に設定したとき、31日までない月の場合は、その月の最終日にカウントが開始されます。

※2: 通知設定をオンにすると設定できます。

■ 3日のカウント方式を設定する場合

1 「設定(3日)」をタップする

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
カウント方式	通信量をカウントする通信モード(ハイスピードモード/ハイスピードプラスエリアモード)をオン/オフで設定します。	オン、オフ	ハイスピードモード: オン ハイスピードプラス エリアモード:オン
最大データ通信量(カウントする最大データ通信量)	通信量カウンターの最大値を設定します。	1~10	3GB

■ カウントされたデータ通信量を手動でクリアする場合

1 「クリア」をタップし、「OK」をタップする



© 本製品に別のau Micro IC Card (LTE)を取り付けたときは、カウントされたデータ通信量は自動的にクリアされます。

■ Wi-Fi接続情報

本製品と無線LAN(Wi-Fi®)で接続されている無線LAN(Wi-Fi®)端末を確認できます。



■ アップデート

最新のソフトウェアの有無を確認します。自動検出をオンに設定すると、定期的に最新のソフトウェアの確認が行われます。また、最新のソフトウェアをダウンロードし、更新(アップデート)する方法を説明します。



1 ホーム画面で「設定」→「アップデート」の順にタップする

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
自動検出	自動検出のオン/オフを設定します。	オン、オフ	オン
現行バージョン	現在のソフトウェアバージョンが表示されます。	—	—
アップデート	最新のソフトウェアにアップデートします。	—	—

■ 更新(アップデート)する場合

1 ホーム画面で「設定」→「アップデート」の順にタップする


2 「アップデート」をタップする

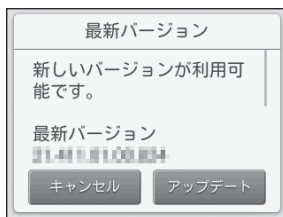
最新のソフトウェアがあるかどうかを確認します。最新のソフトウェアがない場合は、「OK」をタップして操作終了です。最新のソフトウェアがある場合は、ソフトウェア情報が表示されます。

3 「更新」をタップする

ダウンロードが開始されます。
ダウンロードが完了すると、自動的にインストールを行います。

■ 自動検出で最新のソフトウェアを検出した場合

最新ソフトウェアを検出した場合は、本製品のホーム画面に  が表示されます。通知画面が表示され、ソフトウェア情報が表示されます。



※Speed Wi-Fi NEXT設定ツールの場合は画面右上に  が表示されます。

1 通知画面で「アップデート」をタップする

ダウンロードが開始されます。

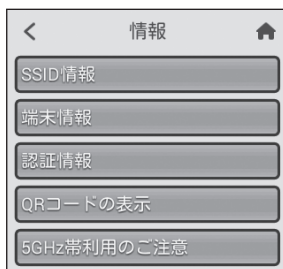
ダウンロードが完了すると、自動的にインストールを行います。

memo

- ◎ アップデートを実行する場合、インターネットに接続されていることを確認してください。
- ◎ アップデートを実行する場合は、本製品の電池残量が十分あることを確認してから行ってください。電池残量が少ないと、アップデートができません。十分に充電してから行ってください。
- ◎ アップデートの際には、アップデートが必要かどうかや、アップデートを行ったかどうかを調べるためにIMSI(ICカードなどに記録された加入者識別番号)とIMEI(端末に記録された端末識別番号)をアップデートサーバに通知します。
- ◎ 最新のソフトウェアの確認に失敗した場合は、電波状況の良い場所で再度実行してください。

情報

SSIDやパスワード、電話番号、銘板情報など、本製品の各種情報を確認します。



1 ホーム画面で「設定」→「情報」の順にタップする

2 各項目を選択する

設定項目	説明
SSID情報	SSID1とSSID2*1のネットワーク名、パスワードを表示します。
端末情報	電話番号、IPアドレス、MACアドレス、IMEI、ソフトウェアバージョンを表示します。
認証情報	銘板情報を表示します。
QRコードの表示	「Huawei HiLink」アプリを利用して本製品と無線LAN(Wi-Fi®)端末を接続するためのQRコードを表示します(▶P.34「QRコード表示機能を利用して接続する」)。
5GHz帯利用のご注意	無線LAN(Wi-Fi®)5GHz帯利用時のご注意を表示します。

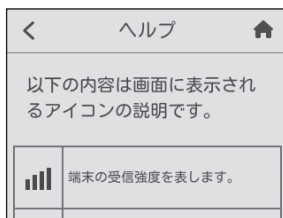
※1: SSID2モジュールがオフの場合は表示されません。

memo

- ◎「端末情報」では電話番号が表示されますが、本製品で音声電話の発信などは行えません。

ヘルプ

本製品の画面に表示されるアイコンの説明を表示します。



- 1 ホーム画面で「設定」→「ヘルプ」の順にタップする
- 2 画面を上下にスライドして、内容を確認する

付録.....	96
周辺機器のご紹介.....	96
故障とお考えになる前に.....	96
アフターサービスについて.....	98
Speed Wi-Fi NEXT設定ツール メニュー項目／設定項目一覧.....	99
主な仕様.....	101
データ通信端末の比吸収率(SAR)について.....	102
輸出管理規制.....	103
用語集.....	103
知的財産権について.....	105
商標について.....	105
個人情報保護方針.....	105
索引.....	106

周辺機器のご紹介

充電やパソコンなどとの接続に使用可能な周辺機器は以下の通りです。

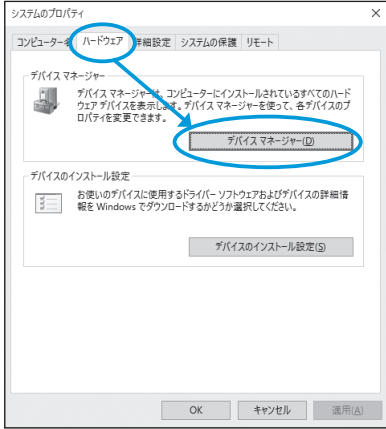
- 共通ACアダプタ03 (0301PQA) (別売)
- 共通ACアダプタ03 ネイビー (0301PBA) (別売)
- 共通ACアダプタ03 グリーン (0301PGA) (別売)
- 共通ACアダプタ03 ピンク (0301PPA) (別売)
- 共通ACアダプタ03 ブルー (0301PLA) (別売)
- 共通ACアダプタ05 (0501PWA) (別売)
- 共通ACアダプタ05 (0501PWV) (別売)
- AC Adapter JUPITRIS(ホワイト) (L02P001W) (別売)
- AC Adapter JUPITRIS(レッド) (L02P001R) (別売)
- AC Adapter JUPITRIS(ブルー) (L02P001L) (別売)
- AC Adapter JUPITRIS(ピンク) (L02P001P) (別売)
- AC Adapter JUPITRIS(シャンパンゴールド) (L02P001N) (別売)
- microUSBケーブル01 (0301HVA) (別売)
- microUSBケーブル01 ネイビー (0301HBA) (別売)
- microUSBケーブル01 グリーン (0301HGA) (別売)
- microUSBケーブル01 ピンク (0301HPA) (別売)
- microUSBケーブル01 ブルー (0301HLA) (別売)
- ポータブル充電器02 (0301PFA) (別売)
- W02クレードル(HWD33PUU) (別売)



- ◎ 最新の対応周辺機器については、ご契約されたWiMAX事業者にお問い合わせください。
- ◎ ポータブル充電器02(別売)では、本製品を十分に充電できない可能性があります。

故障とお考えになる前に

項番	こんなときは	ご確認ください	参照
1	充電ができない。	指定の充電用機器をご使用ください。	P.18、96
2	電源が入らない。	電池残量がない場合は、しばらく充電してから電源を入れてください。	—
3	アンテナアイコン(受信レベル表示)があるのに通信ができない。	受信レベル表示が「圏外」から「圏内」になった場合、通信可能になるまで時間がかかることがあります。しばらくしてからもう一度接続してください。 また、ハイスピードプラスエリアモード(WiMAX 2+とLTEの自動切替モード)で通信可能になるまで時間がかかる場合は、電源を入れ直してください。 ネットワークへの接続に失敗している可能性があります。「プロファイル設定」のAPN(接続先情報)の設定内容が、接続するネットワークの情報と一致することをご確認のうえ、しばらくしてからもう一度接続してください。または、本製品を再起動してください。それでも通信ができない場合は、ご契約されたWiMAX事業者にお問い合わせください。	P.20、48 P.56
4	電源が勝手に切れる。	内蔵電池が高温になっている可能性があります。電源を切り、温度が低下するまでお待ちください。	—
5	無線LAN(Wi-Fi [®])端末を接続できない。	本製品の電源が入っていることを確認してください。 無線LAN(Wi-Fi [®])端末の無線LAN(Wi-Fi [®])機能がオンになっていることを確認してください。 暗号化方式をWEPで設定している場合は、正しいWEPキー(WEP Key)を入力しているか、確認してください。WEPキー(WEP Key)を忘れた場合は、本製品をリセットするか、「セキュリティ設定」を参照してWEPキー(WEP Key)を設定し直し、もう一度接続の操作を行ってください。 暗号化方式をWPAまたはWPA2で設定している場合は、正しい事前共有キー(WPA Key)を設定しているか、確認してください。事前共有キー(WPA Key)を忘れた場合は、「セキュリティ設定」を参照して事前共有キー(WPA Key)を設定し直し、もう一度接続の操作を行ってください。また、無線LAN(Wi-Fi [®])端末によっては、WPA2/WPAの暗号化方式に対応していない場合があります。お使いの無線LAN(Wi-Fi [®])端末の取扱説明書をご確認ください。 WPS機能で接続できない場合は、無線LAN(Wi-Fi [®])端末の取扱説明書などを参照してください。それでも接続できない場合は、無線LAN(Wi-Fi [®])機能を手動で設定する必要があります。	P.20 P.29、33、34、35、36、37、38、40、43 P.61 P.61、80
		WPS用のPINコードが指定された無線LAN(Wi-Fi [®])端末を接続する場合は、正しいPINコードを設定しているか、確認してください。 無線LAN(Wi-Fi [®])端末によっては、「Wi-Fi暗号化強化(PMF)」をオンに設定していると接続できない場合があります。「Wi-Fi暗号化強化(PMF)」をオフに設定してからもう一度接続してください。	P.62、85 P.61、85
6	インターネットへの接続に失敗した。	サービスエリア内であることをご確認ください。 電波状態が良くない場合があります。電波状態が良いところでもう一度接続してください。 時間帯によって接続先が混雑している可能性もありますので、しばらくしてからもう一度接続してください。 Speed Wi-Fi NEXT設定ツールを起動し、インターネット接続が正しく設定されていることを確認してください。	P.22 P.22 — P.52、77
7	通信がすぐに切れる。	電波状態が良くない場合があります。電波状態が良いところで確認してください。 本製品の電池残量を確認してください。電池残量が少なくなっている場合は、充電をしてからもう一度接続してください。 本製品とパソコンなどが、無線LAN(Wi-Fi [®])または指定のmicroUSBケーブルにより正しく接続されていることを確認してください。 パフォーマンス設定をオンに設定している場合、一定時間データ通信が行われないと通信機能が停止します。	P.22 P.18 P.29、33、44、45 P.70、87

項番	こんなときは	ご確認ください	参照
7	通信がすぐに切れる。	無線LAN(Wi-Fi®)端末によっては、一定時間データ通信が行われず通信機能が停止する場合があります。お使いの無線LAN(Wi-Fi®)端末の取扱説明書をご確認ください。 本製品と無線LAN(Wi-Fi®)端末を無線LAN(Wi-Fi®)で接続している場合には、本製品を再起動してください。 本製品とパソコンを指定のmicroUSBケーブルで接続している場合には、本製品をパソコンから取り外してもう一度接続してください。 上記の操作を行っても接続できない場合は、本製品を取り外してパソコンを再起動し、もう一度接続してください。	— P.20 P.45
8	通信速度が遅く感じる。	電波状態が良くない場合があります。電波状態の良いところで確認してください。 接続先が混雑している場合があります。時間を置いて再度試してください。	P.22 —
9	Speed Wi-Fi NEXT設定ツールにアクセスできない。	本体のタッチメニューの操作中は、Speed Wi-Fi NEXT設定ツールにログインできません。 ブリッジモードがオン有的时候はSpeed Wi-Fi NEXT設定ツールを起動できません。	P.53 P.86
10	データ通信量が表示されない、または正しく表示されない。	ネットワークと時刻情報を同期できなかった場合、累計(カウントを開始した日からの合計)のデータ通信量が表示されず、時刻情報を同期できると、当月または3日間のデータ通信量が表示されます。 通信モードごとの通信量カウンターのオン/オフ設定が正しく行われているか確認してください。	P.59, 91 P.91
11	指定のmicroUSBケーブルで接続したパソコンが本製品を認識しない。	本製品が指定のmicroUSBケーブルで正しくパソコンに接続されているかどうかを確認してください。 USB接続モードが「通信+充電」に設定されていることを確認してください。 本製品をパソコンから一度取り外してパソコンを再起動し、もう一度接続してください。 ● Windows 10の場合は、以下の手順で本製品が正しく取り付けられていることを確認してください。 ①「スタート」メニューから「エクスプローラー」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。「システムの詳細設定」を選択します。 ②「システムのプロパティ」の画面が表示されたら、「ハードウェア」のタブを選択し、次の画面を表示させます。  ③「デバイスマネージャー」を選択し、次のデバイスが表示されていることを確認してください。 ネットワークアダプター: Remote NDIS based Internet Sharing Device ● Windows 7およびWindows Vistaの場合は、以下の手順で本製品が正しく取り付けられていることを確認してください。 ①「コンピューター」(Windows Vistaの場合は「コンピュータ」)を右クリックし、「プロパティ」を選択します。「システムの詳細設定」を選択して、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「はい」(Windows Vistaの場合は「続行」)を選択します。 ②「システムのプロパティ」の画面が表示されたら、「ハードウェア」のタブを選択します。 画面左側から「デバイスマネージャー」を選択し、次のデバイスが表示されていることを確認してください。 ネットワークアダプター: Remote NDIS based Internet Sharing Device ● Windows 8/8.1の場合は、以下の手順で本製品が正しく取り付けられていることを確認してください。 ①デスクトップ画面の右端からスワイプ(マウスの場合は画面右上をポイント)し、「設定」から「PC情報」を選択します。 ②システム画面が表示されたら、画面左側から「デバイスマネージャー」を選択し、次のデバイスが表示されていることを確認してください。 ネットワークアダプター: Remote NDIS based Internet Sharing Device ● Macの場合は、以下の手順で本製品が正しく取り付けられていることを確認してください。 ①「アプリケーション」フォルダ内の「ユーティリティ」フォルダを選択して開き、「ターミナル」を選択して起動します。 ②ターミナルウィンドウが表示されたら、次のように入力します。 ioreg -p IOUSB -w -S grep HUAWEI ③次の情報が表示されることを確認します。 HUAWEI mobile/HUAWEI MOBILE@xxxx	P.44, 45 P.63, 88 — — —
12	本製品をパソコンに接続しても、インストーラーが自動的に起動しない。	システムが新しいハードウェアを認識してから、インストール準備に時間がかかりますので、しばらくお待ちください。また、パソコンの設定によってはインストーラーが起動せず、自動的にインストールが開始される場合があります。 ご利用のパソコンにセキュリティソフトがインストールされている場合、セキュリティソフトの機能を停止してインストールをお試ください。機能の停止操作についてはセキュリティソフトの取扱説明書をご確認ください。	P.44 —

項番	こんなときは	ご確認ください	参照
13	本製品の設定を購入時の状態に戻したい。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体のボタン操作でリセットする場合 本製品の電源が入った状態で、Resetボタンを先の細いもので約5秒以上押しします。本製品をリセットすると、すべての設定内容がお買い上げ時の状態に戻ります。 ● Speed Wi-Fi NEXT設定ツールから本製品をリセットする場合 ①Speed Wi-Fi NEXT設定ツールを起動します。 ②「設定」→「システム設定」→「オールリセット」の順に選択します。 ③「オールリセット」→「OK」を選択すると、本製品が自動的に再起動し、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ります。 	P.2 P.74
14	管理者権限(Administrator)でログインしているのかわからない。	<ul style="list-style-type: none"> ● Windows 10の場合 ①「スタート」メニューから「設定」を選択します。 ②「アカウント」を選択します。 ③画面の右側に現在ログインしているユーザー名と、アカウントの種類が表示されています。アカウントの種類が「管理者」であれば管理者権限でログインしているため、本製品をセットアップすることができます。 ● Windows 7およびWindows Vistaの場合 ①「スタート」→「コントロールパネル」を選択して、「コントロールパネル」画面を表示します。 ②「ユーザーアカウントと家族のための安全設定」を選択して、次の画面で「ユーザーアカウント」を選択します。 ③画面の右側に現在ログインしているユーザー名と、アカウントの種類が表示されています。アカウントの種類が「Administrator」であれば管理者権限でログインしているため、本製品をセットアップすることができます。 ● Windows 8/8.1の場合 ①デスクトップ画面の右端からスワイプ(マウスの場合は画面右上をポイント)し、「設定」から「コントロールパネル」を選択します。 ②「ユーザー アカウントとファミリー セーフティ」から「アカウントの種類の変更」を選択します。 ③画面に現在ログインしているユーザー名と、アカウントの種類が表示されています。アカウントの種類が「Administrator」であれば管理者権限でログインしているため、本製品をセットアップすることができます。 ● Macの場合 ①アップルメニューから「システム環境設定...」を選択します。 ②「システム環境設定...」の画面で、「システム」の「ユーザとグループ」を選択します。 ③画面の左側に現在ログインしているユーザー名と、アカウントの種類が表示されています。アカウントの種類が「管理者」であれば管理者権限でログインしているため、本製品をセットアップすることができます。 	— — — —

アフターサービスについて

ご契約されたWiMAX事業者にお問い合わせください。

メニュー項目／設定項目		設定範囲	初期値
	WEPキー1~4	64bitキー: 5文字の半角英数字と半角記号(「,」「*」「:」「&」「¥」「\」「%」「+」「>」「<」「?」「」は除く)、または10桁の16進数(0~9、A~F) 128bitキー: 13文字の半角英数字と半角記号(「,」「*」「:」「&」「¥」「\」「%」「+」「>」「<」「?」「」は除く)、または26桁の16進数(0~9、A~F)	*3
	現在のネットワークキー	1、2、3、4	1
	SSIDステルス	オン、オフ	オフ
	WPS設定	WPS PIN コード	4桁または8桁の半角数字
USB通信	USB接続モード	通信+充電、充電のみ	通信+充電
MACアドレスフィルタ	Wi-Fi MACフィルタ	オフ、許可、拒否	オフ
	MACアドレス	00~FFの6組の番号	(なし)
ファイアウォール設定			
ファイアウォールスイッチ	ファイアウォールの有効化	オン、オフ	オン
	LAN IPフィルタ	オン、オフ	オン
	WANポートping	オン、オフ	オン
DHCP設定	IPアドレス	0~255の4組の番号	192.168.100.1
	サブネットマスク	0~255の4組の番号	255.255.255.0
	DHCPサーバ	オン、オフ	オン
	開始IPアドレス	0~255の4組の番号	192.168.100.100
	終了IPアドレス	0~255の4組の番号	192.168.100.200
	DHCPリース期間(秒)	60~604800	604800
	DNS設定	ダイナミック、スタティック	ダイナミック
	プライマリDNS	0~255の4組の番号	(なし)
セカンダリDNS	0~255の4組の番号	(なし)	
LAN IPフィルタ	IPタイプ	IPv4、IPv6	IPv4
	プロトコル	両方、TCP、UDP	両方
	ステータス	オン、オフ	オフ
	LAN IPアドレス	0~255の4組の番号とワイルドカードとして[*]	(なし)
	LANプレフィックス長 (IPタイプが「IPv6」の場合)	0~128	(なし)
	WAN IPアドレス	0~255の4組の番号とワイルドカードとして[*]	(なし)
	WANプレフィックス長 (IPタイプが「IPv6」の場合)	0~128	(なし)
	LANポート	1~65535 範囲指定する場合は「-」で連結	(なし)
	WANポート	1~65535 範囲指定する場合は「-」で連結	(なし)
	種別	拒否	拒否
ポートマッピング	方向	OUT	OUT
	名前	最大30文字までの半角英数字と半角記号(「,」「*」「:」「&」「¥」「\」「%」「+」「>」「<」「?」「」は除く)	(なし)
	ステータス	オン、オフ	オフ
	共通ポート	(リスト項目)	(選択)
	WANポート	1~65535	(なし)
	LANポート	1~65535	(なし)
	LAN IPアドレス	0~255の4組の番号	(なし)
特定アプリケーション	プロトコル	両方、TCP、UDP	両方
	名前	最大30文字までの半角英数字、半角記号(「,」「*」「:」「&」「¥」「\」「%」「+」「>」「<」「?」「」は除く)、「(半角スペース)」	(なし)
	ステータス	オン、オフ	オフ
	トリガーポート	1~65535	(なし)
	トリガープロトコル	両方、TCP、UDP	両方
	オープンポート	1~65535 範囲指定する場合は「-」で連結 複数指定する場合は「,」で連結	(なし)
	オープンプロトコル	両方、TCP、UDP	両方
DMZ設定	共通ポート	(リスト項目)	(選択)
	DMZステータス	オン、オフ	オフ
UPnP設定	DMZ IPアドレス	0~255の4組の番号	192.168.100.200
	UPnPステータス	オン、オフ	オフ
SIP ALG設定	SIPポート	1~65535	8080
	SIP ALGを有効にする	-	(チェックなし)
パフォーマンス設定			
クイックアクセスモード	オン、オフ	オフ	
パフォーマンス設定	オン、オフ	オン	
パフォーマンス設定切換	ハイパフォーマンス、ノーマル、バッテリーセーブ	ノーマル	
クイック起動	オン、オフ	オン	
リモート起動	オン、オフ	オン	

メニュー項目/設定項目		設定範囲	初期値
システム設定			
端末画面ロック設定	端末画面ロック	オン、オフ	オフ
	現在のパスワード	4桁の半角数字	(なし)
	新しいパスワード	4桁の半角数字	(なし)
	パスワード(確認用)	4桁の半角数字	(なし)
	オートロック時間設定	30秒、1分、3分、10分、30分、1時間	1分
ディスプレイ設定	バックライト点灯時間	15秒、30秒、1分、2分	15秒
	バックライト照度設定	30%、60%、100%	100%
本体時計表示	24時間表示	オン、オフ	オン
クレードル設定	クレードルモード設定	ルータモード、APモード	ルータモード
	ロック画面(時計表示)常時点灯	オン、オフ	オン
ブリッジ機能規制		オン、オフ	オフ
バックアップ&リストア	バックアップ	-	-
	リストア	-	-
オールリセット		-	-
再起動		-	-
パスワード変更	現在のパスワード	5~15文字までの半角英数字と半角記号(「!」「&」「.」「:」「;」「¥」「\」「<」「>」は除く)	*3
	新しいパスワード	5~15文字までの半角英数字と半角記号(「!」「&」「.」「:」「;」「¥」「\」「<」「>」は除く)	(なし)
	パスワード(確認用)	5~15文字までの半角英数字と半角記号(「!」「&」「.」「:」「;」「¥」「\」「<」「>」は除く)	(なし)
オンラインアップデート	自動検出	オン、オフ	オン

*1：お買い上げ時に設定されているプロファイルが表示されますが、編集/削除はできません。

*2：お買い上げ時のPINコードとPINロック解除コードについては、「PINコードについて」(▶P.7)を参照してください。

*3：お買い上げ時のSSIDと暗号化キー(パスワード)については、同梱の無線LAN初期設定シール、または「情報」(▶P.93)を参照してください。

主な仕様

■ 本体

外形寸法	約121(W)×59(H)×11.1(D)mm
質量	約119g
インターフェイス	USB 2.0 High Speed(microUSB端子)
ディスプレイ	2.4インチ(320×240ドット)TFT
電源	DC5.0V、2A
内蔵電池	リチウムイオン、3.8V、2300mAh
連続待受時間*1	約760時間 約35時間(クイックアクセスモード設定時)
連続通信時間*1*2	WiMAX 2+接続時: 約390分(パフォーマンス設定のハイパフォーマンス設定時) 約420分(パフォーマンス設定のノーマル設定時) 約510分(パフォーマンス設定のバッテリーセーブ設定時) LTE接続時: 約440分(パフォーマンス設定のハイパフォーマンス/ノーマル設定時) 約470分(パフォーマンス設定のバッテリーセーブ設定時)
環境条件	動作周囲温度範囲:5℃~35℃ 動作周囲湿度範囲:35%~85%
充電時間	約150分(指定のACアダプタ(別売)使用時)
Bluetooth®	標準規格Ver. 4.1準拠、Bluetooth LE対応(リモート起動機能のみ対応)

*1：お使いの通信ネットワークにより、連続待受時間・連続通信時間は変わります。

*2：無線LAN(Wi-Fi®)端末1台を接続した場合の時間です。

■ WAN

通信方式	WiMAX 2+、LTE
------	--------------

■ LAN

通信方式	Wi-Fi(IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠)
対応周波数	2.4GHz(1~13ch*)、5GHz(W52、W56)
Wi-Fiセキュリティ方式	WEP:64bit/128bit WPA-PSK:AES/AES+TKIP WPA2-PSK:AES/AES+TKIP
最大同時接続数	Wi-Fi:10台/USB:1台

*：お買い上げ時の設定では1~11chのいずれかが自動で選択されます。12、13chを使用する場合は、「Wi-Fiチャンネル」(▶P.60)で設定してください。

■ microUSBケーブル

コード長さ	約1.2m
質量	約34g
インターフェイス	USBプラグ:Aタイプ microUSBプラグ:Bタイプ

データ通信端末の比吸収率(SAR)について

この機種Speed Wi-Fi NEXT W02は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^(*)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、本データ通信端末に対するSARの許容値は2.0W/kgです。このデータ通信端末を本取扱説明書に記述する通常使用の場合のSARの最大値は0.3895W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、データ通信端末の出力は小さくなります。

通信中は、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○総務省のホームページ:

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm>

○一般社団法人電波産業会のホームページ:

<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

○HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.のホームページ:

<http://consumer.huawei.com/jp/support/products/information/w02-jp.htm>

○UQコミュニケーションズのホームページ:

http://www.uqwimax.jp/signup/body_s/

※ 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

用語集

Bluetooth

近距離無線通信規格の1つで、主に簡易な情報のやりとりを行うのに使われます。

CHAP(Challenge Handshake Authentication Protocol)

ネットワーク上で利用される認証方式の1つです。認証情報のやりとりが暗号化されるため、高い安全性を有します。

DFS(Dynamic Frequency Selection)

無線LAN(Wi-Fi[®])5GHz帯のW56使用時に、気象レーダーなどとの電波干渉を避けるためにチャンネルを自動的に変更する機能です。

DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)

IPネットワークに接続する端末に対してIPアドレスを自動的に割り当て、接続に必要な情報を提供する機能です。接続のための設定が簡単になる反面、接続のたびにIPアドレスが変わるため、IPアドレスで端末を特定することができなくなります。

DMZ(DeMilitarized Zone)

ファイアウォールによって内部ネットワークから隔離された領域で、非武装地帯を意味します。DMZホストに設定した端末で、外部に対してすべてのポートがオープンされるため、特別な設定をしなくてもサーバアプリケーションやオンラインゲームを利用することができます。

DNS(Domain Name System)

IPアドレスとドメイン名を関連付け、相互に置き換えるシステムです。

IEEE802.11a

無線LAN(Wi-Fi[®])の規格の1つです。5GHzの周波数帯を利用し、通信速度は最大で54Mbps(理論値)です。

IEEE802.11ac

無線LAN(Wi-Fi[®])の規格の1つです。5GHzの周波数帯を利用し、通信速度は最大で6.9Gbps(理論値)です。

IEEE802.11b

無線LAN(Wi-Fi[®])の規格の1つです。2.4GHzの周波数帯を利用し、通信速度は最大で11Mbps(理論値)です。

IEEE802.11g

無線LAN(Wi-Fi[®])の規格の1つです。2.4GHzの周波数帯を利用し、通信速度は最大で54Mbps(理論値)です。

IEEE802.11n

無線LAN(Wi-Fi[®])の規格の1つです。2.4GHz/5GHzの周波数帯を利用し、通信速度は最大で600Mbps(理論値)です。

IMEI(International Mobile Equipment Identity)

携帯電話やデータ通信端末に記録された端末識別番号です。

IMSI(International Mobile Subscriber Identity)

ICカードなどに記録された加入者識別番号です。

IPアドレス

ネットワーク上のコンピュータや通信機器を識別するための番号です。

LAN(Local Area Network)

家庭やオフィスなどに構築された、複数のパソコンやプリンタなどで構成されている小規模なネットワークです。

LTE(Long Term Evolution)

国際標準化団体の3GPPが仕様を作成した移動体通信方式です。CDMA方式(3G)と比較して高速なデータ通信が可能です。

MACアドレス(Media Access Controlアドレス)

すべてのネットワーク機器に対して固有に割り当てられた6バイト長のID番号のことで、一般的にMACアドレスは、16進数で「XX:XX:XX:XX:XX:XX」のように表現されます。

MTU(Maximum Transmission Unit)

ネットワーク上で、1回の転送で送信できるデータの最大値のことをいいます。接続することによって送信側がその値を設定でき、受信側が受信側より大きいMTUを持っている場合には、受信側のMTUに従ってデータを再分割して送信します。

PAP>Password Authentication Protocol)

ネットワーク上で利用される認証方式の一つです。パスワードによってユーザを識別します。PPPによるダイヤルアップ接続の際に利用されます。

PIN(Personal Identification Number)

本製品を使用するために必要な暗証番号のことで、個人識別番号を意味します。本製品が紛失・盗難などにあった場合でも、第三者が使えないようにできます。

PMF(Protected Management Frames)

無線LAN(Wi-Fi[®])管理フレームの一部を保護する機能です。

SSID(Service Set Identifier)

無線LAN(Wi-Fi[®])アクセスポイントを識別するための名前のことです。通信可能な範囲に無線LAN(Wi-Fi[®])アクセスポイントが複数ある場合、接続するアクセスポイントを指定するときに利用します。

UPnP(Universal Plug and Play)

様々なネットワーク機器を、ネットワークに接続するだけで利用できるようにするための技術仕様のことです。UPnPの機能により、LAN側端末のアプリケーションが、ルータに割り当てられているグローバルIPアドレスを取得できるため、データ中にグローバルIPアドレスを設定する特殊な機能を利用できるようになります。

WAN(Wide Area Network)

地理的に離れた地点にあるパソコン同士を電話回線や専用回線で接続するネットワークです。LAN(Local Area Network)の対義語としてよく用いられます。一般的には、インターネットとほぼ同義の言葉として使われます。

WEP(Wired Equivalent Privacy)

無線通信で使われる初期の暗号化規格です。5文字または13文字の共有キーを使用する暗号化方式が採用されています。

Wi-Fi(Wireless Fidelity)

一般に、IEEE802.11シリーズの無線LAN(Wi-Fi[®])の規格のことを言います。「Wi-Fi」の名称は、業界団体であるWi-Fi Allianceが認定した商品であることを示すもので、製造メーカーが異なっても、相互接続できることを表しています。

WiMAX 2+

WiMAX Release 2.1規格に基づく次世代高速モバイルデータ通信サービスです。TD-LTEと互換性を持ちます。日本国内では2.5GHzの周波数帯を利用し、UQコミュニケーションズ株式会社がサービスを提供します。

WPA2/WPA(Wi-Fi Protected Access 2 Pre-Shared Key / Wi-Fi Protected Access)

WEPを改良した暗号化規格で、あらかじめ設定した事前共有キー(WPA Key)で認証後は、自動的に生成された暗号化キーが使用されます。また、長い暗号化キーをサポートするAES(Advanced Encryption Standard)と暗号化キーを動的に変更するTKIP(Temporal Key Integrity Protocol)という2つの暗号化方式を利用して、より安全な通信を行うことができます。

WPS(Wi-Fi Protected Setup)

無線LAN(Wi-Fi[®])の接続やセキュリティ設定を簡単にできるようにする機能です。プッシュボタン方式やPINコード方式など、複数の接続方式が利用できます。

WPS PIN

WPSに対応した無線LAN(Wi-Fi[®])端末が発行する数桁の数字です。WPSのPINコード方式で設定するとき、この数字を本製品に入力することで、安全に無線LAN(Wi-Fi[®])設定をすることができます。

キャリアアグリゲーション(Carrier Aggregation)

複数の異なる周波数帯の電波を同時に運用する方式です。一つの通信回線としてデータを分散して送受信することにより、通信速度の向上や安定化を図ります。

ファイアウォール

インターネットなどの外部ネットワークから内部ネットワーク(LAN)に対するアクセスを監視し、不正な侵入を防止するためのシステムのことで

プロファイル

複数のインターネット接続設定を管理するため、電話番号やユーザー名、パスワードなどの設定情報を1つにまとめたものをプロファイルと呼びます。

ポート番号

インターネット上の通信で、データを受け取るアプリケーションやサービスを指定するための番号のことです。0~65535の番号を指定でき、一般的な用途が決められているウェルノウンポート番号(0~1023)、特定のアプリケーションなどが使用するレジスタードポート番号(1024~49151)、自由に利用できるダイナミック/プライベートポート番号(49152~65535)の3種類に区分されます。

無線LAN(WLAN)

LANケーブルを無線に置き換えたネットワークです。無線通信を利用して、パソコンやゲーム機などの無線LAN(Wi-Fi[®])端末(子機)と無線LAN(Wi-Fi[®])アクセスポイント(親機)を接続します。本製品は無線LAN(Wi-Fi[®])アクセスポイントとして機能します。

商標について

- Microsoft[®]、Windows[®]、Windows Vista[®]は、米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft[®] Windows[®] Operating Systemです。
- Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Firefoxは、米国Mozilla Foundationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- Google、Android、Google Chromeは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- OperaはOpera Software ASAの商標または登録商標です。Operaに関する詳細については、<http://jp.opera.com/> をご覧ください。
- Mac、Macintosh、Safari、iPhone、iPod、iPod touch、iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。
- iPhone商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Wi-Fi[®]、Wi-Fi Alliance[®]、Wi-Fi CERTIFIED[®]、WPA[™]、WPA2[™]、Wi-Fi Protected Setup[™]とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- AOSS[™]は、株式会社バッファローの商標です。
- 「らくらく無線スタート」は、NECアクセステクニカ株式会社の登録商標です。
- Wii U、ニンテンドー3DS、ニンテンドーDS、ニンテンドーDSブラウザは任天堂の登録商標または商標です。
- 「PlayStation」、「PS4」、「PS3」および「PSP」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標または商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- BluetoothおよびBluetoothロゴは、Bluetooth SIG, INC.の登録商標であり、ライセンスを受けて使用しています。

Bluetooth[®]

- HUAWEI は、中国HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.の商標または登録商標です。
- その他、本書で記載している会社名、製品名などは各社の商標、および登録商標です。本文中では、®マーク、TMマークは省略している場合があります。

GPL書面によるオファー

本製品はGNU General Public License (Version2)が適用されたフリーソフトウェアを使用しています。詳細は、下記のホームページをご参照ください。

http://consumer.huawei.com/minisite/copyright_notice/

または、mobile@huawei.comまでお問い合わせください。

個人情報保護方針

HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.の個人情報保護方針について、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記ホームページをご参照ください。

<http://consumer.huawei.com/jp/privacy-policy/index.htm>

索引

数字／アルファベット

5GHz帯の使用について	28
[HUAWEI HiLink]アプリ	34
CHAP	103
DFS機能	28
DFSチェック	28
DHCP	103
DHCP設定	64
DMZ	103
DMZ設定	69
DNS	103
IEEE802.11a/b/g/n/ac	103
IPアドレス	103
LAN	103
LAN IPフィルタ	65
LAN設定	60
MACアドレス	103
MACアドレスフィルタ	63
MTU	103
PINコード管理	57
PMF	103
QRコード表示機能	34
SIP ALG設定	70
Speed Wi-Fi NEXT設定ツール	52
アンインストール	46
インストール	44、45
SSID	103
UPnP	103
UPnP設定	70
USB接続	
Mac	45
Windowsパソコン	44
USB通信	63
WAN	104
WAN設定	55
WEP	104
WEPキー(WEP Key)	2
Wi-Fi	104
Wi-Fi設定	85
WPA2/WPA	104
WPS PIN	104
WPS設定	62

あ

アフターサービス	98
暗号化キー	2
オールリセット	74
主な仕様	101
オンラインアップデート	75

か

かんたん設定	29
基本設定(LAN設定)	60
基本設定(WAN設定)	55
キャリアアグリゲーション	104
クイック起動	71
クレードル	
LANケーブル接続	49
充電	19
クレードル設定	73
工場出荷時設定	2

さ

再起動	74
システム設定	72
事前共有キー(WPA Key)	2
充電	18
周辺機器	96
情報	54
初期設定	79
セキュリティ設定	61
接続ステータス	54
接続設定(WAN設定)	55
設定項目一覧	99

た

タッチメニュー	83
端末画面ロック設定	72
通信量カウンター	59
ディスプレイ設定	72
電源ボタン	16
電源を入れる／切る／再起動する	20
特定アプリケーション	68

な

内蔵電池	4
ネットワーク名(SSID)	2
SSID1	2
SSID2	2

は

パスワード変更	75
パフォーマンス設定	70
ファイアウォール	104
ファイアウォールスイッチ	64
ファイアウォール設定	64
バックアップ&リストア	74
ブリッジ機能規制	73
プロファイル	104
プロファイル設定	56
ポート番号	104
ポートマッピング	67
本体時計設定	73

ま

無線LAN(WLAN)	104
無線LAN接続	28
iPhone/iPod touch/iPad/iPad mini	35
Mac	33
PlayStation®3	40
PlayStation®4	42
PlayStation®Vita	37
PSP®(PlayStation®Portable)	38
Wii U	37
Windowsパソコン	29
WPS対応無線LAN(Wi-Fi®)端末	43
スマートフォン	34
ニンテンドー3DS/DSシリーズ	36
メニュー項目一覧	99

ら

リセット	2
リモート起動	71

お客様各位

このたびは、Speed Wi-Fi NEXT W02をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
『取扱説明書』におきまして、以下のとおり記載に訂正がありましたので、お知らせいたします。

訂正箇所：15ページ「動作環境」

訂正前	訂正後
本製品との無線LAN(Wi-Fi®)接続/USB接続が可能な動作環境は下記の通りです(2015年12月現在)。	本製品との無線LAN(Wi-Fi®)接続/USB接続が可能な動作環境は下記の通りです(2016年3月現在)。

訂正箇所：15ページ「動作環境」の「■対応OS(パソコン)」

訂正前	訂正後
Windows Vista(32ビット/64ビット) Windows 7(32ビット/64ビット) Windows 8(32ビット/64ビット) Windows 8.1(32ビット/64ビット) Windows 10(32ビット/64ビット) Mac OS X 10.7(32ビット/64ビット) Mac OS X 10.8(64ビット) Mac OS X 10.9(64ビット) Mac OS X 10.10(64ビット) Mac OS X 10.11(64ビット) 上記OSの日本語版/英語版に対応しております。 ※Windows RTではUSB接続に対応していません。	Windows Vista(32ビット/64ビット) Windows 7(32ビット/64ビット) Windows 8(32ビット/64ビット) Windows 8.1(32ビット/64ビット) Windows 10(32ビット/64ビット) Mac OS X 10.5(32ビット/64ビット) Mac OS X 10.6(32ビット/64ビット) Mac OS X 10.7(32ビット/64ビット) Mac OS X 10.8(64ビット) Mac OS X 10.9(64ビット) Mac OS X 10.10(64ビット) Mac OS X 10.11(64ビット) 上記OSの日本語版/英語版に対応しております。 ※Windows RTではUSB接続に対応していません。

訂正箇所：101ページ「主な仕様」の「■本体」の「内蔵電池」

訂正前	訂正後
リチウムイオン、3.7V、2300mAh	リチウムイオン、3.8V、2300mAh



キケン! 水ぬれ充電

濡れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話やそのリサイクルにご協力。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再
利用するためお客様が不要となってお持ちになる電話機・
電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず♻️マークのあ
るお店で回収し、リサイクルを行っています。

2016年3月第1.2版

発売元：KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)

輸入元：華為技術日本(株)

製造元：HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.